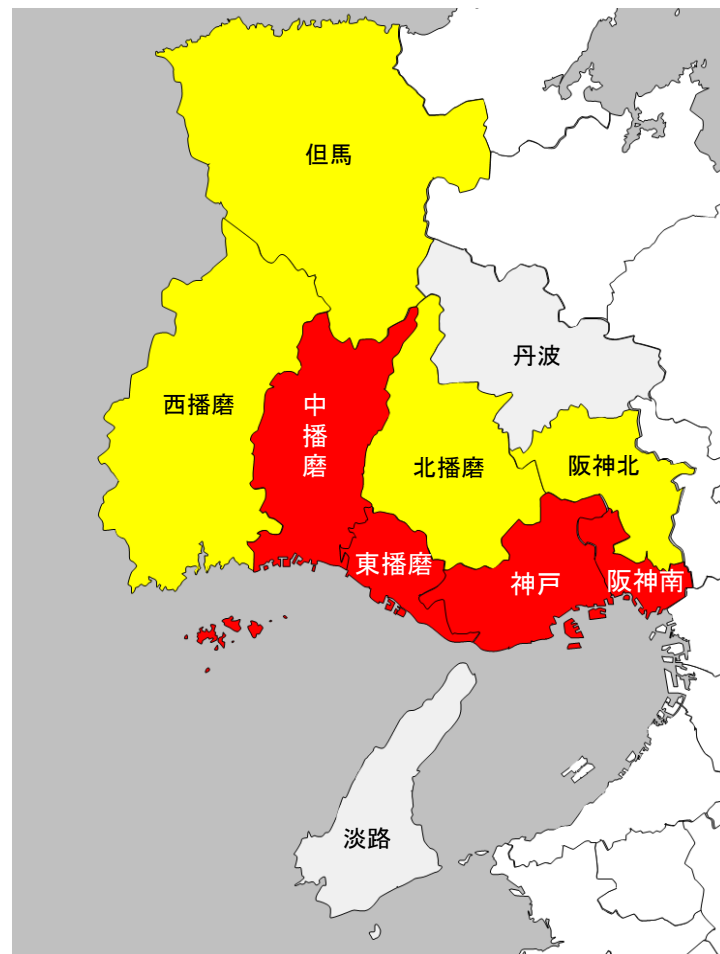


28. 兵庫県

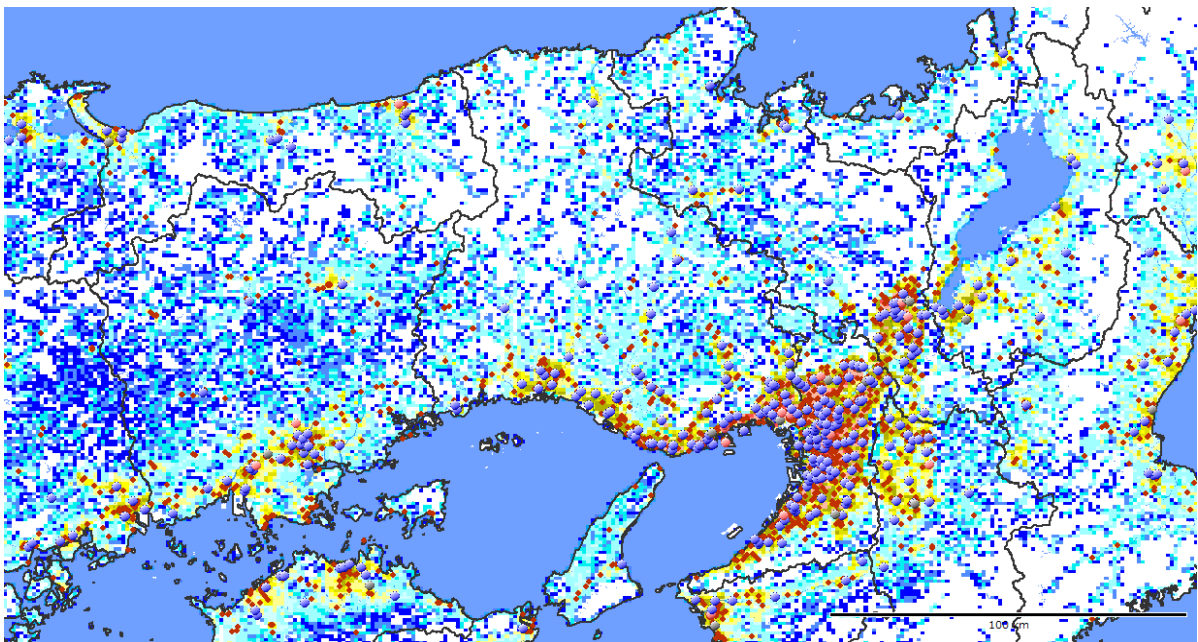


目次

兵庫県	28	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	28	-	8
1. 神戸医療圏	28	-	26
2. 阪神南医療圏	28	-	31
3. 阪神北医療圏	28	-	36
4. 東播磨医療圏	28	-	41
5. 北播磨医療圏	28	-	46
6. 中播磨医療圏	28	-	51
7. 西播磨医療圏	28	-	56
8. 但馬医療圏	28	-	61
9. 丹波医療圏	28	-	66
10. 淡路医療圏	28	-	71

28. 兵庫県

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



DPC病院



(兵庫県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 兵庫県は、総人口約5535千人(2015年)、面積8401km²、人口密度は659人/km²である。

***人口の将来予測：** 兵庫県の総人口は2025年に5269千人へと減少し(2015年比-5%)、2040年に4674千人へと減少する(2025年比-11%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の695千人が、2025年にかけて966千人へと増加し(2015年比+39%)、2040年には968千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 兵庫県の一人当たり医療費(国保)は360千円(偏差値54)、介護給付費は247千円(偏差値48)であり、医療費はやや高く、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 兵庫県の一人当たり急性期医療密度指数²は0.97、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.94で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

***医師・看護師の現状：** 総医師数³の偏差値が51(病院医師数50、診療所医師数53)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は48と全国平均レベルである。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は50で、一般病床数は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は52と全国平均レベルである。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は50と療養病床数は全国平均レベルである。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値50と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値50と全国平均レベルである。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は48で精神病床数は全国平均レベルである。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は56で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 兵庫県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、72734人(75歳以上1000人当たりの偏差値50)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が40234床(偏差値47)、高齢者住宅等が32500床(偏差値53)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、49871人(75歳以上1000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設47、特別養護老人ホーム48、介護療養型医療施設50、有料老人ホーム53、軽費ホーム56、グループホーム44、サ高住54である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値58と多く、在宅療養支援病院は偏差値52と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値56と多い。介護職員(在宅)の合計は、11764人(75歳以上1000人当たりの偏差値55)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

***介護の2025年の需要予測：** 2025年の介護充足度指数⁴は-28%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

兵庫県の総人口は、2005年5590601人が、2015年に5534800人と1%減少し、2025年の人口が5268695人と予測され、2005年→2025年の間に6%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に12%増加し、2015年から2025年にかけて6%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

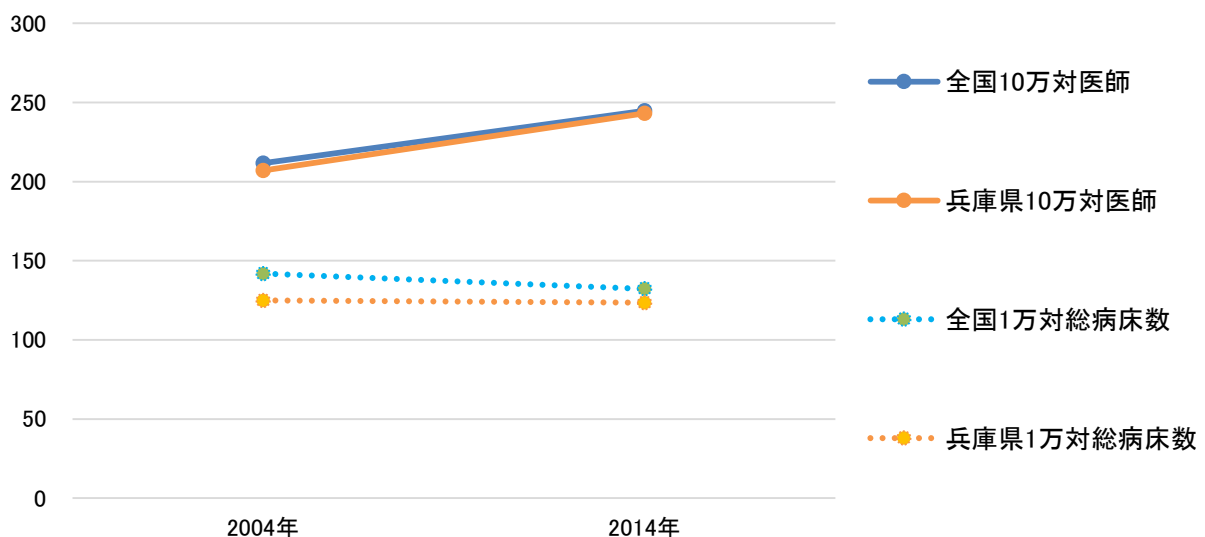
2004年の病院数が352(人口10万人当たり6.3病院(全国平均7.1)偏差値48)であったが、2014年に353(人口10万人当たり6.4病院(全国平均6.7)偏差値49)となり、10年間で1病院が増加した。

2004年の診療所数が4771(人口10万人当たり85診療所(全国平均76)偏差値55)であったが、2014年に4983(人口10万人当たり90診療所(全国平均79)偏差値56)と、212診療所が増加した。

2004年の総病床数が69828床(人口1万人当たり125(全国平均142)偏差値47)であったが、2014年に68354床(人口1万人当たり123(全国平均132)偏差値48)と、1474床の減少、率にして2%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

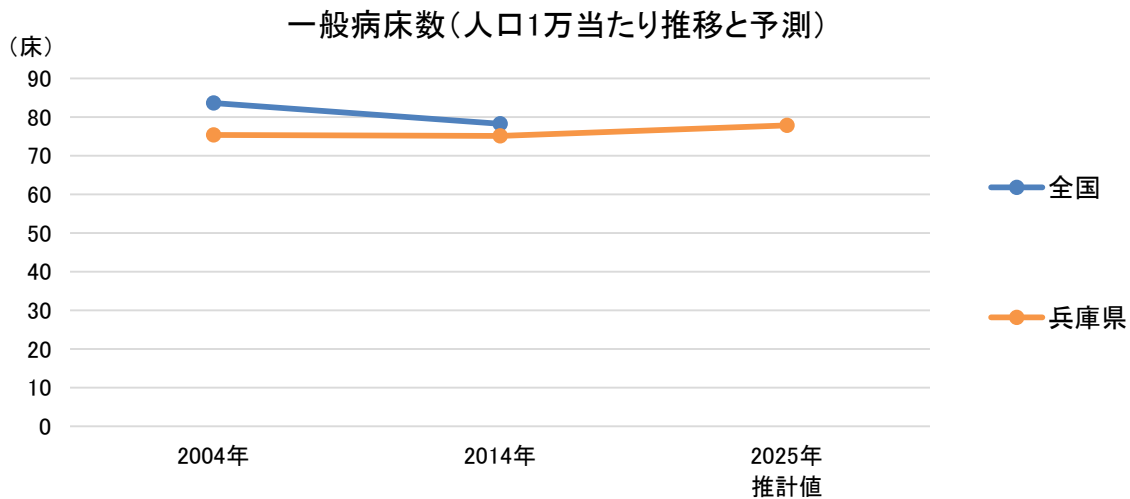
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が11569人(人口10万人当たり207人(全国平均212人)偏差値49)であったが、2014年に13461人(人口10万人当たり243人(全国平均245人)偏差値50)と、1892人の増加、率にして16%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



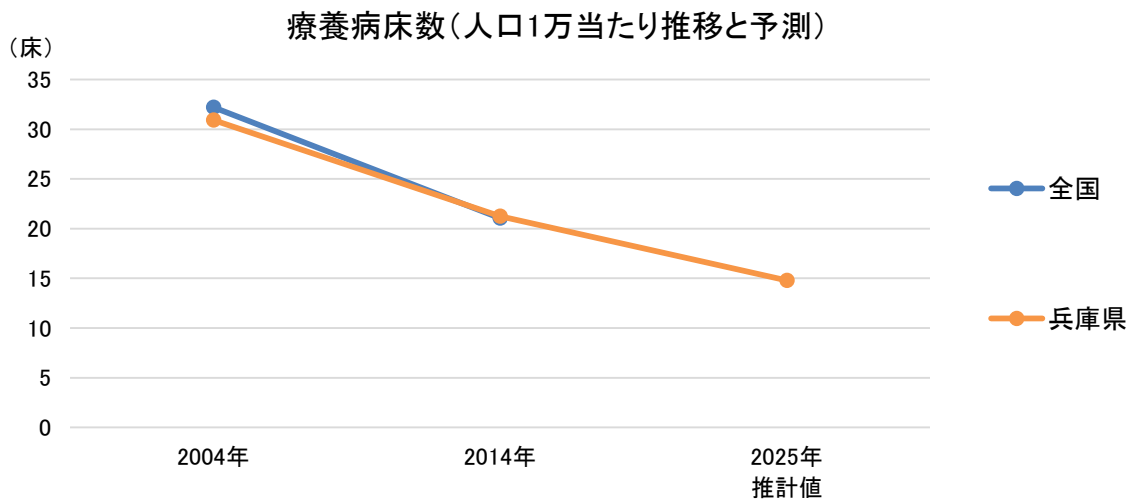
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が42129床(人口1万人当たり75(全国平均84)偏差値47)であったが、2014年に41606床(人口1万人当たり75(全国平均78)偏差値49)と、523床の減少、率にして1%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には41031床(2025年の推計人口1万人当たり78)になることが予想される。



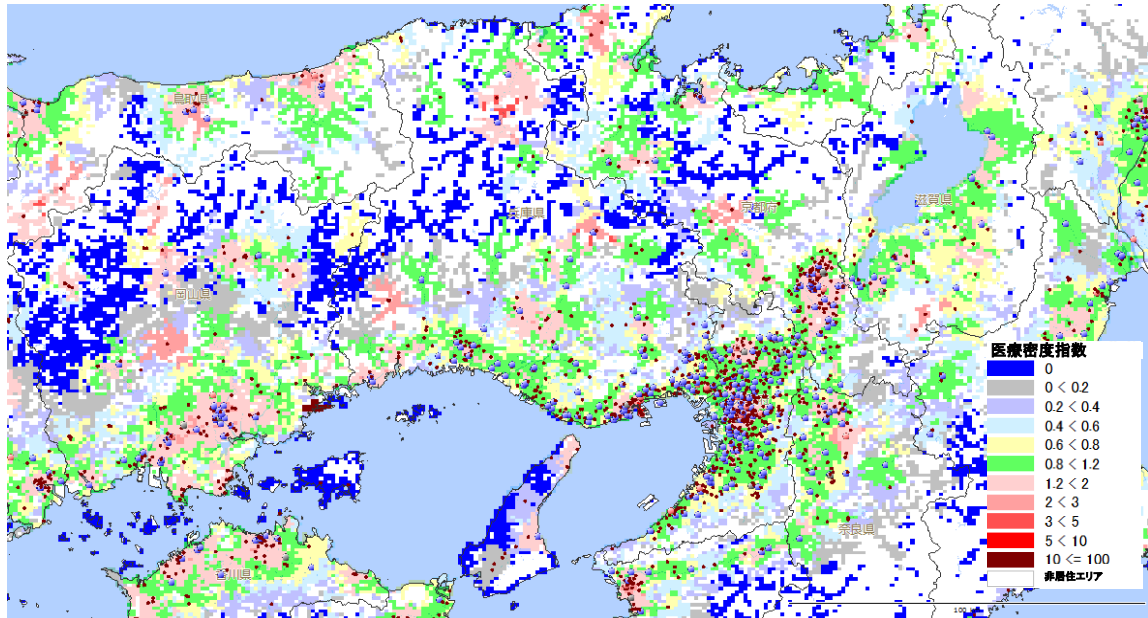
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が15201床(75歳以上1000人当たり31(全国平均32)偏差値49)であったが、2014年に14774床(75歳以上1000人当たり21(全国平均21)偏差値50)と、427床の減少、率にして3%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には14304床(2025年の推計75歳以上1000人当たり15)になることが予想される。



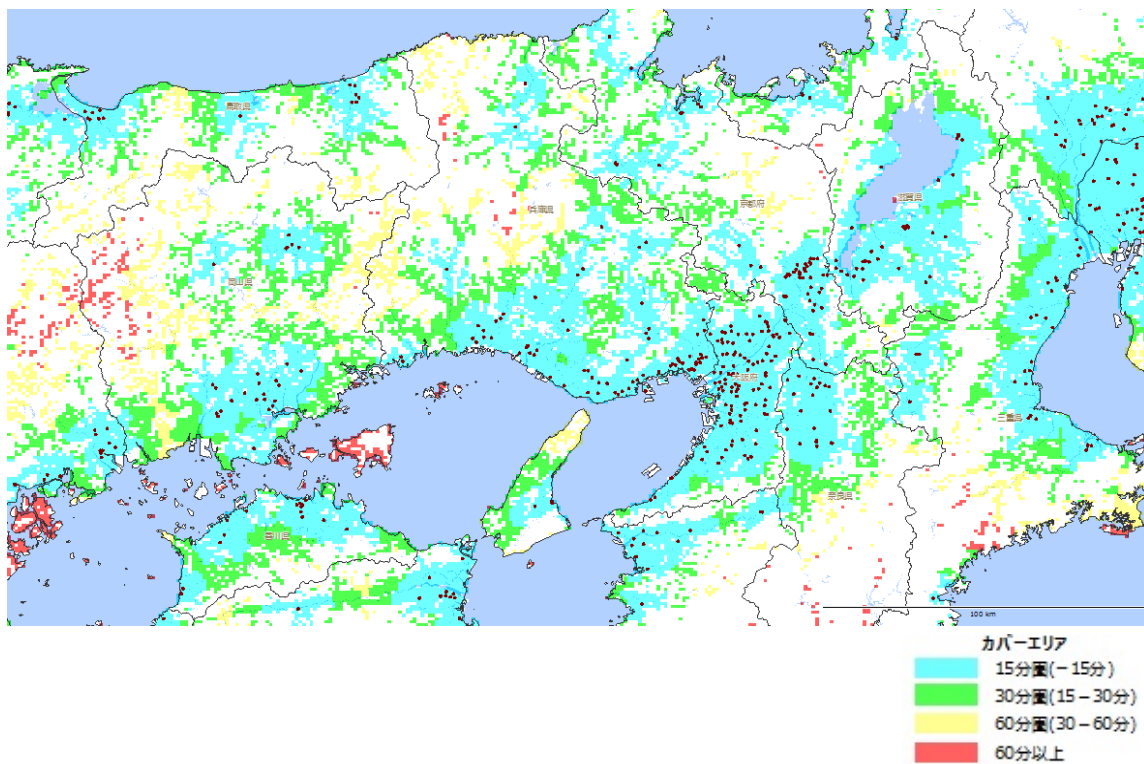
(兵庫県) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表28-1 急性期医療密度指数マップ



図表28-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料⁶

※2017年版では、人口に関わる指標（偏差値等）については、2015年人口に基づいた計算を行っている。

資_図表 28-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	127,095		372,950		340.8		26%	120,700	107,439	16,126	21,775	22,232	-5%	-11%	35%	2%
兵庫県	5,535	7位	8,401	12位	658.8		27%	5,269	4,674	695	966	968	-5%	-11%	39%	0%
神戸	1,537	28%	557	7%	2,759.8	大都市型	27%	1,501	1,357	194	289	300	-2%	-10%	49%	4%
阪神南	1,036	19%	169	2%	6,123.3	大都市型	25%	990	895	117	164	164	-4%	-10%	40%	0%
阪神北	722	13%	481	6%	1,500.7	地方都市型	26%	703	637	85	125	133	-3%	-9%	47%	6%
東播磨	717	13%	266	3%	2,690.8	大都市型	25%	670	587	78	115	111	-7%	-12%	47%	-3%
北播磨	272	5%	896	11%	304.2	地方都市型	30%	255	217	39	52	50	-6%	-15%	33%	-4%
中播磨	579	10%	865	10%	669.4	地方都市型	26%	544	483	68	90	87	-6%	-11%	32%	-3%
西播磨	260	5%	1,567	19%	166.1	地方都市型	30%	241	203	38	48	44	-7%	-16%	26%	-8%
但馬	170	3%	2,133	25%	79.8	過疎地域型	34%	151	122	31	35	33	-11%	-19%	13%	-6%
丹波	106	2%	871	10%	121.9	過疎地域型	32%	95	78	18	21	20	-10%	-18%	17%	-5%
淡路	135	2%	596	7%	226.9	地方都市型	34%	119	94	25	28	26	-12%	-21%	12%	-7%

出典 <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月
<人口(2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月
<面積>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月1日

資_図表 28-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度		
			2016年 ベッド数	2025年目標 ベッド数	2025年充足度 指数 (%)
全国	1.00	1.00	1,456,851	1,772,098	-21.6%
兵庫県	0.97	0.94	61,334	78,643	-28.2%
神戸	1.11	0.76	20,904	23,508	-12.5%
阪神南	1.01	1.14	8,830	13,330	-51.0%
阪神北	0.76	0.80	8,583	10,196	-18.8%
東播磨	0.95	1.32	5,445	9,355	-71.8%
北播磨	1.03	0.77	3,276	4,221	-28.8%
中播磨	0.86	0.98	5,134	7,298	-42.1%
西播磨	1.01	0.72	3,108	3,914	-25.9%
但馬	0.95	1.51	2,717	2,850	-4.9%
丹波	0.92	2.61	1,161	1,671	-44.0%
淡路	0.74	1.02	2,176	2,300	-5.7%

出典 <一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。
<75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

資_図表 28-3 医療費、介護給付費⁷

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	343	(44)	1.000	131	(30)	1.000	188	(19)	1.000	253	(35)
兵庫県	360	54	1.027	135	51	1.013	198	55	1.029	247	48
神戸	359	53	1.042	132	51	1.011	200	56	1.058	258	52
阪神南	351	52	1.028	128	49	0.984	195	54	1.042	249	49
阪神北	355	52	0.998	133	51	0.986	193	52	0.987	223	42
東播磨	372	56	1.028	136	52	0.993	207	60	1.039	216	40
北播磨	378	58	1.042	152	57	1.100	200	56	1.002	250	49
中播磨	349	51	1.012	132	50	1.009	191	51	1.010	254	50
西播磨	384	59	1.044	153	57	1.093	206	60	1.023	254	50
但馬	359	53	0.987	144	55	1.041	192	52	0.963	290	61
丹波	382	59	1.045	154	58	1.104	202	57	1.007	254	50
淡路	362	54	1.035	137	52	1.029	200	56	1.046	262	53
出典	<一人あたり医療費>平成27年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成27年度介護保険事業状況報告(年報) 平成27年度累計(平成27年3月サービス分から平成28年2月サービス分まで)										

※後期高齢者の医療費については、資_図表28-35を参照。

資_図表 28-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,480		6.7	(4.1)	100,995		79	(18.8)
兵庫県	353	4.2%	6.4	49	5,002	5.0%	90	56
神戸	111	31%	7.2	51	1,564	31%	102	62
阪神南	51	14%	4.9	46	1,132	23%	109	66
阪神北	35	10%	4.8	46	589	12%	82	51
東播磨	40	11%	5.6	47	532	11%	74	47
北播磨	22	6%	8.1	53	203	4%	75	47
中播磨	38	11%	6.6	50	428	9%	74	47
西播磨	24	7%	9.2	56	185	4%	71	46
但馬	12	3%	7.0	51	143	3%	84	52
丹波	8	2%	7.5	52	84	2%	79	50
淡路	12	3%	8.9	55	142	3%	105	64
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月			

資_図表 28-5 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数				有床 診療所数			
					県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	100,995		79	(18.8)			73	(18.4)			6.3	(6.4)
兵庫県	5,002	5.0%	90	56	4,767	5.1%	86	57	235	3.0%	4.2	47
神戸	1,564	31%	102	62	1,498	31%	97	63	66	28%	4.3	47
阪神南	1,132	23%	109	66	1,089	23%	105	67	43	18%	4.2	47
阪神北	589	12%	82	51	567	12%	79	53	22	9%	3.0	45
東播磨	532	11%	74	47	497	10%	69	48	35	15%	4.9	48
北播磨	203	4%	75	47	191	4%	70	48	12	5%	4.4	47
中播磨	428	9%	74	47	403	8%	70	48	25	11%	4.3	47
西播磨	185	4%	71	46	172	4%	66	46	13	6%	5.0	48
但馬	143	3%	84	52	140	3%	82	55	3	1%	1.8	43
丹波	84	2%	79	50	78	2%	73	50	6	3%	5.7	49
淡路	142	3%	105	64	132	3%	98	63	10	4%	7.4	52
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月			

資_図表 28-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数				病院+ 診療所 病床数			
					県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	1,565,968		1,232	(497)			85	(101)			1,317	(557)
兵庫県	64,942	4.1%	1,173	49	2,930	2.7%	53	47	67,872	4.1%	1,226	48
神戸	19,007	29%	1,236	50	692	24%	45	46	19,699	29%	1,281	49
阪神南	9,380	14%	906	43	446	15%	43	46	9,826	14%	949	43
阪神北	8,579	13%	1,189	49	307	10%	43	46	8,886	13%	1,231	48
東播磨	7,694	12%	1,074	47	510	17%	71	49	8,204	12%	1,145	47
北播磨	4,457	7%	1,636	58	153	5%	56	47	4,610	7%	1,692	57
中播磨	6,632	10%	1,145	48	360	12%	62	48	6,992	10%	1,207	48
西播磨	3,591	6%	1,379	53	217	7%	83	50	3,808	6%	1,463	53
但馬	2,033	3%	1,194	49	57	2%	33	45	2,090	3%	1,228	48
丹波	1,498	2%	1,411	54	42	1%	40	46	1,540	2%	1,451	52
淡路	2,071	3%	1,532	56	146	5%	108	52	2,217	3%	1,640	56
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資_図表 28-7 病院病床数(一般病床、療養病床、精神病床)

二次医療圏	一般病床				療養病床				精神病床			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	893,970		703	(227)	328,406		258	(209)	336,282		265	(217)
兵庫県	38,728	4.3%	700	50	14,328	4.4%	259	50	11,682	3.5%	211	48
神戸	12,218	32%	795	54	3,108	22%	202	47	3,621	31%	236	49
阪神南	6,177	16%	596	45	2,435	17%	235	49	732	6%	71	41
阪神北	4,360	11%	604	46	2,587	18%	358	55	1,582	14%	219	48
東播磨	4,599	12%	642	47	1,625	11%	227	48	1,462	13%	204	47
北播磨	2,625	7%	963	61	979	7%	359	55	847	7%	311	52
中播磨	4,028	10%	695	50	1,302	9%	225	48	1,296	11%	224	48
西播磨	2,002	5%	769	53	667	5%	256	50	918	8%	353	54
但馬	1,227	3%	721	51	207	1%	122	43	588	5%	345	54
丹波	736	2%	693	50	492	3%	463	60	266	2%	251	49
淡路	756	2%	559	44	926	6%	685	70	370	3%	274	50
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月			

資_図表 28-8 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期病床				地域包括ケア病床			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	73,304		58	(47)	61,433		58	(56)
兵庫県	3,260	4.4%	59	50	3,676	6.0%	66	51
神戸	913	28%	59	50	1,270	35%	83	54
阪神南	500	15%	48	48	573	16%	55	49
阪神北	459	14%	64	51	265	7%	37	46
東播磨	398	12%	56	50	250	7%	35	46
北播磨	277	8%	102	59	331	9%	121	61
中播磨	343	11%	59	50	573	16%	99	57
西播磨	178	5%	68	52	162	4%	62	51
但馬	50	2%	29	44	86	2%	51	49
丹波	0	0%	0	38	57	2%	54	49
淡路	142	4%	105	60	109	3%	81	54
出典	平成27年度病床機能報告 平成27年7月				平成29年5月地方厚生局			

資_図表 28-9 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24%)	9.1%	(23%)
兵庫県	19,561	17,957	195	45,487	20,803	14,190	46.3%	48	1.4%	47
神戸	5,641	4,723	45	13,399	7,491	3,075	38.7%	44	1.4%	47
阪神南	2,408	2,400	0	7,023	3,838	2,433	38.5%	44	0.0%	46
阪神北	2,855	2,481	0	5,720	1,828	2,634	57.6%	52	0.0%	46
東播磨	2,385	2,377	0	5,329	2,242	1,625	51.5%	50	0.0%	46
北播磨	1,263	1,234	23	3,204	1,401	956	46.8%	48	2.3%	47
中播磨	1,486	1,480	0	5,142	2,544	1,302	36.8%	44	0.0%	46
西播磨	1,112	1,108	0	2,479	894	667	55.3%	51	0.0%	46
但馬	1,416	1,227	127	617	0	80	100.0%	70	61.4%	73
丹波	402	398	0	1,096	338	492	54.1%	51	0.0%	46
淡路	593	529	0	1,478	227	926	70.0%	57	0.0%	46
出典	地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計(一部、ウェルネス独自調査含む) 公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関(日赤など)としている。									

資_図表 28-10 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	分娩件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
兵庫県	134,544	4.8%	2,431	52	39,852	3.9%	720	47
神戸	45,384	34%	2,952	57	10,884	27%	708	47
阪神南	33,588	25%	3,243	60	5,928	15%	572	42
阪神北	9,888	7%	1,370	42	3,720	9%	515	40
東播磨	16,068	12%	2,242	50	6,708	17%	936	55
北播磨	4,524	3%	1,661	45	2,412	6%	885	53
中播磨	16,464	12%	2,843	56	6,204	16%	1,071	59
西播磨	2,616	2%	1,005	38	1,332	3%	512	40
但馬	2,484	2%	1,459	43	1,224	3%	719	47
丹波	1,284	1%	1,210	40	600	2%	565	42
淡路	2,244	2%	1,660	45	840	2%	622	44
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 28-11 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数				病院医師数				診療所医師数			
	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	345,356		272	(89)	214,678		169	(65)	130,678		103	(31)
兵庫県	15,525	4.5%	280	51	9,403	4.4%	170	50	6,122	4.7%	111	53
神戸	5,137	33%	334	57	3,226	34%	210	56	1,910	31%	124	57
阪神南	3,482	22%	336	57	2,007	21%	194	54	1,476	24%	142	63
阪神北	1,606	10%	223	44	844	9%	117	42	762	12%	106	51
東播磨	1,709	11%	238	46	1,058	11%	148	47	651	11%	91	46
北播磨	775	5%	284	51	561	6%	206	56	214	3%	78	42
中播磨	1,356	9%	234	46	825	9%	142	46	532	9%	92	46
西播磨	527	3%	202	42	332	4%	128	44	195	3%	75	41
但馬	366	2%	215	44	213	2%	125	43	153	3%	90	46
丹波	217	1%	205	42	139	1%	130	44	79	1%	74	41
淡路	350	2%	259	49	199	2%	147	47	151	2%	112	53
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 28-12 専門医数(総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科専門医数				小児科専門医数				産婦人科専門医数			
	総合内科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	小児科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	産婦人科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	15,664		12.3	(6.5)	12,494		9.8	(4.5)	10,443		8.2	(3.7)
兵庫県	704	4.5%	12.7	51	524	4.2%	9.5	49	420	4.0%	7.6	48
神戸	277	39%	18.0	59	204	39%	13.3	58	162	39%	10.5	56
阪神南	127	18%	12.3	50	106	20%	10.2	51	78	19%	7.5	48
阪神北	67	10%	9.3	45	50	10%	6.9	44	38	9%	5.3	42
東播磨	69	10%	9.6	46	52	10%	7.3	44	54	13%	7.5	48
北播磨	40	6%	14.7	54	24	5%	8.8	48	17	4%	6.2	45
中播磨	66	9%	11.4	49	45	9%	7.8	45	40	10%	6.9	46
西播磨	19	3%	7.3	42	12	2%	4.6	38	11	3%	4.2	39
但馬	16	2%	9.4	45	14	3%	8.2	46	5	1%	2.9	36
丹波	9	1%	8.5	44	6	1%	5.7	41	6	1%	5.7	43
淡路	14	2%	10.4	47	11	2%	8.1	46	9	2%	6.7	46
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 28-13 専門医数(皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科				眼科				耳鼻咽喉科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,278		4.2	(2.1)	9,392		7.4	(3.1)	7,466		5.9	(2.5)
兵庫県	215	4.1%	3.9	49	497	5.3%	9.0	55	346	4.6%	6.3	51
神戸	78	36%	5.1	54	174	35%	11.3	63	119	34%	7.7	57
阪神南	52	24%	5.0	54	105	21%	10.1	59	85	25%	8.2	59
阪神北	27	13%	3.7	48	52	10%	7.2	49	29	8%	4.0	43
東播磨	22	10%	3.1	45	52	10%	7.3	50	35	10%	4.9	46
北播磨	10	5%	3.7	48	21	4%	7.7	51	14	4%	5.1	47
中播磨	14	7%	2.4	42	58	12%	10.0	58	33	10%	5.7	49
西播磨	4	2%	1.5	37	8	2%	3.1	36	13	4%	5.0	47
但馬	2	1%	1.2	36	10	2%	5.9	45	8	2%	4.7	45
丹波	3	1%	2.8	44	9	2%	8.5	54	4	1%	3.8	42
淡路	3	1%	2.2	41	8	2%	5.9	45	6	2%	4.4	44
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 28-14 専門医数(精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	8,293		6.5	(3.5)	20,395		16.0	(6.9)	15,369		12.1	(4.4)
兵庫県	312	3.8%	5.6	47	917	4.5%	16.6	51	723	4.7%	13.1	52
神戸	126	40%	8.2	55	313	34%	20.4	56	255	35%	16.6	60
阪神南	54	17%	5.2	46	188	21%	18.2	53	157	22%	15.2	57
阪神北	29	9%	4.0	43	90	10%	12.5	45	65	9%	9.0	43
東播磨	30	10%	4.2	43	112	12%	15.6	49	81	11%	11.3	48
北播磨	11	4%	4.0	43	42	5%	15.4	49	39	5%	14.3	55
中播磨	32	10%	5.5	47	88	10%	15.2	49	66	9%	11.4	48
西播磨	14	4%	5.4	47	31	3%	11.9	44	24	3%	9.2	44
但馬	5	2%	2.9	40	24	3%	14.1	47	9	1%	5.3	35
丹波	5	2%	4.7	45	9	1%	8.5	39	10	1%	9.4	44
淡路	6	2%	4.4	44	20	2%	14.8	48	17	2%	12.6	51
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 28-15 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,711		4.5	(2.0)	6,376		5.0	(2.3)	5,300		4.2	(2.9)
兵庫県	245	4.3%	4.4	50	270	4.2%	4.9	49	253	4.8%	4.6	51
神戸	84	34%	5.5	55	101	37%	6.6	57	111	44%	7.2	61
阪神南	46	19%	4.4	50	50	19%	4.8	49	49	19%	4.7	52
阪神北	35	14%	4.8	52	29	11%	4.0	46	11	4%	1.5	41
東播磨	24	10%	3.3	44	24	9%	3.3	43	27	11%	3.8	49
北播磨	14	6%	5.1	53	12	4%	4.4	47	8	3%	2.9	46
中播磨	21	9%	3.6	46	33	12%	5.7	53	22	9%	3.8	49
西播磨	9	4%	3.5	45	7	3%	2.7	40	11	4%	4.2	50
但馬	5	2%	2.9	42	8	3%	4.7	49	3	1%	1.8	42
丹波	4	2%	3.8	46	1	0%	0.9	33	6	2%	5.7	55
淡路	3	1%	2.2	39	5	2%	3.7	44	5	2%	3.7	48
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 28-16 専門医数(麻醉科、病理、救急科)

二次医療圏	麻醉科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,566		5.2	(3.0)	1,541		1.2	(0.9)	3,291		2.6	(1.7)
兵庫県	280	4.3%	5.1	50	64	4.2%	1.2	49	138	4.2%	2.5	49
神戸	101	36%	6.6	55	25	39%	1.6	55	48	35%	3.1	53
阪神南	69	25%	6.7	55	13	20%	1.3	50	36	26%	3.5	55
阪神北	28	10%	3.9	46	6	9%	0.8	46	7	5%	1.0	40
東播磨	29	10%	4.0	46	11	17%	1.5	54	19	14%	2.7	50
北播磨	11	4%	4.0	46	2	3%	0.7	45	5	4%	1.8	46
中播磨	26	9%	4.5	48	5	8%	0.9	46	9	7%	1.6	44
西播磨	6	2%	2.3	41	0	0%	0	37	0	0%	0	35
但馬	3	1%	1.8	39	1	2%	0.6	43	10	7%	5.9	69
丹波	3	1%	2.8	42	0	0%	0	37	0	0%	0	35
淡路	4	1%	3.0	43	1	2%	0.7	45	4	3%	3.0	52
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 28-17 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	リハビリテ- ション科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,984		1.6	(1.2)	2,370		1.9	(1.3)
兵庫県	89	4.5%	1.6	50	98	4.1%	1.8	49
神戸	37	42%	2.4	57	36	37%	2.3	54
阪神南	21	24%	2.0	54	22	22%	2.1	52
阪神北	8	9%	1.1	46	7	7%	1.0	43
東播磨	5	6%	0.7	43	8	8%	1.1	44
北播磨	3	3%	1.1	46	6	6%	2.2	53
中播磨	8	9%	1.4	48	12	12%	2.1	52
西播磨	2	2%	0.8	43	3	3%	1.2	45
但馬	3	3%	1.8	52	0	0%	0	36
丹波	0	0%	0	37	4	4%	3.8	65
淡路	2	2%	1.5	49	0	0%	0	36
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月							

資_図表 28-18 看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,114,100		877	(286)	916,998		722	(240)	197,102		155	(73)
兵庫県	46,035	4.1%	832	48	38,559	4.2%	697	49	7,476	3.8%	135	47
神戸	13,550	29%	881	50	11,614	30%	756	51	1,935	26%	126	46
阪神南	8,209	18%	793	47	6,611	17%	638	47	1,599	21%	154	50
阪神北	5,150	11%	714	44	4,303	11%	596	45	847	11%	117	45
東播磨	5,629	12%	786	47	4,763	12%	665	48	866	12%	121	45
北播磨	2,626	6%	964	53	2,349	6%	862	56	277	4%	102	43
中播磨	5,131	11%	886	50	4,232	11%	731	50	899	12%	155	50
西播磨	1,964	4%	755	46	1,652	4%	635	46	312	4%	120	45
但馬	1,538	3%	904	51	1,224	3%	719	50	314	4%	184	54
丹波	872	2%	821	48	744	2%	701	49	128	2%	120	45
淡路	1,365	3%	1,010	55	1,066	3%	789	53	299	4%	222	59
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 28-19 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	126,125		99	(53)	288,151		227	(91)
兵庫県	5,496	4.4%	99	50	13,914	4.8%	251	53
神戸	1,568	29%	102	51	5,014	36%	326	61
阪神南	846	15%	82	47	2,708	19%	261	54
阪神北	574	10%	80	46	1,677	12%	232	51
東播磨	700	13%	98	50	1,533	11%	214	49
北播磨	490	9%	180	65	560	4%	206	48
中播磨	625	11%	108	52	1,186	9%	205	48
西播磨	287	5%	110	52	454	3%	174	44
但馬	104	2%	61	43	294	2%	173	44
丹波	76	1%	71	45	213	2%	201	47
淡路	227	4%	168	63	275	2%	203	47
出典	平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月			

資_図表 28-20 在宅医療施設数(在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション)

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	13,255		0.8	(0.4)	1,210		0.1	(0.1)	10,420		0.6	(0.2)
兵庫県	804	6.1%	1.2	58	59	4.9%	0.1	52	528	5.1%	0.8	56
神戸	260	32%	1.3	62	24	41%	0.1	58	148	28%	0.8	56
阪神南	183	23%	1.6	67	10	17%	0.1	52	107	20%	0.9	63
阪神北	102	13%	1.2	59	2	3%	0.0	42	54	10%	0.6	49
東播磨	72	9%	0.9	52	3	5%	0.0	44	56	11%	0.7	53
北播磨	35	4%	0.9	52	5	8%	0.1	58	27	5%	0.7	52
中播磨	55	7%	0.8	50	7	12%	0.1	54	57	11%	0.8	60
西播磨	20	2%	0.5	43	3	5%	0.1	51	29	5%	0.8	55
但馬	35	4%	1.1	57	1	2%	0.0	43	23	4%	0.7	54
丹波	11	1%	0.6	45	2	3%	0.1	55	9	2%	0.5	42
淡路	31	4%	1.3	60	2	3%	0.1	51	18	3%	0.7	54
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成29年5月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成29年5月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成29年5月			

資_図表 28-21 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護保険施設定員(病床)数				高齢者住宅定員数			
					全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	1,674,440		104	(17)	992,340		62	(12)	682,100		42	(16)
兵庫県	72,734	4.3%	105	50	40,234	4.1%	58	47	32,500	4.8%	47	53
神戸	24,267	33%	125	63	11,544	29%	59	48	12,723	39%	66	65
阪神南	11,084	15%	94	44	5,915	15%	50	41	5,169	16%	44	51
阪神北	10,321	14%	121	60	4,571	11%	54	44	5,750	18%	67	66
東播磨	6,886	9%	88	40	4,061	10%	52	42	2,825	9%	36	46
北播磨	3,493	5%	89	41	2,656	7%	68	55	837	3%	21	37
中播磨	6,618	9%	98	46	3,817	9%	56	46	2,801	9%	41	49
西播磨	3,569	5%	93	44	2,698	7%	70	57	871	3%	23	38
但馬	2,883	4%	92	43	2,207	5%	70	57	676	2%	22	37
丹波	1,257	2%	69	29	1,017	3%	56	45	240	1%	13	32
淡路	2,356	3%	96	45	1,748	4%	71	58	608	2%	25	39
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資_図表 28-22 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数				介護療養病床数			
					全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	364,437		23	(5.8)	563,306		35	(9.7)	64,597		4.0	(4.1)
兵庫県	14,488	4.0%	21	47	23,018	4.1%	33	48	2,728	4.2%	3.9	50
神戸	5,207	36%	27	57	5,397	23%	28	43	940	34%	4.8	52
阪神南	2,305	16%	20	45	3,447	15%	29	44	163	6%	1.4	44
阪神北	1,514	10%	18	42	2,583	11%	30	45	474	17%	5.6	54
東播磨	1,449	10%	18	43	2,280	10%	29	44	332	12%	4.2	51
北播磨	682	5%	17	41	1,736	8%	44	60	238	9%	6.1	55
中播磨	1,046	7%	15	38	2,438	11%	36	51	333	12%	4.9	52
西播磨	796	5%	21	47	1,819	8%	48	63	83	3%	2.2	46
但馬	558	4%	18	42	1,637	7%	52	68	12	0%	0.4	41
丹波	376	3%	21	46	593	3%	32	47	48	2%	2.6	47
淡路	555	4%	23	50	1,088	5%	44	59	105	4%	4.3	51
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 28-23 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国シェア		75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	軽費ホーム	全国シェア		75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	グループホーム	全国シェア		75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
		県内	シェア				県内	シェア				県内	シェア		
全国	230,505			14.3	(10.8)	23,117			1.4	(2.1)	195,525			12.1	(5.8)
兵庫県	12,469	5.4%		17.9	53	1,937	8.4%		2.8	56	6,100	3.1%		8.8	44
神戸	6,086	49%		31.4	66	1,312	68%		6.8	75	1,962	32%		10.1	47
阪神南	1,962	16%		16.7	52	30	2%		0.3	44	923	15%		7.9	43
阪神北	2,823	23%		33.1	67	232	12%		2.7	56	657	11%		7.7	42
東播磨	627	5%		8.0	44	0	0%		0	43	616	10%		7.8	43
北播磨	72	1%		1.8	39	120	6%		3.1	58	299	5%		7.6	42
中播磨	801	6%		11.8	48	0	0%		0	43	516	8%		7.6	42
西播磨	98	1%		2.6	39	6	0%		0.2	44	306	5%		8.0	43
但馬	0	0%		0	37	57	3%		1.8	52	429	7%		13.6	53
丹波	0	0%		0	37	0	0%		0	43	144	2%		7.9	43
淡路	0	0%		0	37	180	9%		7.3	78	248	4%		10.1	46
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの														

資_図表 28-24 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

二次医療圏	サ高住(全施設)	全国シェア		75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	サ高住(特定施設)	全国シェア		75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	サ高住(非特定施設)	全国シェア		75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
		県内	シェア				県内	シェア				県内	シェア		
全国	232,953			14.4	(7.2)	15,364			1.0	(1.7)	217,589			13.5	(6.7)
兵庫県	11,994	5.1%		17.3	54	594	3.9%		0.9	49	11,400	5.2%		16.4	54
神戸	3,363	28%		17.3	54	0	0%		0	44	3,363	30%		17.3	56
阪神南	2,254	19%		19.2	57	0	0%		0	44	2,254	20%		19.2	58
阪神北	2,038	17%		23.9	63	300	51%		3.5	65	1,738	15%		20.4	60
東播磨	1,582	13%		20.2	58	141	24%		1.8	55	1,441	13%		18.4	57
北播磨	346	3%		8.8	42	129	22%		3.3	64	217	2%		5.5	38
中播磨	1,484	12%		21.9	60	0	0%		0	44	1,484	13%		21.9	62
西播磨	461	4%		12.0	47	0	0%		0	44	461	4%		12.0	48
但馬	190	2%		6.0	38	24	4%		0.8	49	166	1%		5.3	38
丹波	96	1%		5.2	37	0	0%		0	44	96	1%		5.2	38
淡路	180	2%		7.3	40	0	0%		0	44	180	2%		7.3	41
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計					平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの					平成29年4月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの				

資_図表 28-25 介護サービス従事看護師数(介護施設、訪問看護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事看護師数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数(施設)				看護師数(訪問)			
					看護師数 (施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (訪問)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	165,392		10.3	(2.3)	119,201		7.4	(2.1)	46,191		2.9	(1.0)
兵庫県	7,353	4.4%	10.6	51	4,984	4.2%	7.2	49	2,369	5.1%	3.4	56
神戸	2,430	33%	12.5	60	1,724	35%	8.9	57	706	30%	3.6	58
阪神南	1,109	15%	9.4	47	609	12%	5.2	39	499	21%	4.3	64
阪神北	855	12%	10.0	49	603	12%	7.1	48	252	11%	3.0	51
東播磨	745	10%	9.5	47	519	10%	6.6	46	226	10%	2.9	50
北播磨	431	6%	11.0	53	293	6%	7.5	50	138	6%	3.5	57
中播磨	709	10%	10.4	51	459	9%	6.8	47	250	11%	3.7	59
西播磨	361	5%	9.4	46	268	5%	7.0	48	92	4%	2.4	45
但馬	305	4%	9.7	48	199	4%	6.3	45	106	4%	3.4	55
丹波	147	2%	8.0	41	114	2%	6.2	44	33	1%	1.8	39
淡路	261	4%	10.6	51	196	4%	7.9	53	65	3%	2.6	48
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 28-26 介護サービス従事介護職員数(介護施設等、在宅介護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員数(介護施設等)				介護職員数(在宅)			
					介護職員数 (介護施設等)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員数 (在宅)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,457,554		90	(12.5)	1,233,195		76	(11.5)	224,360		13.9	(5.6)
兵庫県	61,635	4.2%	89	49	49,871	4.0%	72	46	11,764	5.2%	16.9	55
神戸	18,747	30%	97	55	14,882	30%	77	50	3,865	33%	19.9	61
阪神南	10,494	17%	89	49	7,252	15%	62	37	3,242	28%	27.6	74
阪神北	6,833	11%	80	42	5,636	11%	66	41	1,197	10%	14.0	50
東播磨	6,420	10%	82	43	5,399	11%	69	43	1,021	9%	13.0	48
北播磨	3,311	5%	84	45	3,050	6%	78	51	261	2%	6.7	37
中播磨	5,842	9%	86	47	4,659	9%	69	43	1,183	10%	17.4	56
西播磨	3,282	5%	86	46	2,954	6%	77	51	328	3%	8.6	40
但馬	2,894	5%	92	51	2,656	5%	85	57	238	2%	7.6	39
丹波	1,376	2%	75	38	1,253	3%	68	43	124	1%	6.8	37
淡路	2,437	4%	99	57	2,131	4%	86	59	306	3%	12.4	47
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 28-27 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,072,285		66	(31)	450,441		28	(12)	1,480,879		92	(32)
兵庫県	47,367	4.4%	68	51	30,922	6.9%	45	64	85,316	5.8%	123	60
神戸	14,804	31%	76	53	9,101	29%	47	66	29,035	34%	150	68
阪神南	15,521	33%	132	71	6,544	21%	56	73	20,057	24%	171	75
阪神北	4,442	9%	52	45	3,449	11%	40	61	9,321	11%	109	55
東播磨	2,997	6%	38	41	3,019	10%	38	59	9,321	11%	119	58
北播磨	1,790	4%	46	43	1,678	5%	43	62	2,080	2%	53	38
中播磨	3,099	7%	46	43	3,613	12%	53	71	7,880	9%	116	58
西播磨	1,898	4%	50	45	1,056	3%	28	50	2,545	3%	66	42
但馬	1,123	2%	36	40	1,213	4%	39	59	1,980	2%	63	41
丹波	671	1%	37	41	366	1%	20	43	930	1%	51	37
淡路	1,022	2%	41	42	883	3%	36	57	2,167	3%	88	49
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 28-28 総人口の推移と医療需要⁸の増減(医療費ベース)

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移(医療費ベース) (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 15年 増減率	2015→ 25年 増減率	2005→ 25年 増減率
全国		127,767,994	127,094,745	-1%	120,699,960	-6%	12%	6%	18%
兵庫県		5,590,601	5,534,800	-1%	5,268,695	-6%	12%	6%	18%
神戸	大都市型	1,525,393	1,537,272	1%	1,501,306	-2%	14%	10%	26%
阪神南	大都市型	1,018,574	1,035,763	2%	989,640	-3%	13%	6%	20%
阪神北	地方都市型	713,373	721,690	1%	702,851	-1%	18%	8%	28%
東播磨	大都市型	718,429	716,633	0%	670,123	-7%	16%	4%	21%
北播磨	地方都市型	291,745	272,447	-7%	255,476	-12%	6%	4%	10%
中播磨	地方都市型	584,128	579,154	-1%	544,321	-7%	12%	2%	14%
西播磨	地方都市型	280,302	260,312	-7%	240,956	-14%	6%	1%	6%
但馬	過疎地域型	191,211	170,232	-11%	150,718	-21%	-2%	-3%	-5%
丹波	過疎地域型	116,055	106,150	-9%	94,572	-19%	1%	-3%	-2%
淡路	地方都市型	151,391	135,147	-11%	118,732	-22%	0%	-3%	-4%
出典	<人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口・年齢(3区分)・割合・就業者数・昼間人口など) <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月								

資_図表 28-29 病院数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,493	6.7	(4.1)	-584	-6%	7,882
兵庫県	352	6.3	48	353	6.4	49	1	0%	354
神戸	107	7.0	50	110	7.2	51	3	3%	113
阪神南	53	5.2	45	52	5.0	46	-1	-2%	51
阪神北	33	4.6	44	35	4.8	46	2	6%	37
東播磨	41	5.7	46	40	5.6	47	-1	-2%	39
北播磨	21	7.2	50	22	8.1	53	1	5%	23
中播磨	41	7.0	50	38	6.6	50	-3	-7%	35
西播磨	23	8.2	53	24	9.2	56	1	4%	25
但馬	14	7.3	51	12	7.0	51	-2	-14%	10
丹波	7	6.0	47	8	7.5	52	1	14%	9
淡路	12	7.9	52	12	8.9	55	0	0%	12
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 28-30 診療所数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	97,051	76	(20)	100,461	79	(19)	3,410	4%	104,229
兵庫県	4,771	85	55	4,983	90	56	212	4%	5,217
神戸	1,547	101	63	1,566	102	62	19	1%	1,587
阪神南	1,012	99	62	1,125	109	66	113	11%	1,249
阪神北	526	74	49	589	82	51	63	12%	658
東播磨	505	70	47	525	73	47	20	4%	547
北播磨	212	73	48	203	75	48	-9	-4%	193
中播磨	428	73	49	426	74	47	-2	0%	424
西播磨	181	65	44	187	72	46	6	3%	194
但馬	133	70	47	138	81	51	5	4%	144
丹波	85	73	49	84	79	50	-1	-1%	83
淡路	142	94	59	140	104	63	-2	-1%	138
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 28-31 医師数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	270,371	212	(84)	311,205	245	(94)	40,834	15%	356,135
兵庫県	11,569	207	49	13,461	243	50	1,892	16%	15,542
神戸	4,058	266	56	4,869	317	58	811	20%	5,761
阪神南	2,452	241	53	2,880	278	54	428	17%	3,351
阪神北	1,149	161	44	1,351	187	44	202	18%	1,573
東播磨	1,147	160	44	1,376	192	44	229	20%	1,628
北播磨	492	169	45	565	207	46	73	15%	645
中播磨	1,035	177	46	1,183	204	46	148	14%	1,346
西播磨	393	140	41	412	158	41	19	5%	433
但馬	336	176	46	336	197	45	0	0%	336
丹波	212	183	47	190	179	43	-22	-10%	166
淡路	295	195	48	299	221	47	4	1%	303
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2014年>平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月								

資_図表 28-32 総病床数(精神科を含む)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	1,812,554	142	(56)	1,680,625	132	(56)	-131,929	-7%	1,535,514
兵庫県	69,828	125	47	68,354	123	48	-1,474	-2%	66,733
神戸	19,939	131	48	19,611	128	49	-328	-2%	19,250
阪神南	10,233	100	43	10,054	97	44	-179	-2%	9,857
阪神北	8,469	119	46	8,916	124	48	447	5%	9,408
東播磨	8,412	117	46	8,238	115	47	-174	-2%	8,047
北播磨	4,683	161	53	4,676	172	57	-7	0%	4,668
中播磨	7,657	131	48	7,069	122	48	-588	-8%	6,422
西播磨	3,927	140	50	3,818	147	53	-109	-3%	3,698
但馬	2,539	133	48	2,147	126	49	-392	-15%	1,716
丹波	1,667	144	50	1,608	151	53	-59	-4%	1,543
淡路	2,302	152	52	2,217	164	56	-85	-4%	2,124
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 28-33 一般病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	人口 1万 当り
全国	1,068,821	84	(28)	995,170	78	(27)	-73,651	-7%	914,162	76
兵庫県	42,129	75	47	41,606	75	49	-523	-1%	41,031	78
神戸	12,427	81	49	12,664	82	52	237	2%	12,925	86
阪神南	6,918	68	44	6,799	66	45	-119	-2%	6,668	67
阪神北	4,523	63	43	4,641	64	45	118	3%	4,771	68
東播磨	5,260	73	46	5,098	71	47	-162	-3%	4,920	73
北播磨	2,510	86	51	2,794	103	59	284	11%	3,106	122
中播磨	4,747	81	49	4,427	76	49	-320	-7%	4,075	75
西播磨	2,291	82	49	2,183	84	52	-108	-5%	2,064	86
但馬	1,621	85	50	1,288	76	49	-333	-21%	922	61
丹波	937	81	49	837	79	50	-100	-11%	727	77
淡路	895	59	41	875	65	45	-20	-2%	853	72
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

資_図表 28-34 療養病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	75歳以上 1,000人 当り
全国	373,823	32	(18)	339,554	21	(12)	-34,269	-9%	301,883	14
兵庫県	15,201	31	49	14,774	21	50	-427	-3%	14,304	15
神戸	3,670	28	47	3,234	17	46	-436	-12%	2,754	10
阪神南	2,435	31	49	2,495	21	50	60	2%	2,561	16
阪神北	2,264	43	56	2,643	31	58	379	17%	3,060	24
東播磨	1,616	31	49	1,670	21	50	54	3%	1,729	15
北播磨	1,270	41	55	979	25	53	-291	-23%	659	13
中播磨	1,593	33	50	1,340	20	49	-253	-16%	1,062	12
西播磨	714	23	45	713	19	48	-1	0%	712	15
但馬	245	9	37	246	8	39	1	0%	247	7
丹波	410	25	46	501	27	55	91	22%	601	29
淡路	984	45	57	953	39	65	-31	-3%	919	33
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

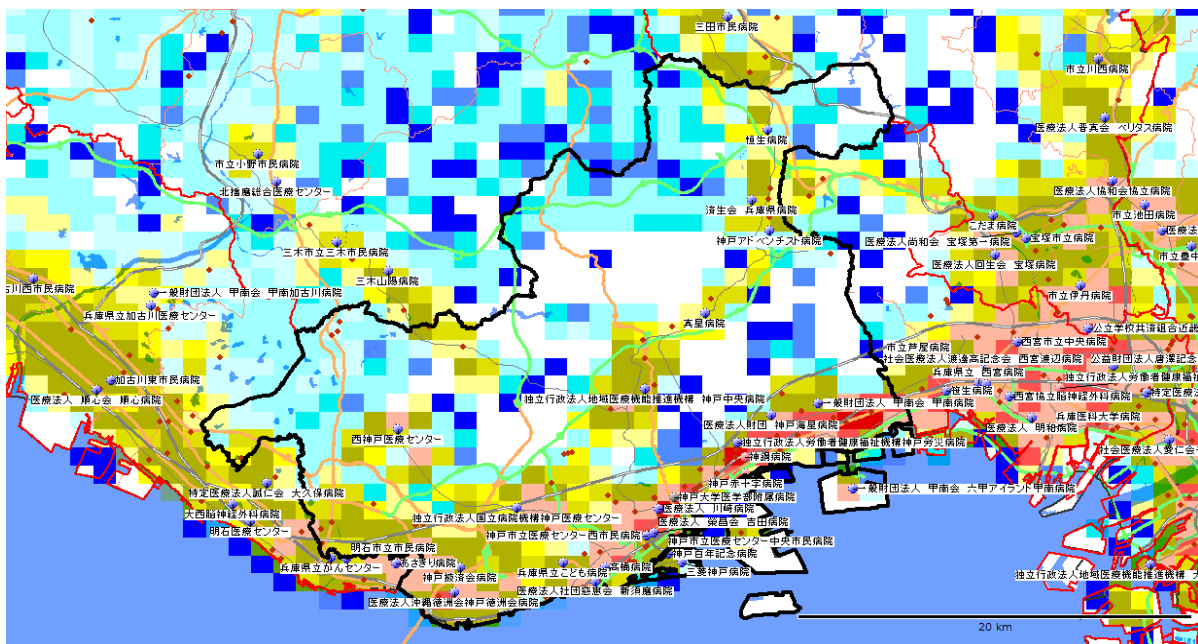
資_図表 28-35 後期高齢者の医療費・地域差指数⁷

二次医療圏	一人あたり 後期高齢者 医療費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数
全国	934	(123)	1.000	460	(99)	1.000	441	(41)	1.000
兵庫県	997	55	1.066	485	53	1.056	474	58	1.068
神戸	1,039	59	1.117	499	54	1.094	498	64	1.129
阪神南	1,062	60	1.136	495	54	1.087	522	70	1.172
阪神北	994	55	1.077	492	53	1.094	459	54	1.043
東播磨	972	53	1.038	464	50	1.019	470	57	1.047
北播磨	982	54	1.041	519	56	1.109	431	47	0.974
中播磨	924	49	0.988	437	48	0.955	450	52	1.013
西播磨	960	52	1.017	489	53	1.047	444	51	1.001
但馬	808	40	0.854	385	42	0.804	400	40	0.917
丹波	994	55	1.036	546	59	1.132	421	45	0.946
淡路	999	55	1.040	533	57	1.103	440	50	0.988
出典	＜一人あたり医療費＞平成27年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

28-1. こうべ 神戸医療圏

構成市区町村⁹ [東灘区](#) [灘区](#) [兵庫区](#) [長田区](#)
[須磨区](#) [垂水区](#) [北区](#) [中央区](#)
[西区](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



(神戸医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 神戸(神戸市東灘区)は、総人口約1537千人(2015年)、面積557km²、人口密度は2760人/km²の大都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 神戸の総人口は2025年に1501千人へと減少し(2015年比-2%)、2040年に1357千人へと減少する(2025年比-10%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の194千人が、2025年にかけて289千人へと増加し(2015年比+49%)、2040年には300千人へと増加する(2025年比+4%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 神戸の一人当たり医療費(国保)は359千円(偏差値53)、介護給付費は258千円(偏差値52)であり、医療費はやや高く、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 神戸の一人当たり急性期医療密度指数²は1.11、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.76で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が57(病院医師数56、診療所医師数57)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は50と全国平均レベルである。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は54で、一般病床数はやや多い。全身麻酔数の偏差値は57と多い。神戸には、年間全身麻酔件数が2000例以上の西神戸医療センター(Ⅲ群)、兵庫県立こども病院(Ⅲ群)、神戸大学医学部附属病院(Ⅰ群)、神戸市立医療センター中央市民病院(Ⅱ群・救命)、1000例以上の神戸労災病院(Ⅲ群)、新須磨病院(Ⅲ群)、神戸市立医療センター西市民病院(Ⅲ群)、神戸海星病院(Ⅲ群)、神戸赤十字病院(Ⅲ群)、神鋼記念病院(Ⅱ群)、500例以上の国立病院機構神戸医療センター(Ⅲ群)、済生会兵庫県病院(Ⅲ群)、JCHO神戸中央病院(Ⅲ群)、神戸掖済会病院(Ⅲ群)、神戸百年記念病院(Ⅲ群)、川崎病院(Ⅲ群)、六甲アイランド甲南病院(Ⅲ群)、甲南病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は47と療養病床数はやや少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値51と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値50と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は49で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は62で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 神戸の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、24267人(75歳以上1000人当たりの偏差値63)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が11544床(偏差値48)、高齢者住宅等が12723床(偏差値65)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、14882人(75歳以上1000人当たりの偏差値50)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設57、特別養護老人ホーム43、介護療養型医療施設52、有料老人ホーム66、軽費ホーム75、グループホーム47、サ高住54である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値62と多く、在宅療養支援病院は偏差値58と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値56と多い。介護職員(在宅)の合計は、3865人(75歳以上1000人当たりの偏差値61)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-12%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(神戸医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

神戸医療圏の総人口は、2005年1525393人が、2015年に1537272人と1%増加し、2025年の人口が1501306人と予測され、2005年→2025年の間に2%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に14%増加し、2015年から2025年にかけて10%程度の増加が予測される。

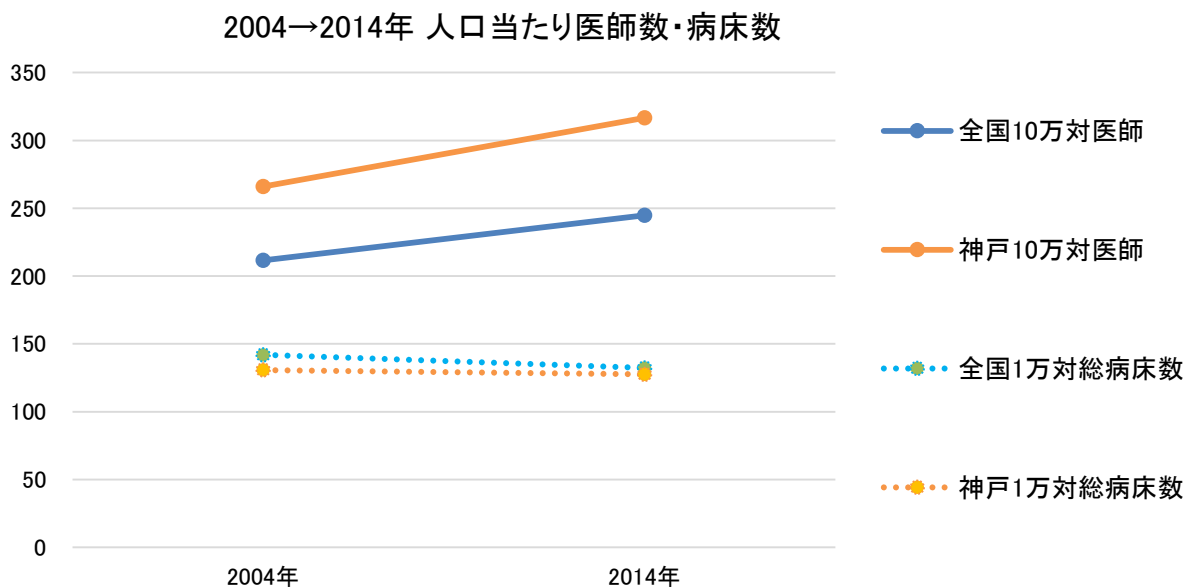
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が107(人口10万人当たり7病院(全国平均7.1)偏差値50)であったが、2014年に110(人口10万人当たり7.2病院(全国平均6.7)偏差値51)となり、10年間で3病院が増加した。

2004年の診療所数が1547(人口10万人当たり101診療所(全国平均76)偏差値63)であったが、2014年に1566(人口10万人当たり102診療所(全国平均79)偏差値62)と、19診療所が増加した。

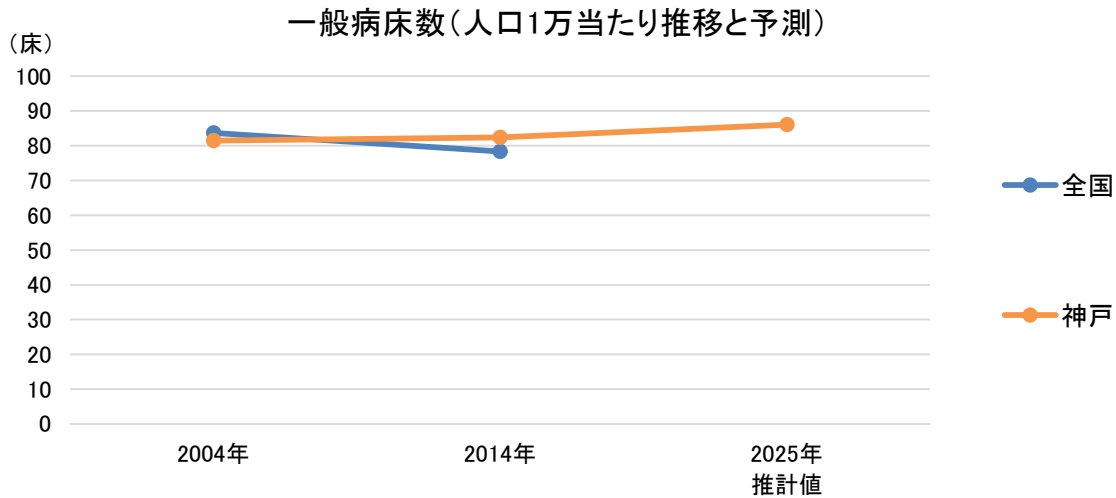
2004年の総病床数が19939床(人口1万人当たり131(全国平均142)偏差値48)であったが、2014年に19611床(人口1万人当たり128(全国平均132)偏差値49)と、328床の減少、率にして2%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が4058人(人口10万人当たり266人(全国平均212人)偏差値56)であったが、2014年に4869人(人口10万人当たり317人(全国平均245人)偏差値58)と、811人の増加、率にして20%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



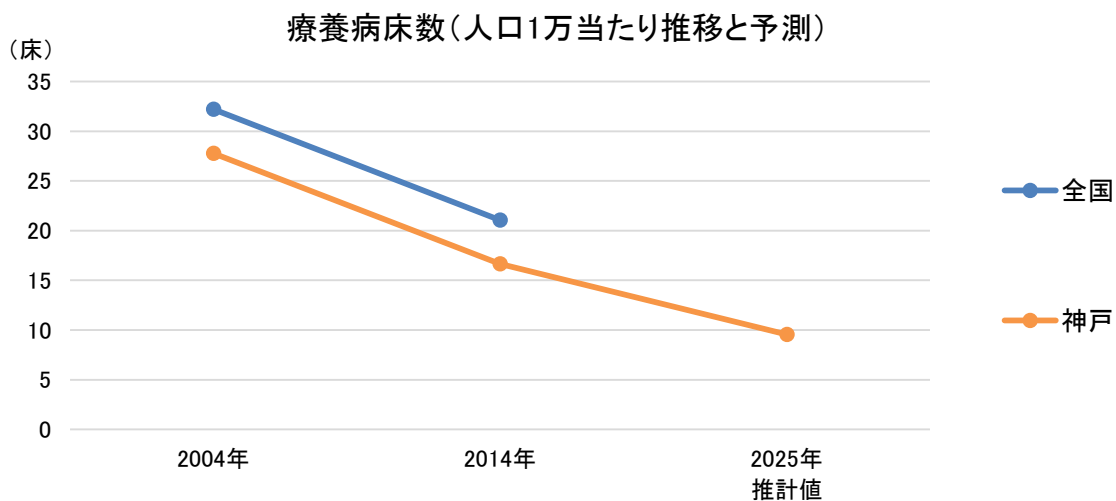
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が12427床(人口1万人当たり81(全国平均84)偏差値49)であったが、2014年に12664床(人口1万人当たり82(全国平均78)偏差値52)と、237床の増加、率にして2%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には12925床(2025年の推計人口1万人当たり86)になることが予想される。



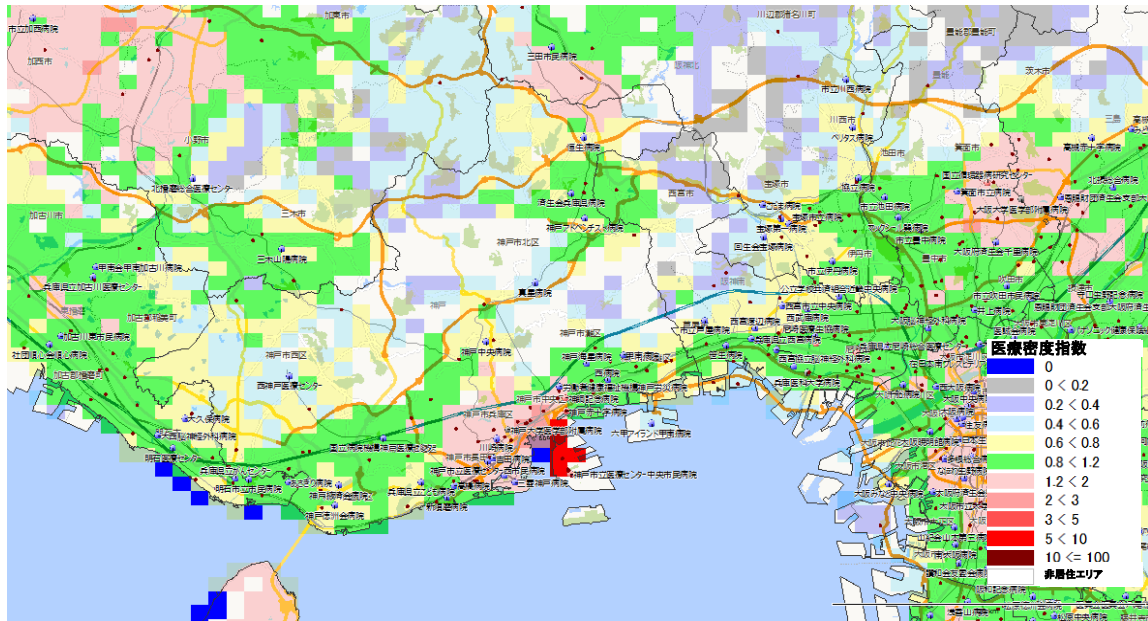
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が3670床(75歳以上1000人当たり28(全国平均32)偏差値47)であったが、2014年に3234床(75歳以上1000人当たり17(全国平均21)偏差値46)と、436床の減少、率にして12%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2754床(2025年の推計75歳以上1000人当たり10)になることが予想される。



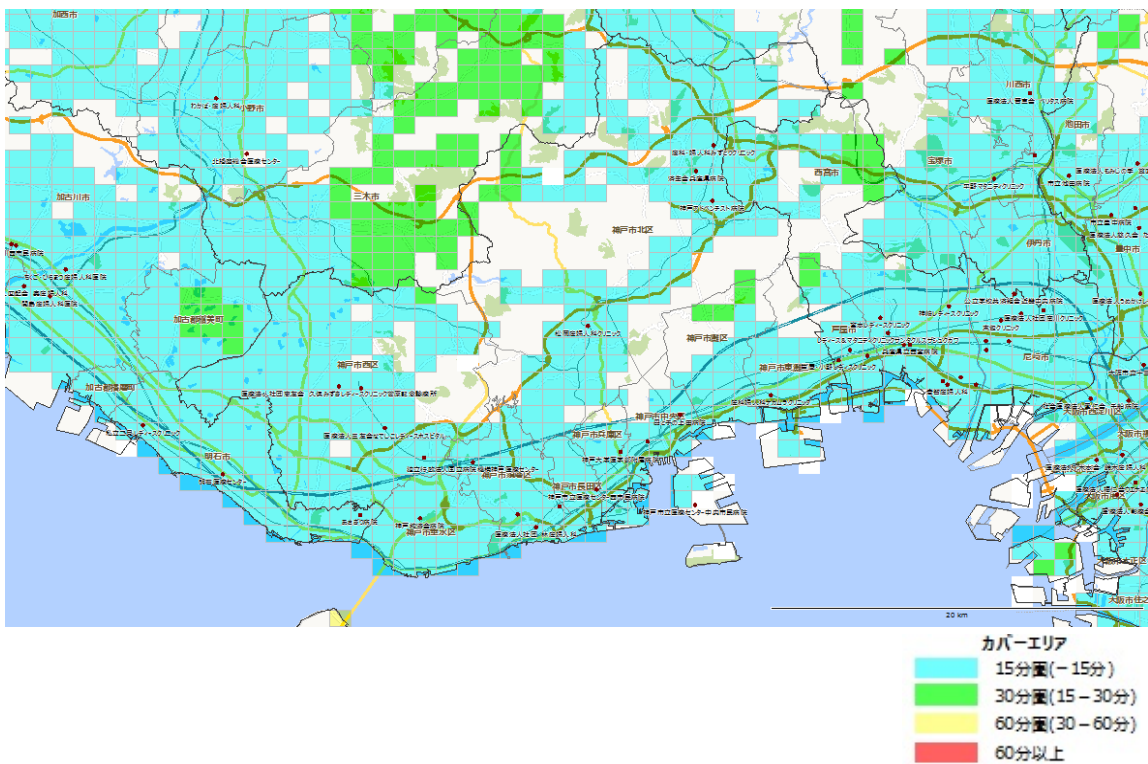
(神戸医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表28-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表28-1-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

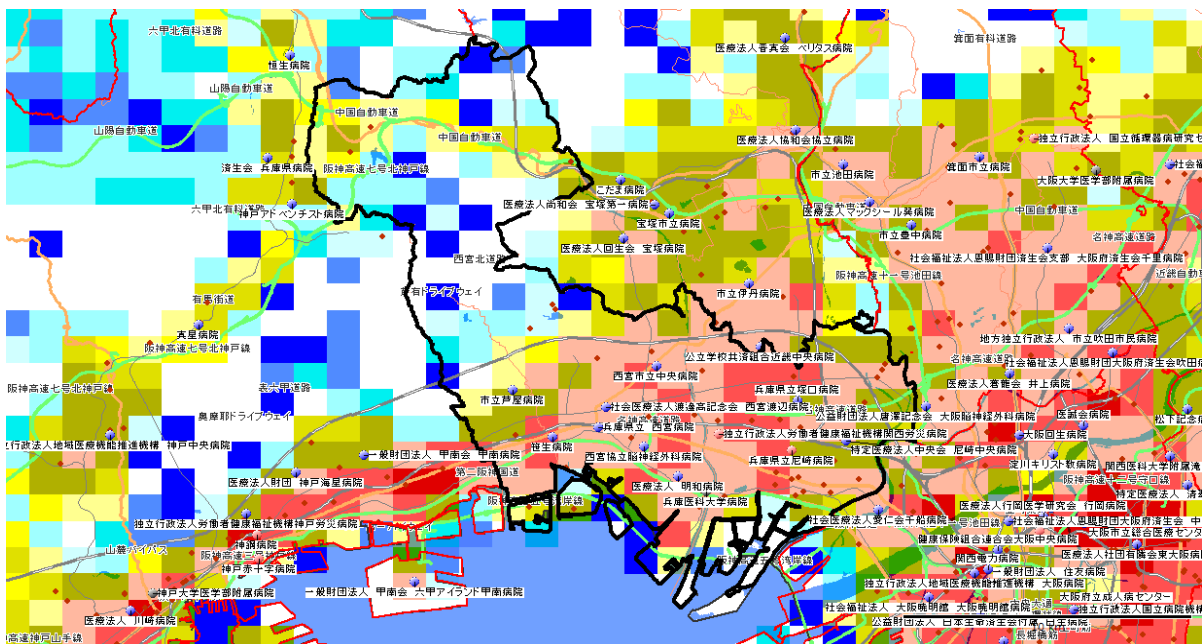
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



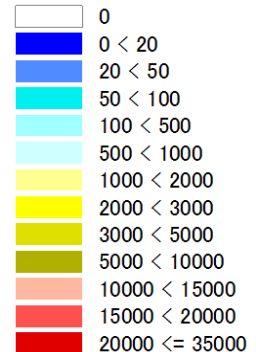
28-2. はんしんみなみ 阪神南医療圏

構成市区町村⁹ [尼崎市](#) [西宮市](#) [芦屋市](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(阪神南医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 阪神南(尼崎市)は、総人口約1036千人(2015年)、面積169km²、人口密度は6123人/km²の大都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 阪神南の総人口は2025年に990千人へと減少し(2015年比-4%)、2040年に895千人へと減少する(2025年比-10%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の117千人が、2025年にかけて164千人へと増加し(2015年比+40%)、2040年には164千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 阪神南の一人当たり医療費(国保)は351千円(偏差値52)、介護給付費は249千円(偏差値49)であり、医療費、介護給付費ともに全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 阪神南の一人当たり急性期医療密度指数²は1.01、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.14で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が57(病院医師数54、診療所医師数63)と、総医師数、診療所医師数は多い。総看護師数の偏差値は47とやや少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は45で、一般病床数はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は60と多い。阪神南には、年間全身麻酔件数が2000例以上の兵庫医科大学病院(I群・救命)、関西労災病院(II群)、1000例以上の兵庫県立西宮病院(II群・救命)、西宮協立脳神経外科病院(III群)、明和病院(III群)、兵庫県立尼崎総合医療センター(II群・救命)、500例以上の西宮市立中央病院(III群)、尼崎中央病院(III群)、笹生病院(III群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は49と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値47とやや少なく、回復期病床数は偏差値48と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は41で精神病床数は少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は66で診療所数は非常に多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 阪神南の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、11084人(75歳以上1000人当たりの偏差値44)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が5915床(偏差値41)、高齢者住宅等が5169床(偏差値51)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、7252人(75歳以上1000人当たりの偏差値37)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設45、特別養護老人ホーム44、介護療養型医療施設44、有料老人ホーム52、軽費ホーム44、グループホーム43、サ高住57である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値67と非常に多く、在宅療養支援病院は偏差値52と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値63と多い。介護職員(在宅)の合計は、3242人(75歳以上1000人当たりの偏差値74)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-51%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(阪神南医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

阪神南医療圏の総人口は、2005年1018574人が、2015年に1035763人と2%増加し、2025年の人口が989640人と予測され、2005年→2025年の間に3%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に13%増加し、2015年から2025年にかけて6%程度の増加が予測される。

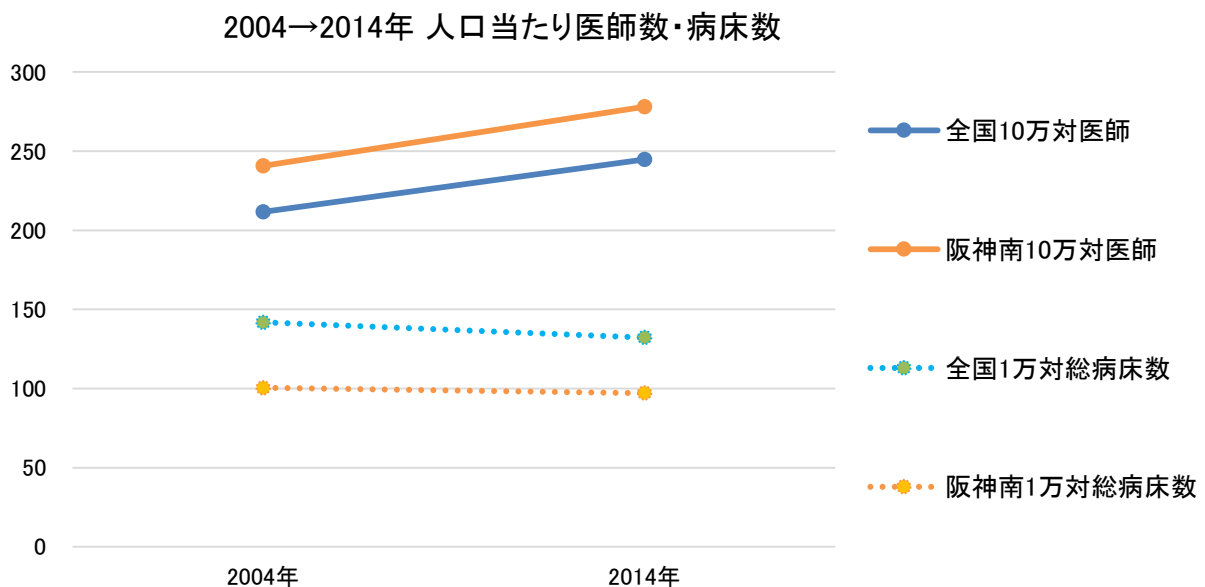
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が53(人口10万人当たり5.2病院(全国平均7.1)偏差値45)であったが、2014年に52(人口10万人当たり5病院(全国平均6.7)偏差値46)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が1012(人口10万人当たり99診療所(全国平均76)偏差値62)であったが、2014年に1125(人口10万人当たり109診療所(全国平均79)偏差値66)と、113診療所が増加した。

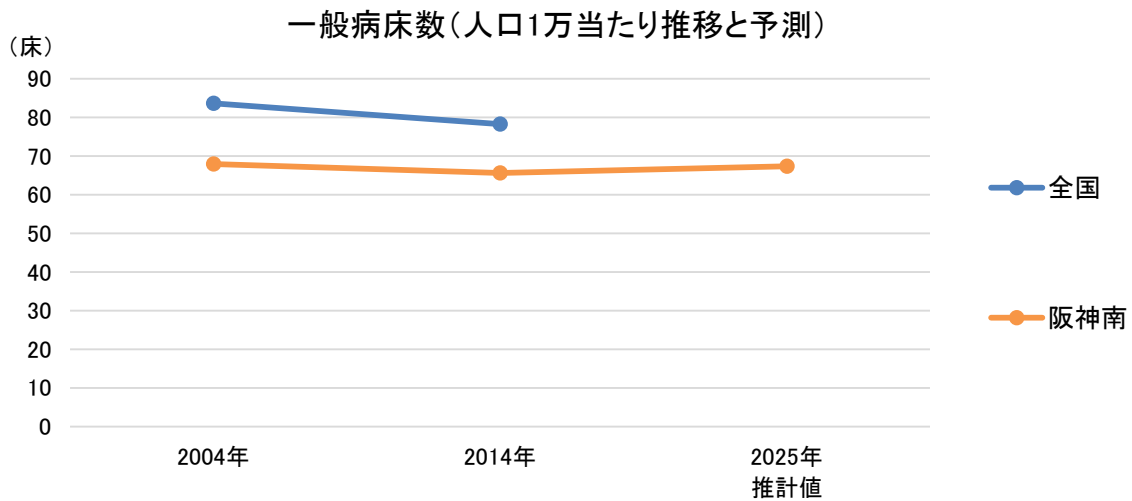
2004年の総病床数が10233床(人口1万人当たり100(全国平均142)偏差値43)であったが、2014年に10054床(人口1万人当たり97(全国平均132)偏差値44)と、179床の減少、率にして2%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が2452人(人口10万人当たり241人(全国平均212人)偏差値53)であったが、2014年に2880人(人口10万人当たり278人(全国平均245人)偏差値54)と、428人の増加、率にして17%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



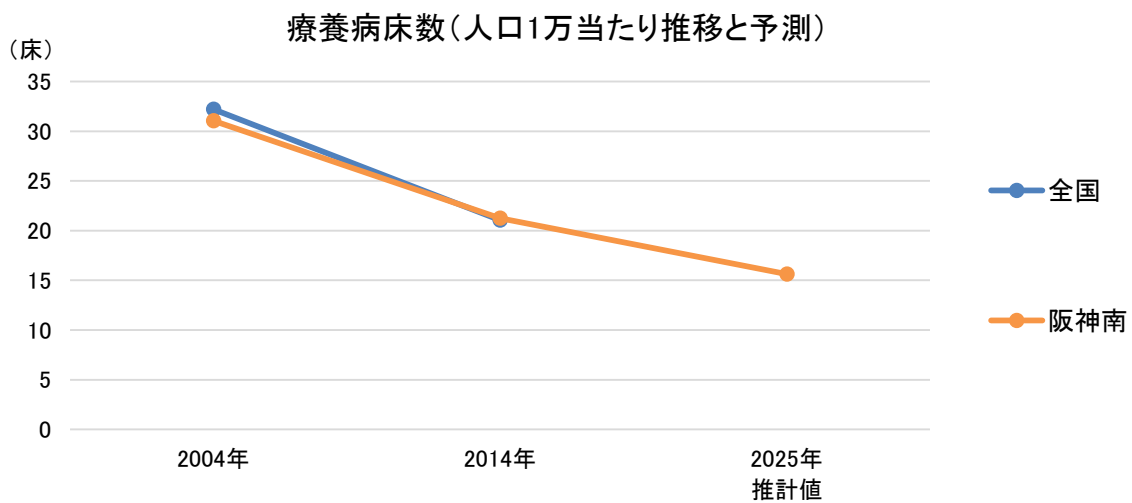
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が6918床(人口1万人当たり68(全国平均84)偏差値44)であったが、2014年に6799床(人口1万人当たり66(全国平均78)偏差値45)と、119床の減少、率にして2%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には6668床(2025年の推計人口1万人当たり67)になることが予想される。



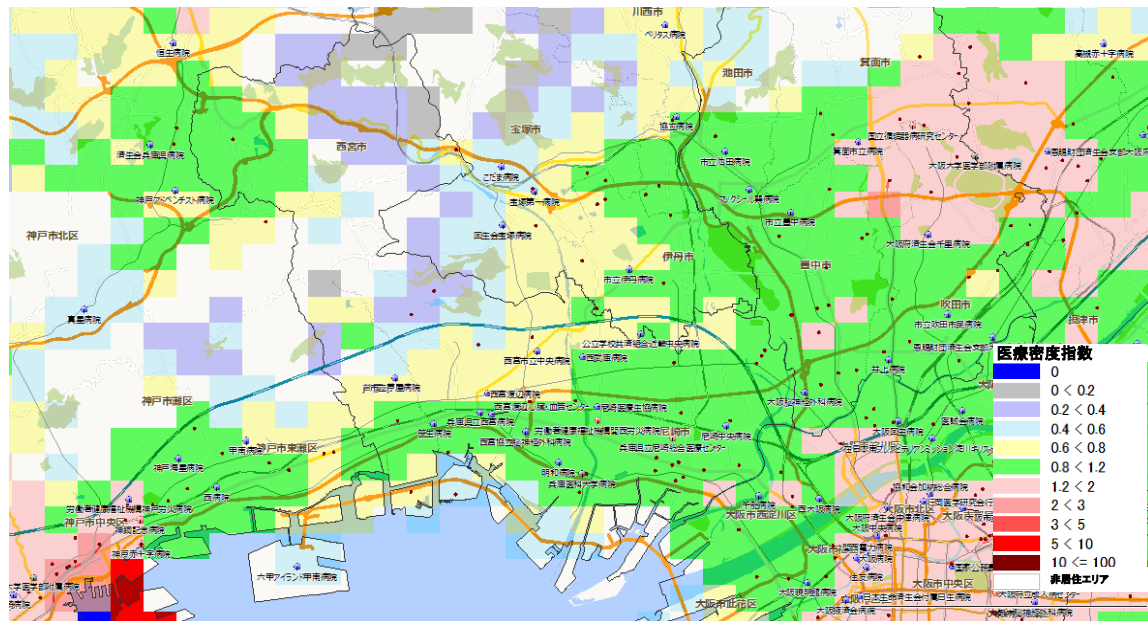
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が2435床(75歳以上1000人当たり31(全国平均32)偏差値49)であったが、2014年に2495床(75歳以上1000人当たり21(全国平均21)偏差値50)と、60床の増加、率にして2%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には2561床(2025年の推計75歳以上1000人当たり16)になることが予想される。



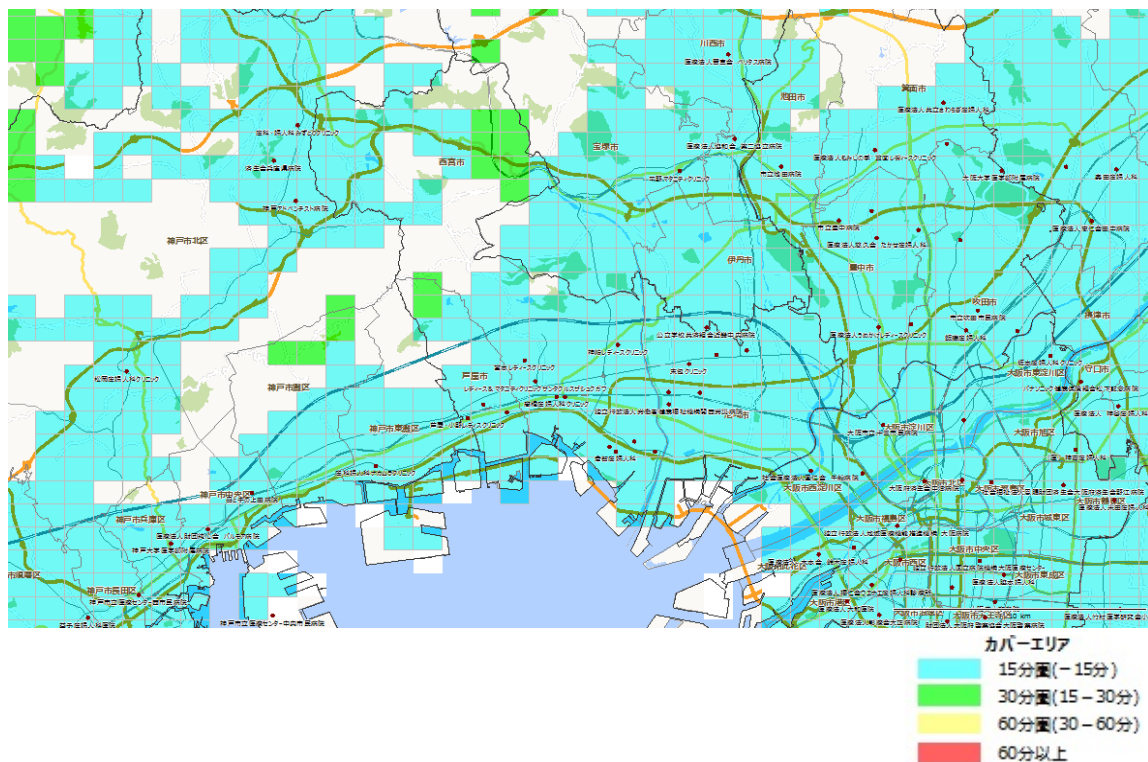
(阪神南医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表28-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表28-2-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

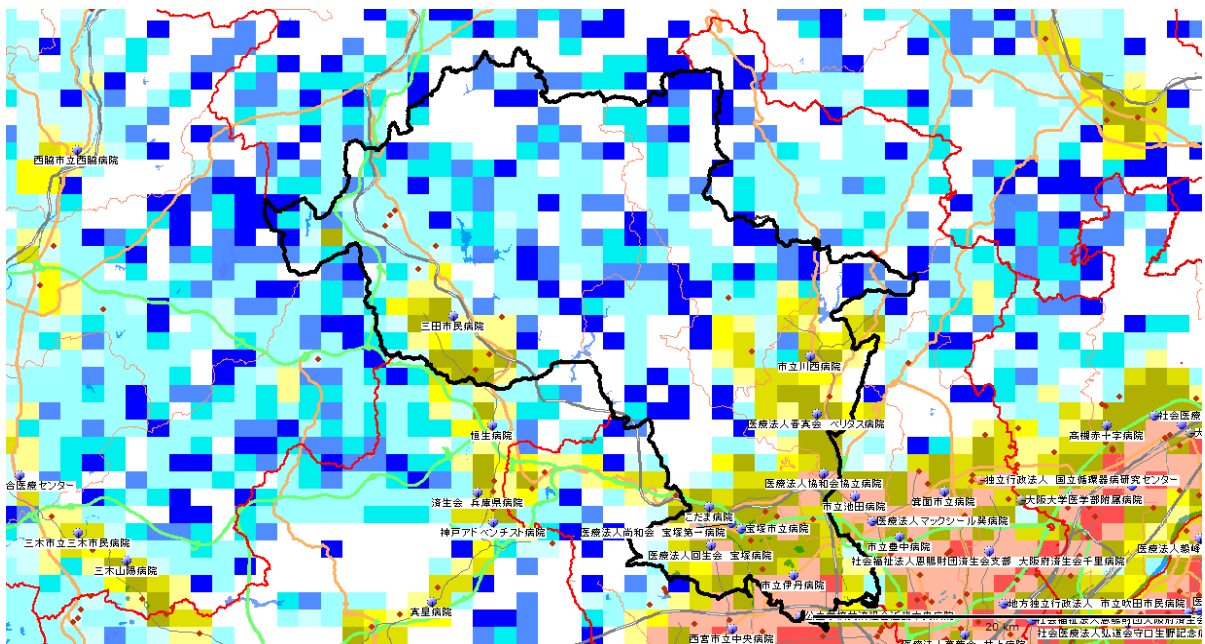
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



28-3. はんしんきた 阪神北医療圏

構成市区町村⁹ [伊丹市](#) [宝塚市](#) [川西市](#) [三田市](#)
[猪名川町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(阪神北医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

- *人口、面積など： 阪神北(伊丹市)は、総人口約722千人(2015年)、面積481km²、人口密度は1501人/km²の地方都市型二次医療圏である。
- *人口の将来予測： 阪神北の総人口は2025年に703千人へと減少し(2015年比-3%)、2040年に637千人へと減少する(2025年比-9%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の85千人が、2025年にかけて125千人へと増加し(2015年比+47%)、2040年には133千人へと増加する(2025年比+6%)ことが予想される。
- *医療費と介護給付費： 阪神北の一人当たり医療費(国保)は355千円(偏差値52)、介護給付費は223千円(偏差値42)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は低い。

【医療の現状】

- *入院医療の充実度： 阪神北の一人当たり急性期医療密度指数²は0.76、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.8で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は全国平均レベルである。
- *医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が44(病院医師数42、診療所医師数51)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は44と少ない。
- *一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は46で、一般病床数はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は42と少ない。阪神北には、年間全身麻酔件数が1000例以上の市立伊丹病院(Ⅲ群)、近畿中央病院(Ⅲ群)、ベリタス病院(Ⅲ群)、三田市民病院(Ⅲ群)、宝塚市立病院(Ⅲ群)、500例以上の協立病院(Ⅲ群)がある。
- *療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は55と療養病床数はやや多い。
- *リハビリの現状： 総療法士数は偏差値46とやや少なく、回復期病床数は偏差値51と全国平均レベルである。
- *精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は48で精神病床数は全国平均レベルである。
- *診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は51で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

- *介護施設の現状： 阪神北の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、10321人(75歳以上1000人当たりの偏差値60)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が4571床(偏差値44)、高齢者住宅等が5750床(偏差値66)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、5636人(75歳以上1000人当たりの偏差値41)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設42、特別養護老人ホーム45、介護療養型医療施設54、有料老人ホーム67、軽費ホーム56、グループホーム42、サ高住63である。

- *在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値59と多く、在宅療養支援病院は偏差値42と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値49と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、1197人(75歳以上1000人当たりの偏差値50)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

- *介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-19%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(阪神北医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

阪神北医療圏の総人口は、2005年713373人が、2015年に721690人と1%増加し、2025年の人口が702851人と予測され、2005年→2025年の間に1%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に18%増加し、2015年から2025年にかけて8%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

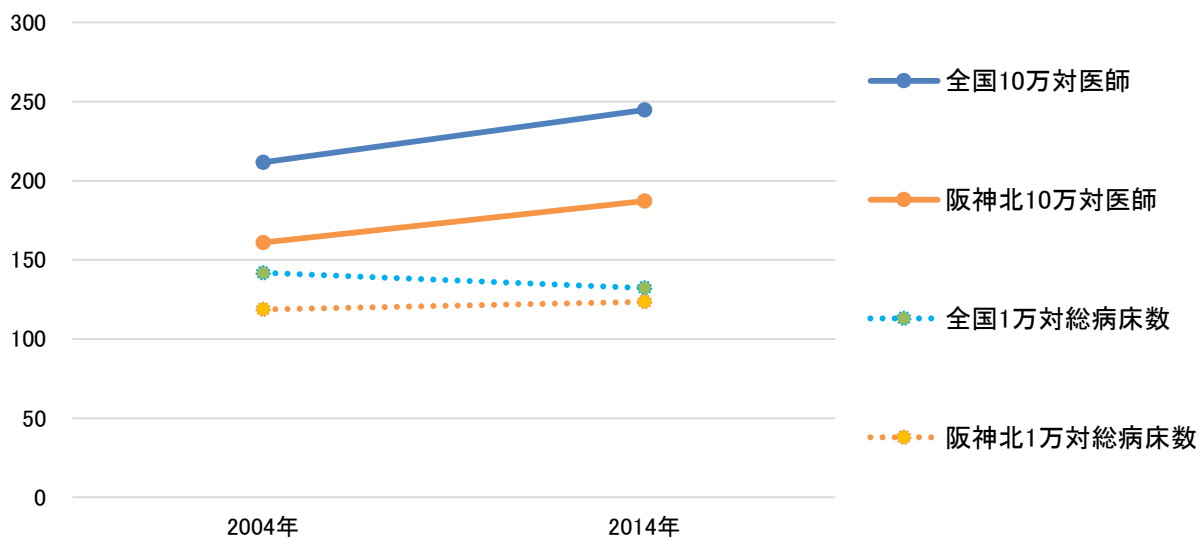
2004年の病院数が33(人口10万人当たり4.6病院(全国平均7.1)偏差値44)であったが、2014年に35(人口10万人当たり4.8病院(全国平均6.7)偏差値46)となり、10年間で2病院が増加した。

2004年の診療所数が526(人口10万人当たり74診療所(全国平均76)偏差値49)であったが、2014年に589(人口10万人当たり82診療所(全国平均79)偏差値51)と、63診療所が増加した。

2004年の総病床数が8469床(人口1万人当たり119(全国平均142)偏差値46)であったが、2014年に8916床(人口1万人当たり124(全国平均132)偏差値48)と、447床の増加、率にして5%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。

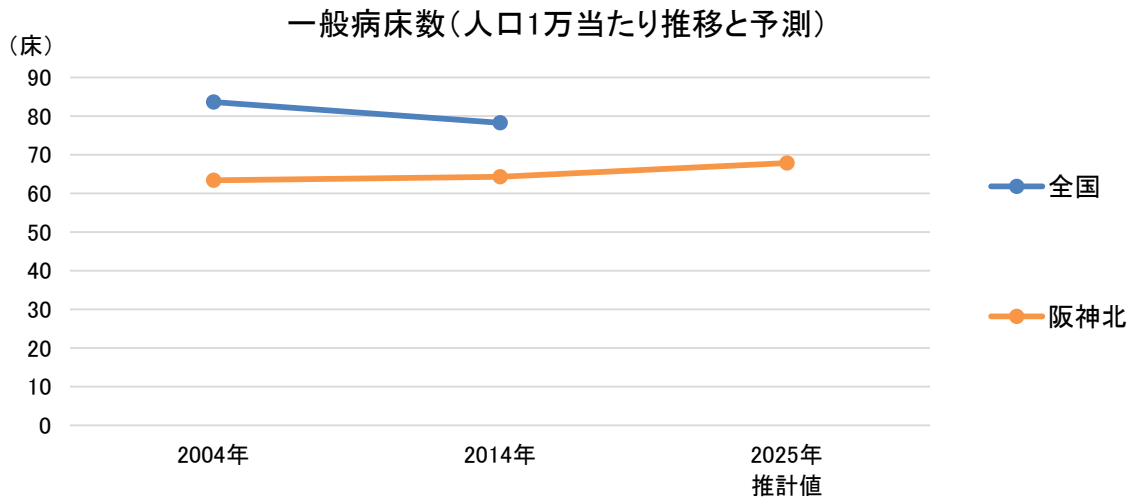
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が1149人(人口10万人当たり161人(全国平均212人)偏差値44)であったが、2014年に1351人(人口10万人当たり187人(全国平均245人)偏差値44)と、202人の増加、率にして18%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



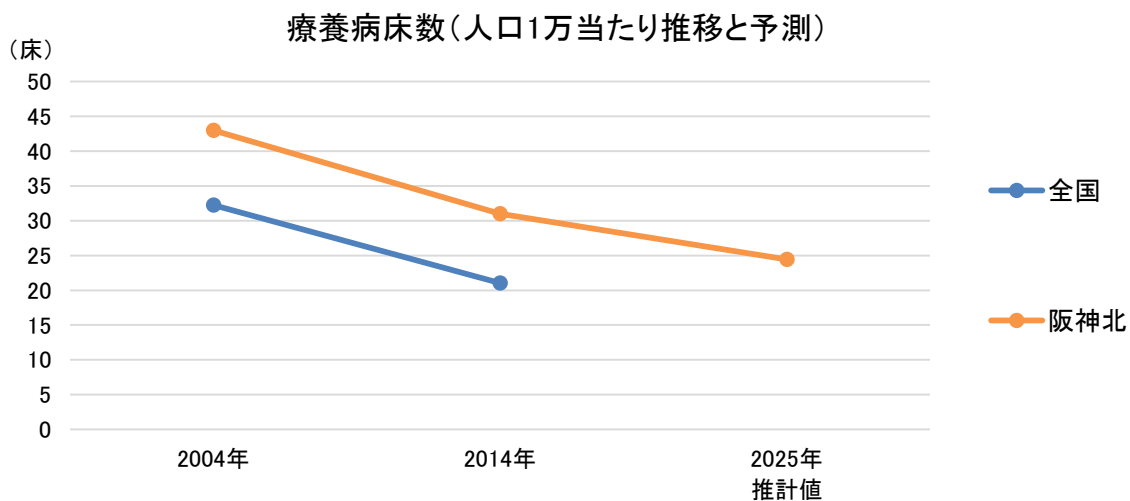
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が4523床(人口1万人当たり63(全国平均84)偏差値43)であったが、2014年に4641床(人口1万人当たり64(全国平均78)偏差値45)と、118床の増加、率にして3%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には4771床(2025年の推計人口1万人当たり68)になることが予想される。



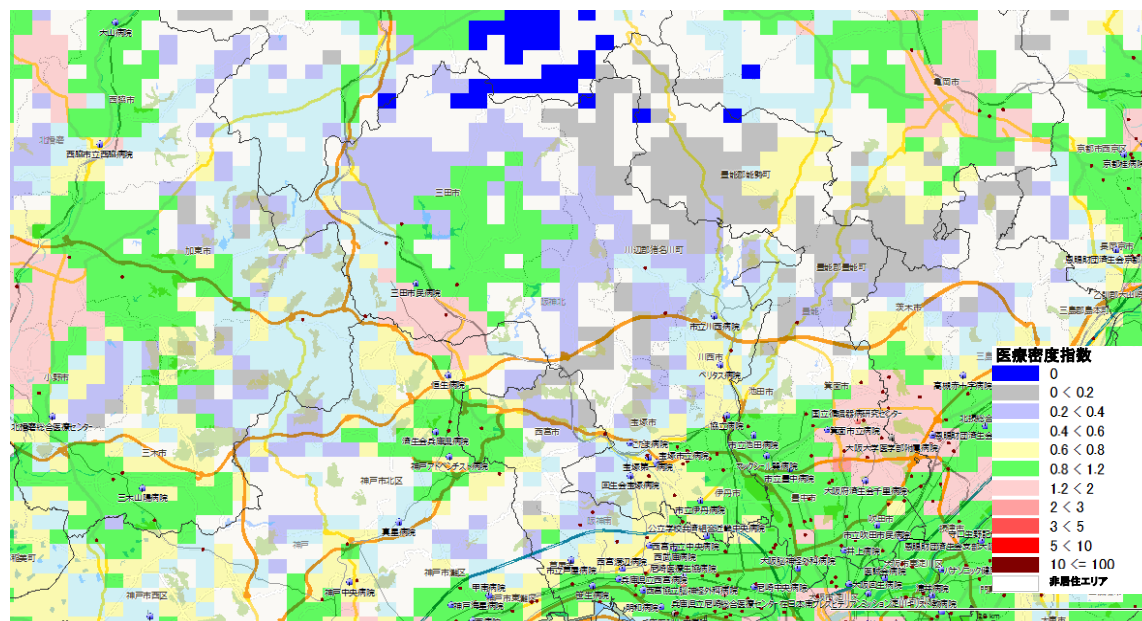
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が2264床(75歳以上1000人当たり43(全国平均32)偏差値56)であったが、2014年に2643床(75歳以上1000人当たり31(全国平均21)偏差値58)と、379床の増加、率にして17%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には3060床(2025年の推計75歳以上1000人当たり24)になることが予想される。



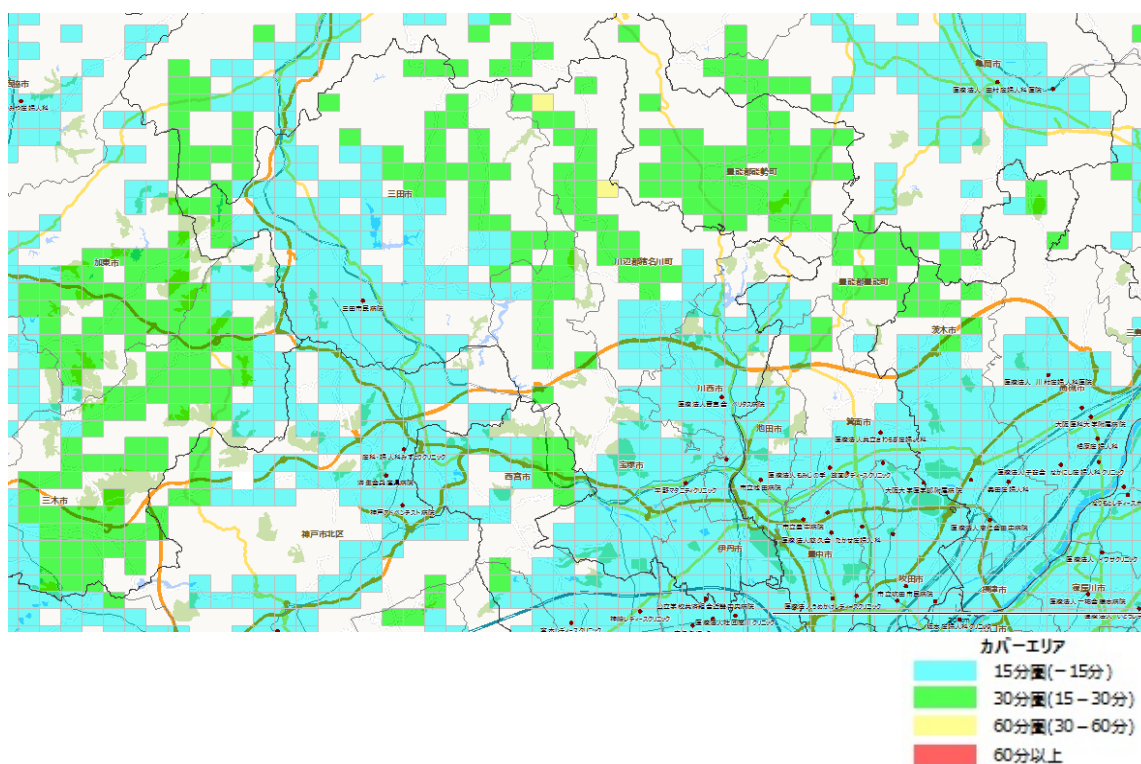
(阪神北医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表28-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表28-3-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

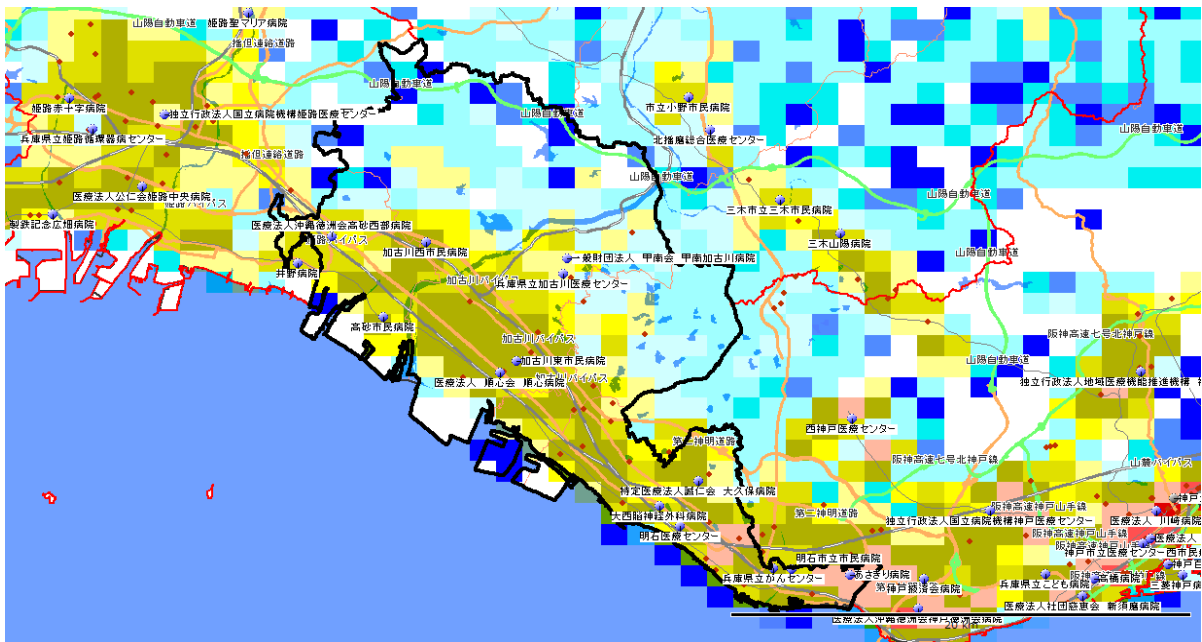
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



28-4. ひがしはりま 東播磨医療圏

構成市区町村⁹ [明石市](#) [播磨町](#) [加古川市](#) [高砂市](#) [稲美町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院

- I群
- II群
- III群

● 一般病院

(東播磨医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

- *人口、面積など： 東播磨(明石市)は、総人口約717千人(2015年)、面積266km²、人口密度は2691人/km²の大都市型二次医療圏である。
- *人口の将来予測： 東播磨の総人口は2025年に670千人へと減少し(2015年比-7%)、2040年に587千人へと減少する(2025年比-12%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の78千人が、2025年にかけて115千人へと増加し(2015年比+47%)、2040年には111千人へと減少する(2025年比-3%)ことが予想される。
- *医療費と介護給付費： 東播磨の一人当たり医療費(国保)は372千円(偏差値56)、介護給付費は216千円(偏差値40)であり、医療費は高いが、介護給付費は低い。

【医療の現状】

- *入院医療の充実度： 東播磨の一人当たり急性期医療密度指数²は0.95、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.32で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は充実している。
- *医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が46(病院医師数47、診療所医師数46)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は47とやや少ない。
- *一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は47で、一般病床数はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は50と全国平均レベルである。東播磨には、年間全身麻酔件数が2000例以上の兵庫県立がんセンター(Ⅲ群)、1000例以上の兵庫県立加古川医療センター(Ⅲ群・救命)、加古川西市民病院(Ⅲ群)、明石医療センター(Ⅲ群)、500例以上の加古川東市民病院(Ⅲ群)、高砂市民病院(Ⅲ群)、明石市立市民病院(Ⅲ群)がある。
- *療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は48と療養病床数は全国平均レベルである。
- *リハビリの現状： 総療法士数は偏差値50と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値50と全国平均レベルである。
- *精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は47で精神病床数はやや少ない。
- *診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は47で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

- *介護施設の現状： 東播磨の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、6886人(75歳以上1000人当たりの偏差値40)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が4061床(偏差値42)、高齢者住宅等が2825床(偏差値46)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回り、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、5399人(75歳以上1000人当たりの偏差値43)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。
施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設43、特別養護老人ホーム44、介護療養型医療施設51、有料老人ホーム44、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム43、サ高住58である。
- *在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値52と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値44と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値53とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、1021人(75歳以上1000人当たりの偏差値48)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。
- *介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-72%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、非常に多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(東播磨医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

東播磨医療圏の総人口は、2005年718429人が、2015年に716633人と1%未満減少し、2025年の人口が670123人と予測され、2005年→2025年の間に7%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に16%増加し、2015年から2025年にかけて4%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

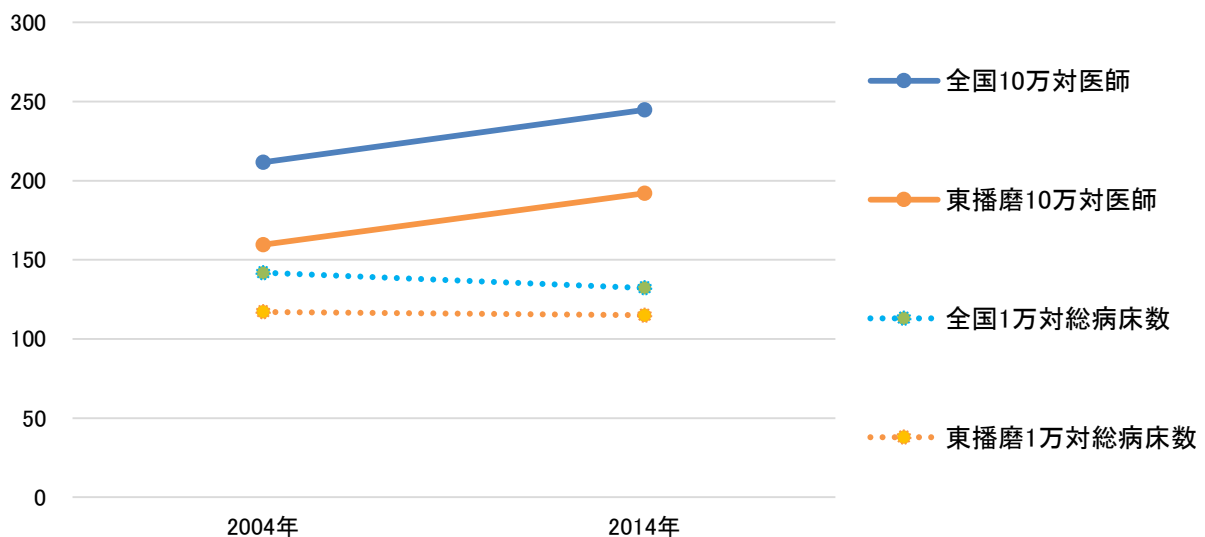
2004年の病院数が41(人口10万人当たり5.7病院(全国平均7.1)偏差値46)であったが、2014年に40(人口10万人当たり5.6病院(全国平均6.7)偏差値47)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が505(人口10万人当たり70診療所(全国平均76)偏差値47)であったが、2014年に525(人口10万人当たり73診療所(全国平均79)偏差値47)と、20診療所が増加した。

2004年の総病床数が8412床(人口1万人当たり117(全国平均142)偏差値46)であったが、2014年に8238床(人口1万人当たり115(全国平均132)偏差値47)と、174床の減少、率にして2%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

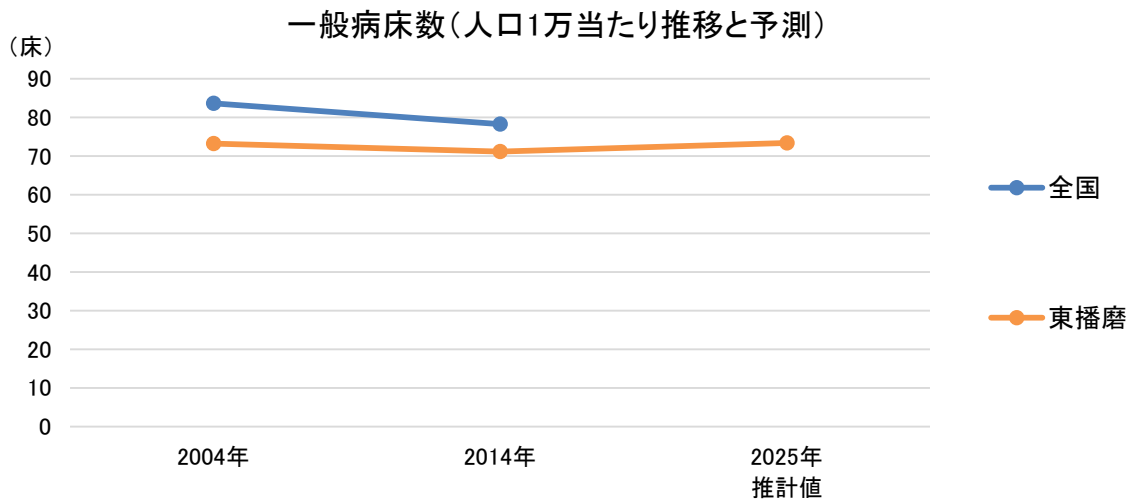
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が1147人(人口10万人当たり160人(全国平均212人)偏差値44)であったが、2014年に1376人(人口10万人当たり192人(全国平均245人)偏差値44)と、229人の増加、率にして20%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



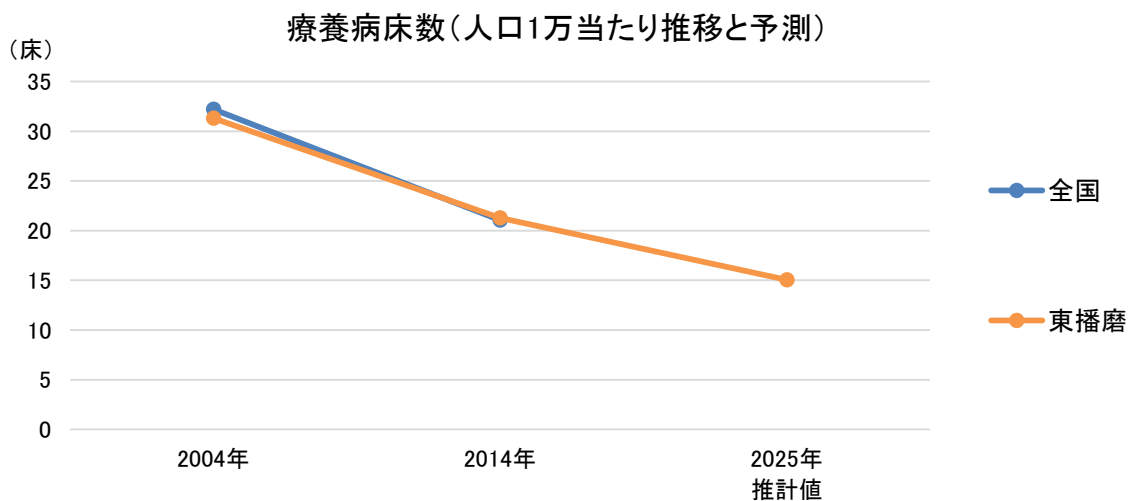
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が5260床(人口1万人当たり73(全国平均84)偏差値46)であったが、2014年に5098床(人口1万人当たり71(全国平均78)偏差値47)と、162床の減少、率にして3%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には4920床(2025年の推計人口1万人当たり73)になることが予想される。



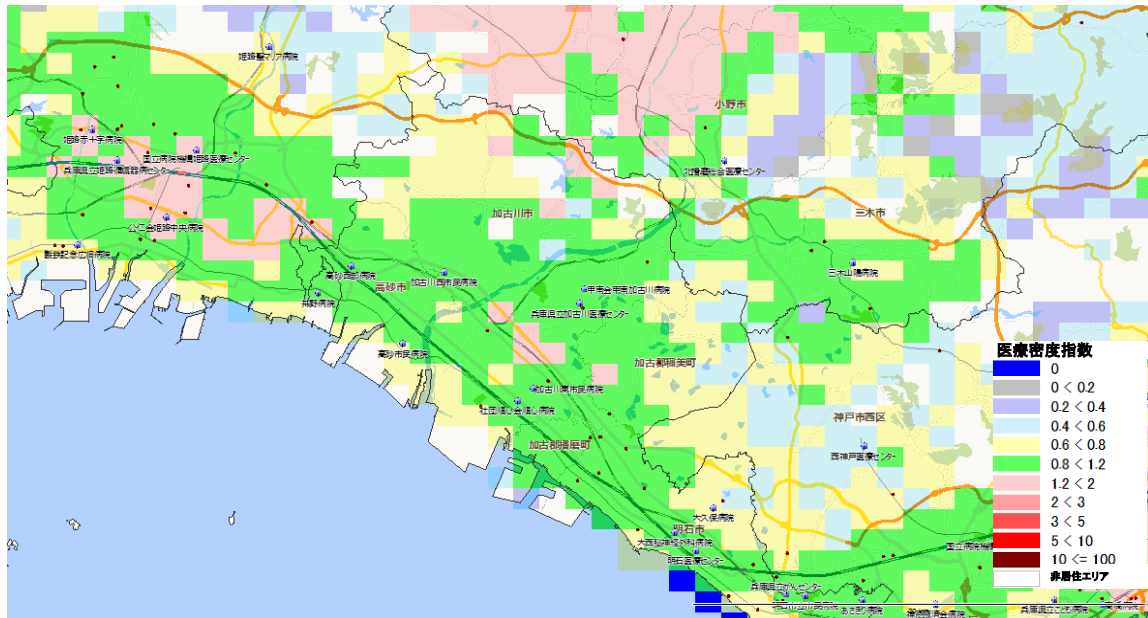
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1616床(75歳以上1000人当たり31(全国平均32)偏差値49)であったが、2014年に1670床(75歳以上1000人当たり21(全国平均21)偏差値50)と、54床の増加、率にして3%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には1729床(2025年の推計75歳以上1000人当たり15)になることが予想される。



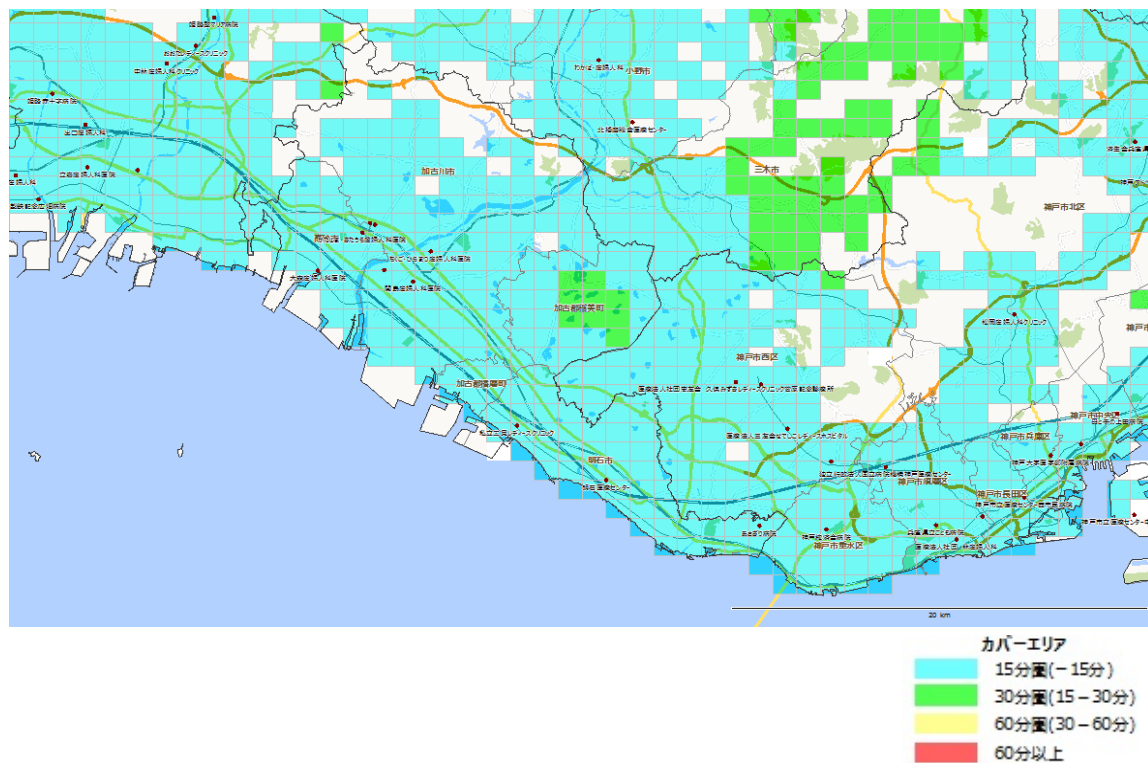
(東播磨医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表28-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表28-4-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

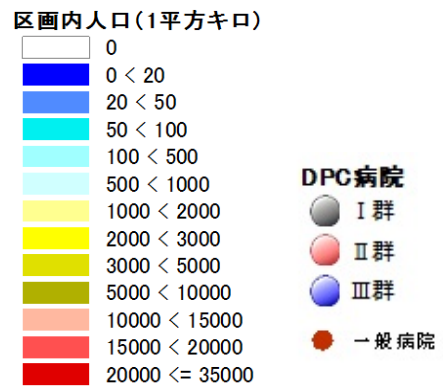
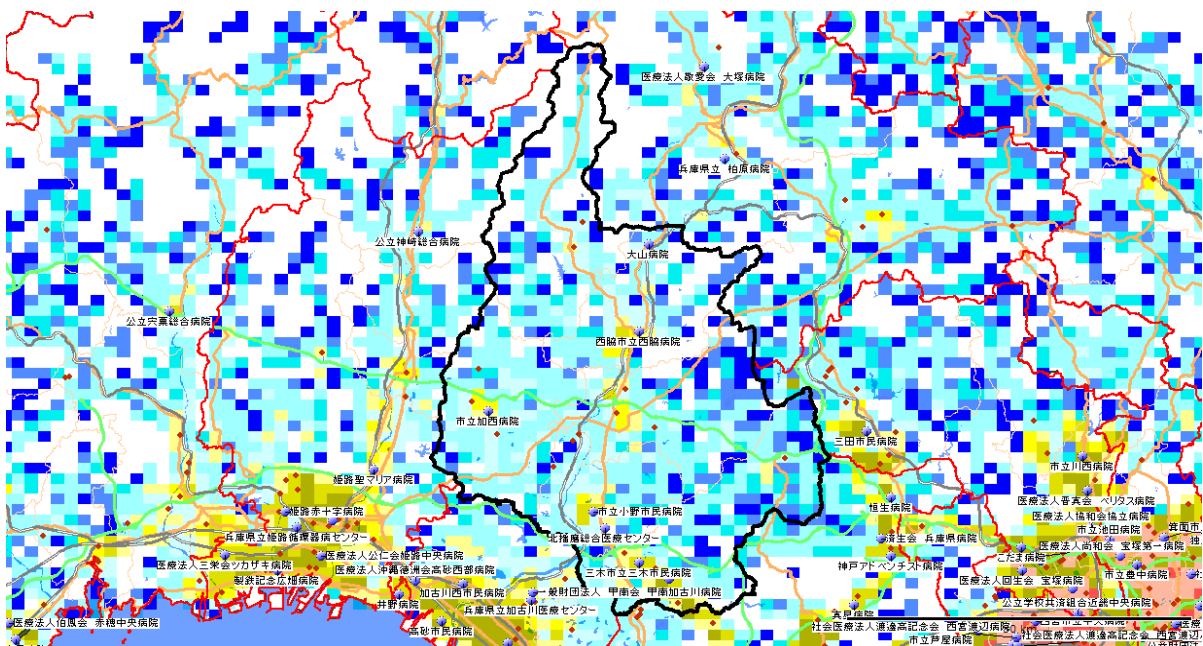
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



28-5. きたはりま 北播磨医療圏

構成市区町村⁹ [西脇市](#) [加東市](#) [三木市](#) [多可町](#) [小野市](#) [加西市](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



(北播磨医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 北播磨(西脇市)は、総人口約272千人(2015年)、面積896km²、人口密度は304人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 北播磨の総人口は2025年に255千人へと減少し(2015年比-6%)、2040年に217千人へと減少する(2025年比-15%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の39千人が、2025年にかけて52千人へと増加し(2015年比+33%)、2040年には50千人へと減少する(2025年比-4%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 北播磨の一人当たり医療費(国保)は378千円(偏差値58)、介護給付費は250千円(偏差値49)であり、医療費は高く、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 北播磨の一人当たり急性期医療密度指数²は1.03、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.77で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が51(病院医師数56、診療所医師数42)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数は多く、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は53とやや多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は61で、一般病床数は多い。全身麻酔数の偏差値は45とやや少ない。北播磨には、年間全身麻酔件数が1000例以上の北播磨総合医療センター(Ⅲ群)、500例以上の西脇市立西脇病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は55と療養病床数はやや多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値65と多く、回復期病床数は偏差値59と多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は52で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は47で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 北播磨の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3493人(75歳以上1000人当たりの偏差値41)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が2656床(偏差値55)、高齢者住宅等が837床(偏差値37)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3050人(75歳以上1000人当たりの偏差値51)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設41、特別養護老人ホーム60、介護療養型医療施設55、有料老人ホーム39、軽費ホーム58、グループホーム42、サ高住42である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値52と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値58と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値52と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、261人(75歳以上1000人当たりの偏差値37)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-29%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(北播磨医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

北播磨医療圏の総人口は、2005年291745人が、2015年に272447人と7%減少し、2025年の人口が255476人と予測され、2005年→2025年の間に12%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に6%増加し、2015年から2025年にかけて4%程度の増加が予測される。

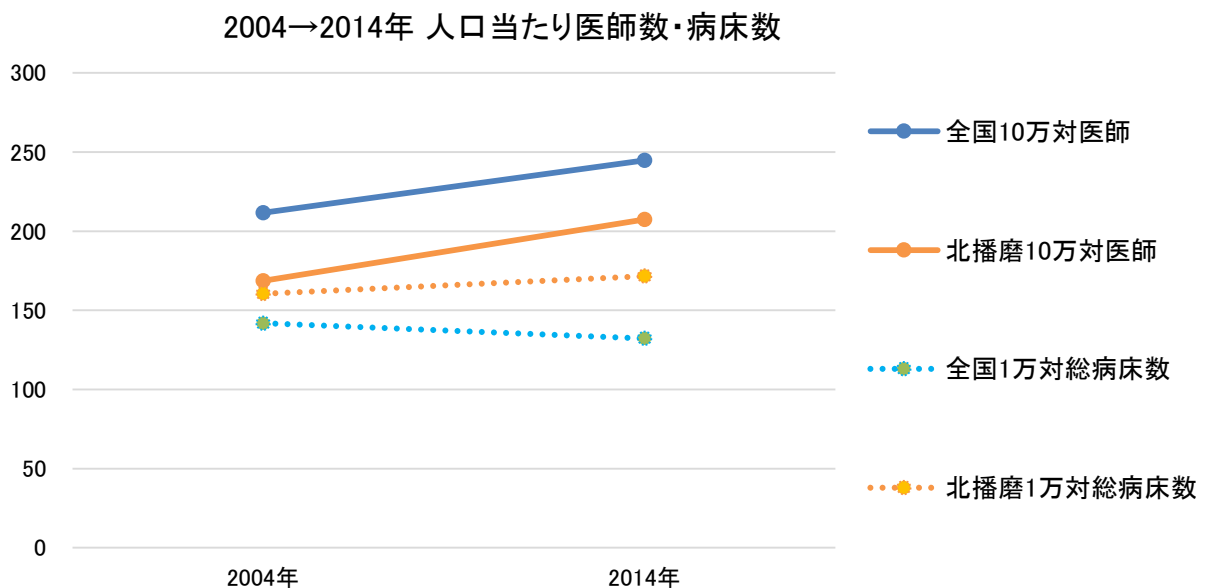
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が21(人口10万人当たり7.2病院(全国平均7.1)偏差値50)であったが、2014年に22(人口10万人当たり8.1病院(全国平均6.7)偏差値53)となり、10年間で1病院が増加した。

2004年の診療所数が212(人口10万人当たり73診療所(全国平均76)偏差値48)であったが、2014年に203(人口10万人当たり75診療所(全国平均79)偏差値48)と、9診療所が減少した。

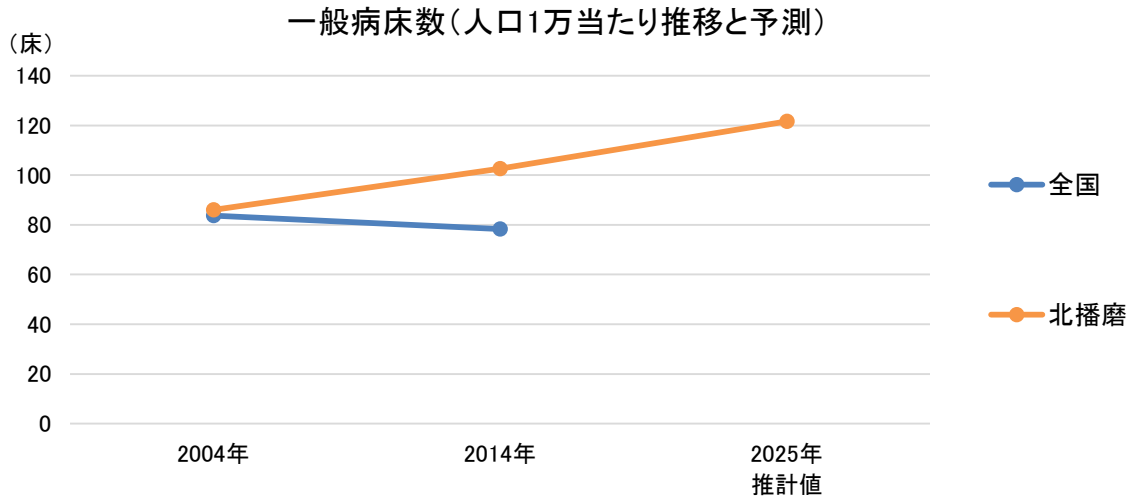
2004年の総病床数が4683床(人口1万人当たり161(全国平均142)偏差値53)であったが、2014年に4676床(人口1万人当たり172(全国平均132)偏差値57)と、7床の減少、率にして1%未満の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が492人(人口10万人当たり169人(全国平均212人)偏差値45)であったが、2014年に565人(人口10万人当たり207人(全国平均245人)偏差値46)と、73人の増加、率にして15%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



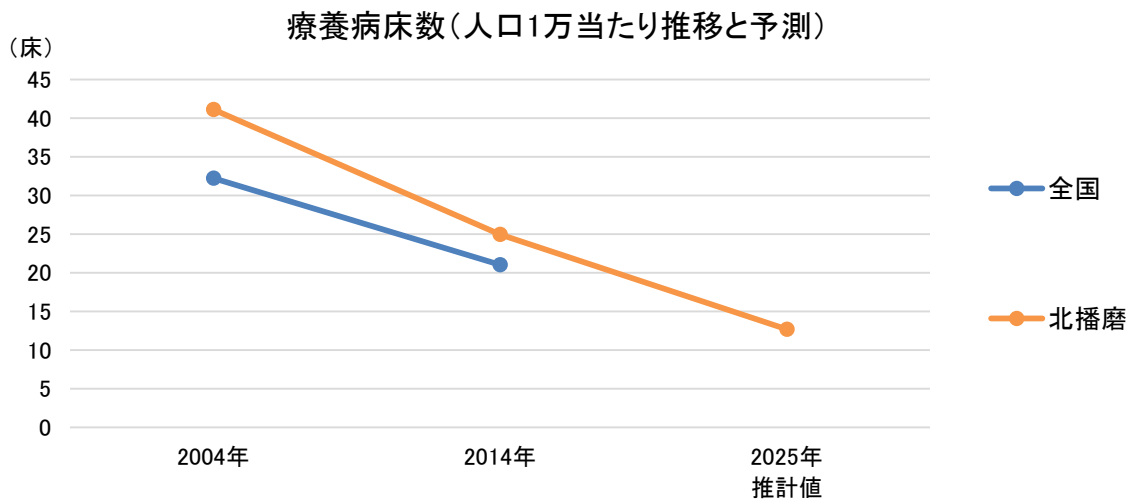
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2510床(人口1万人当たり86(全国平均84)偏差値51)であったが、2014年に2794床(人口1万人当たり103(全国平均78)偏差値59)と、284床の増加、率にして11%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には3106床(2025年の推計人口1万人当たり122)になることが予想される。



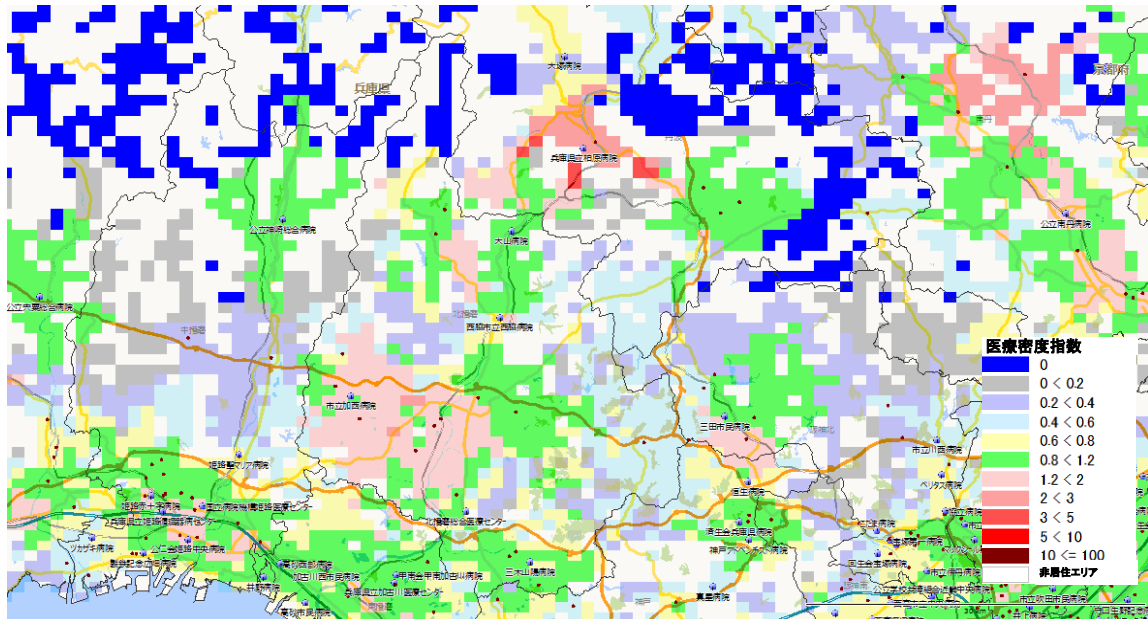
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1270床(75歳以上1000人当たり41(全国平均32)偏差値55)であったが、2014年に979床(75歳以上1000人当たり25(全国平均21)偏差値53)と、291床の減少、率にして23%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には659床(2025年の推計75歳以上1000人当たり13)になることが予想される。



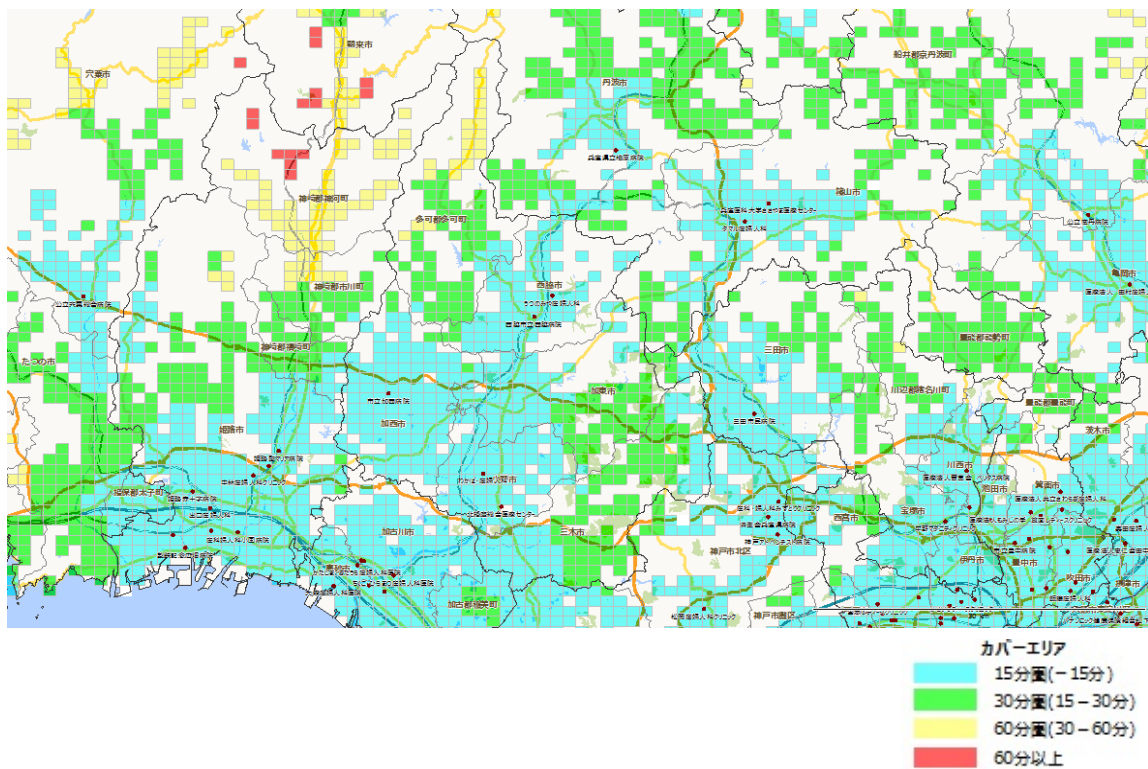
(北播磨医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表28-5-1 急性期医療密度指数マップ



図表28-5-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

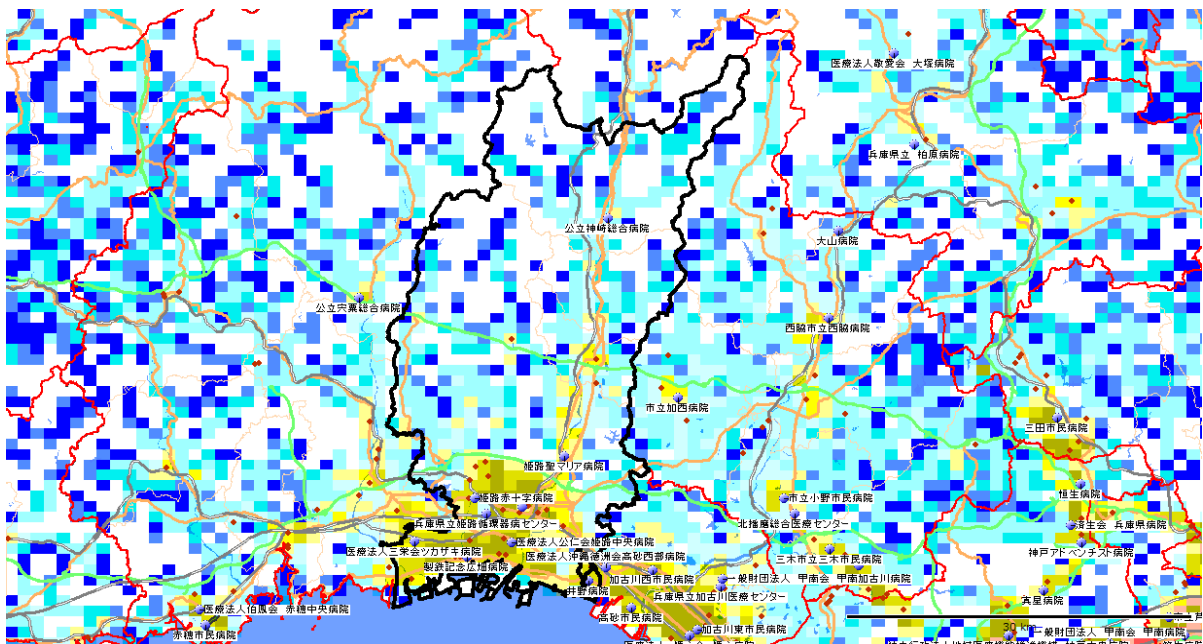
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



28-6. なかはりま 中播磨医療圏

構成市区町村⁹ [姫路市](#) [市川町](#) [福崎町](#) [神河町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPG病院



(中播磨医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 中播磨(姫路市)は、総人口約579千人(2015年)、面積865km²、人口密度は669人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 中播磨の総人口は2025年に544千人へと減少し(2015年比-6%)、2040年に483千人へと減少する(2025年比-11%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の68千人が、2025年にかけて90千人へと増加し(2015年比+32%)、2040年には87千人へと減少する(2025年比-3%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 中播磨の一人当たり医療費(国保)は349千円(偏差値51)、介護給付費は254千円(偏差値50)であり、医療費、介護給付費ともに全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 中播磨の一人当たり急性期医療密度指数²は0.86、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.98で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が46(病院医師数46、診療所医師数46)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は50と全国平均レベルである。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は50で、一般病床数は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は56と多い。中播磨には、年間全身麻酔件数が2000例以上の国立病院機構姫路医療センター(Ⅲ群)、姫路赤十字病院(Ⅱ群)、製鉄記念広畑病院(Ⅲ群・救命)、1000例以上の姫路聖マリア病院(Ⅲ群)、500例以上のツカザキ病院(Ⅲ群)、兵庫県立姫路循環器病センター(Ⅲ群・救命)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は48と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値52と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値50と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は48で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は47で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 中播磨の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、6618人(75歳以上1000人当たりの偏差値46)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が3817床(偏差値46)、高齢者住宅等が2801床(偏差値49)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、4659人(75歳以上1000人当たりの偏差値43)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設38、特別養護老人ホーム51、介護療養型医療施設52、有料老人ホーム48、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム42、サ高住60である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値50と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値54とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値60と多い。介護職員(在宅)の合計は、1183人(75歳以上1000人当たりの偏差値56)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-42%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(中播磨医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

中播磨医療圏の総人口は、2005年584128人が、2015年に579154人と1%減少し、2025年の人口が544321人と予測され、2005年→2025年の間に7%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に12%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の増加が予測される。

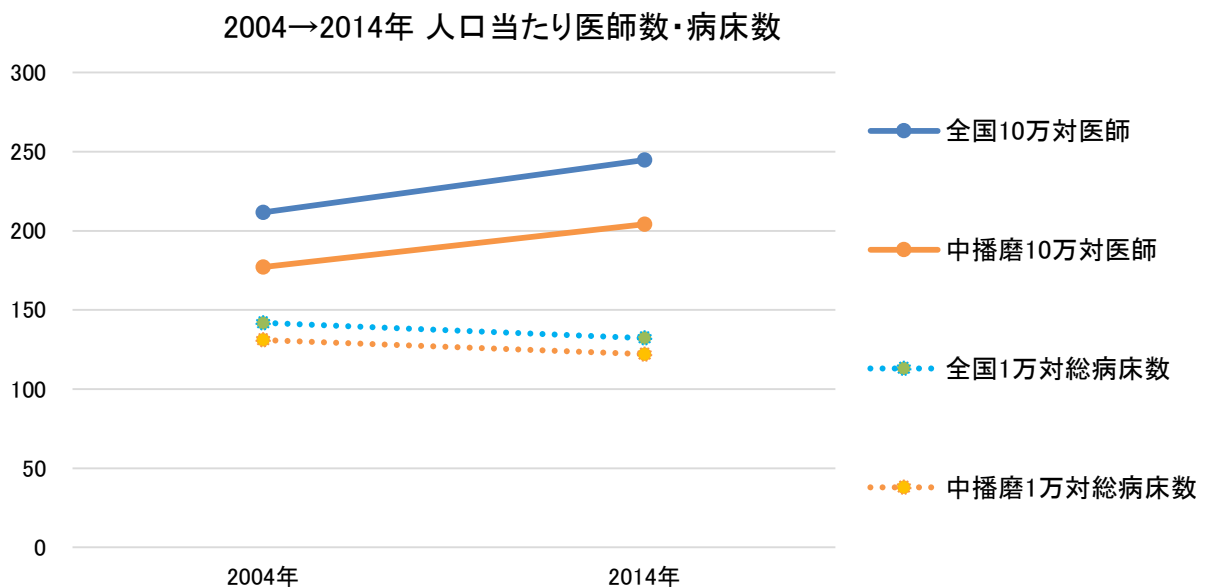
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が41(人口10万人当たり7病院(全国平均7.1)偏差値50)であったが、2014年に38(人口10万人当たり6.6病院(全国平均6.7)偏差値50)となり、10年間で3病院が減少した。

2004年の診療所数が428(人口10万人当たり73診療所(全国平均76)偏差値49)であったが、2014年に426(人口10万人当たり74診療所(全国平均79)偏差値47)と、2診療所が減少した。

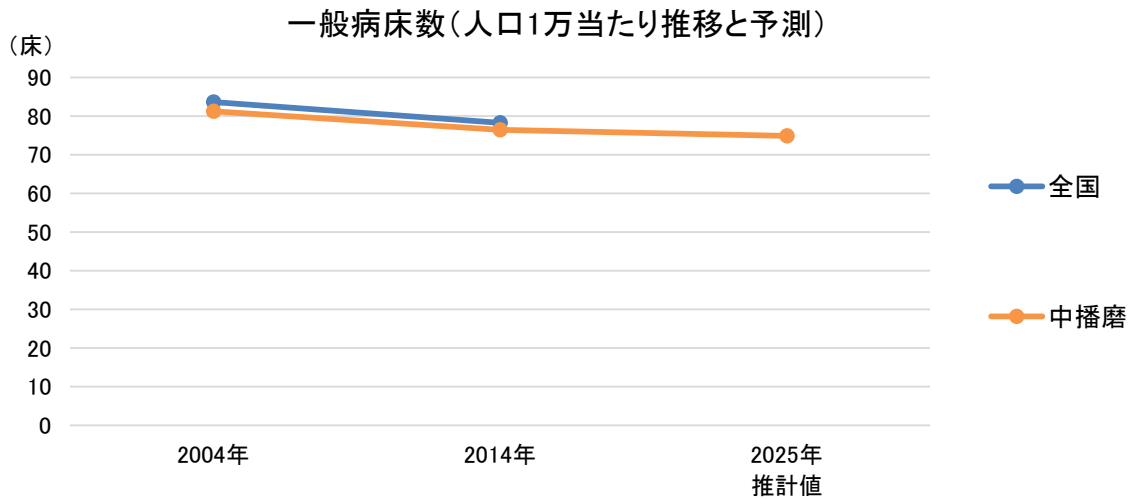
2004年の総病床数が7657床(人口1万人当たり131(全国平均142)偏差値48)であったが、2014年に7069床(人口1万人当たり122(全国平均132)偏差値48)と、588床の減少、率にして8%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が1035人(人口10万人当たり177人(全国平均212人)偏差値46)であったが、2014年に1183人(人口10万人当たり204人(全国平均245人)偏差値46)と、148人の増加、率にして14%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



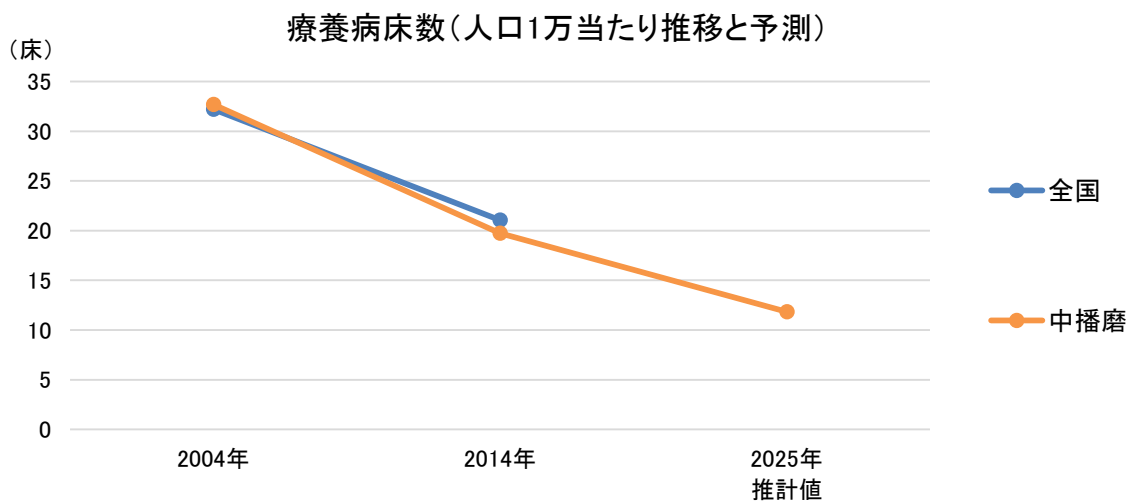
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が4747床(人口1万人当たり81(全国平均84)偏差値49)であったが、2014年に4427床(人口1万人当たり76(全国平均78)偏差値49)と、320床の減少、率にして7%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には4075床(2025年の推計人口1万人当たり75)になることが予想される。



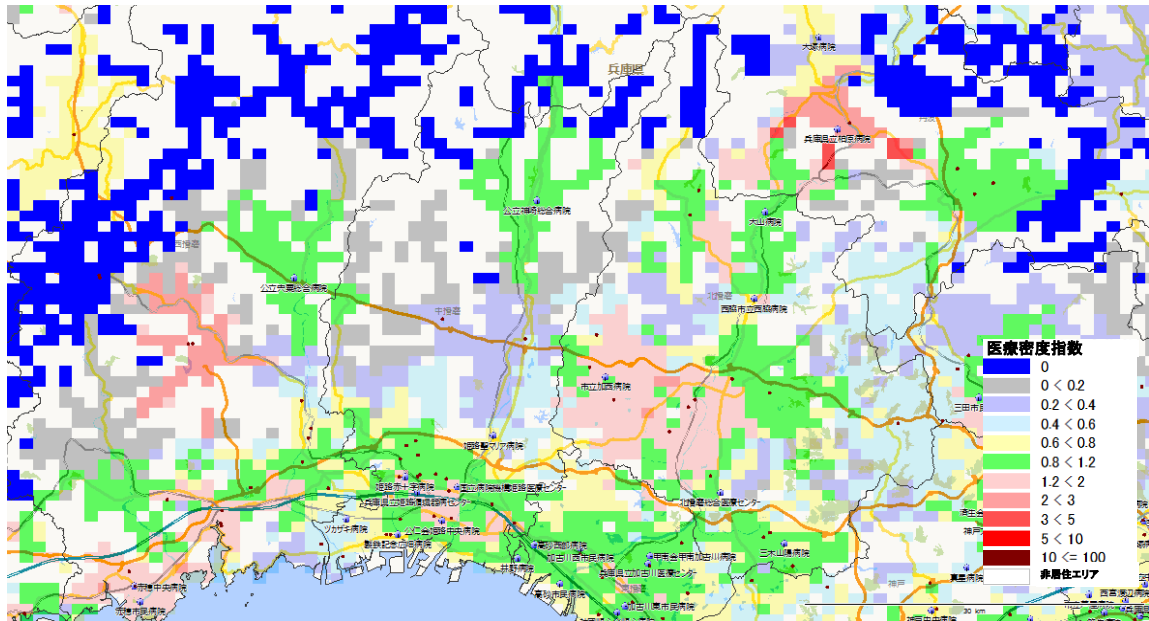
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1593床(75歳以上1000人当たり33(全国平均32)偏差値50)であったが、2014年に1340床(75歳以上1000人当たり20(全国平均21)偏差値49)と、253床の減少、率にして16%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1062床(2025年の推計75歳以上1000人当たり12)になることが予想される。



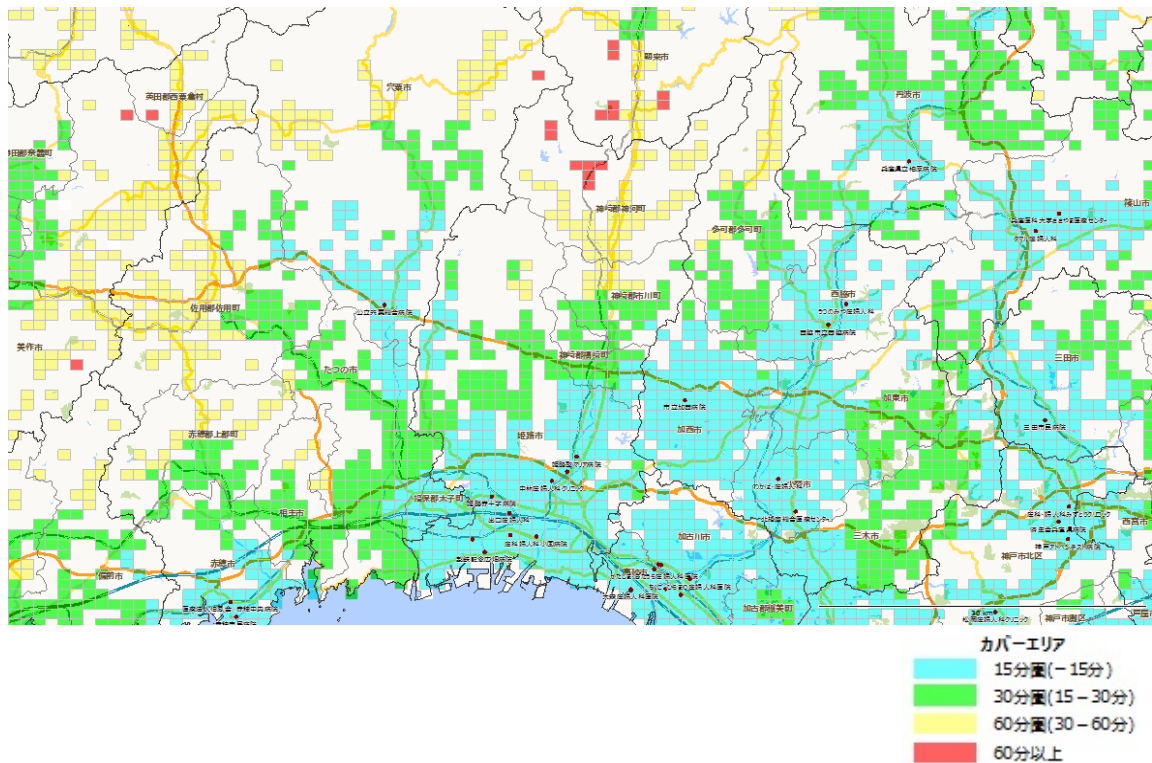
(中播磨医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表28-6-1 急性期医療密度指数マップ



図表28-6-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

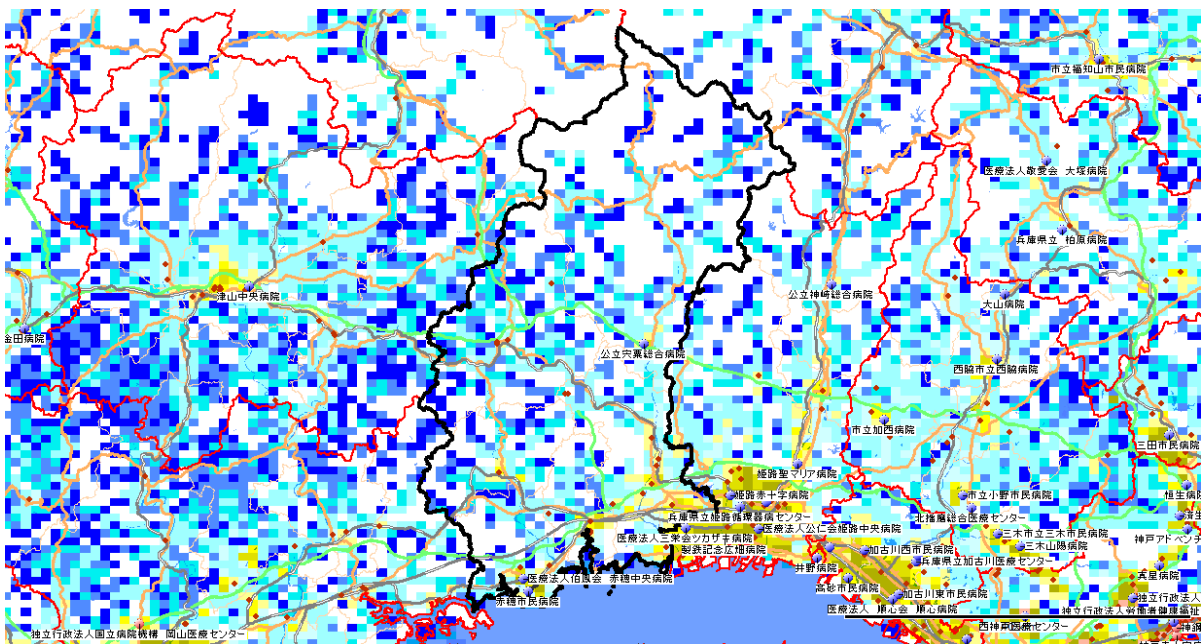
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



にしはりま 28-7. 西播磨医療圏

構成市区町村⁹ [相生市](#) [赤穂市](#) [宍粟市](#) [たつの市](#)
[太子町](#) [上郡町](#) [佐用町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(西播磨医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

- *人口、面積など： 西播磨(相生市)は、総人口約260千人(2015年)、面積1567km²、人口密度は166人/km²の地方都市型二次医療圏である。
- *人口の将来予測： 西播磨の総人口は2025年に241千人へと減少し(2015年比-7%)、2040年に203千人へと減少する(2025年比-16%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の38千人が、2025年にかけて48千人へと増加し(2015年比+26%)、2040年には44千人へと減少する(2025年比-8%)ことが予想される。
- *医療費と介護給付費： 西播磨の一人当たり医療費(国保)は384千円(偏差値59)、介護給付費は254千円(偏差値50)であり、医療費は高く、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

- *入院医療の充実度： 西播磨の一人当たり急性期医療密度指数²は1.01、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.72で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は少ない。
- *医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が42(病院医師数44、診療所医師数41)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は46とやや少ない。
- *一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は53で、一般病床数はやや多い。全身麻酔数の偏差値は38と少ない。西播磨には、年間全身麻酔件数が500例以上の赤穂市民病院(Ⅲ群)がある。
- *療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は50と療養病床数は全国平均レベルである。
- *リハビリの現状： 総療法士数は偏差値52と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値52と全国平均レベルである。
- *精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は54で精神病床数はやや多い。
- *診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は46で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

- *介護施設の現状： 西播磨の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3569人(75歳以上1000人当たりの偏差値44)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が2698床(偏差値57)、高齢者住宅等が871床(偏差値38)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2954人(75歳以上1000人当たりの偏差値51)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設47、特別養護老人ホーム63、介護療養型医療施設46、有料老人ホーム39、軽費ホーム44、グループホーム43、サ高住47である。

- *在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値43と少なく、在宅療養支援病院は偏差値51と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値55とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、328人(75歳以上1000人当たりの偏差値40)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

- *介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-26%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(西播磨医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

西播磨医療圏の総人口は、2005年280302人が、2015年に260312人と7%減少し、2025年の人口が240956人と予測され、2005年→2025年の間に14%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に6%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の増加が予測される。

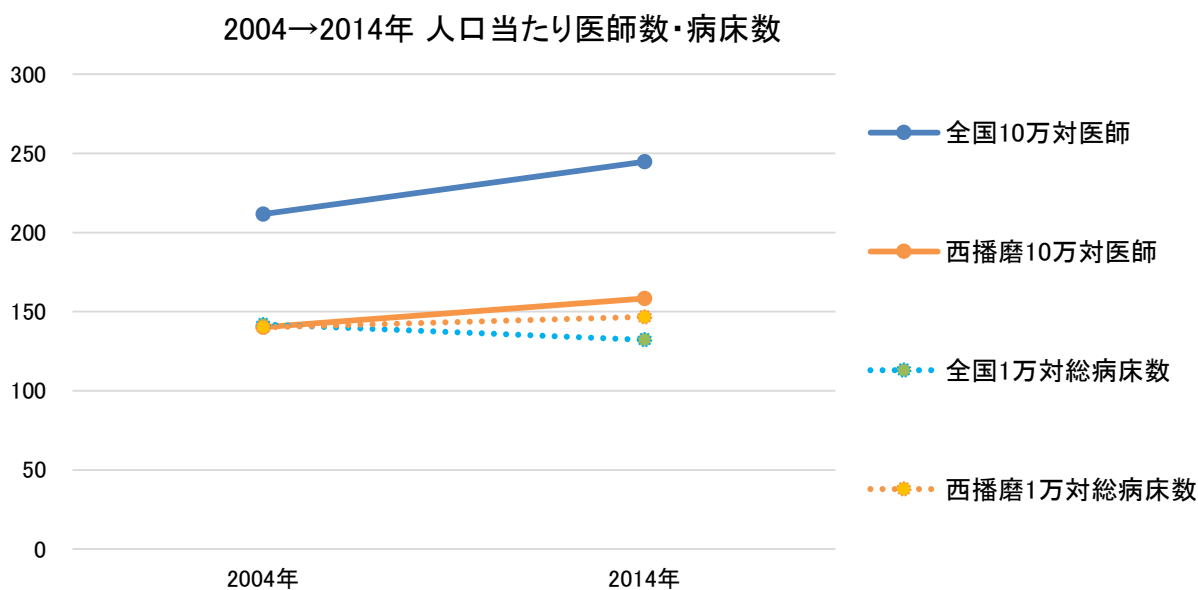
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が23(人口10万人当たり8.2病院(全国平均7.1)偏差値53)であったが、2014年に24(人口10万人当たり9.2病院(全国平均6.7)偏差値56)となり、10年間で1病院が増加した。

2004年の診療所数が181(人口10万人当たり65診療所(全国平均76)偏差値44)であったが、2014年に187(人口10万人当たり72診療所(全国平均79)偏差値46)と、6診療所が増加した。

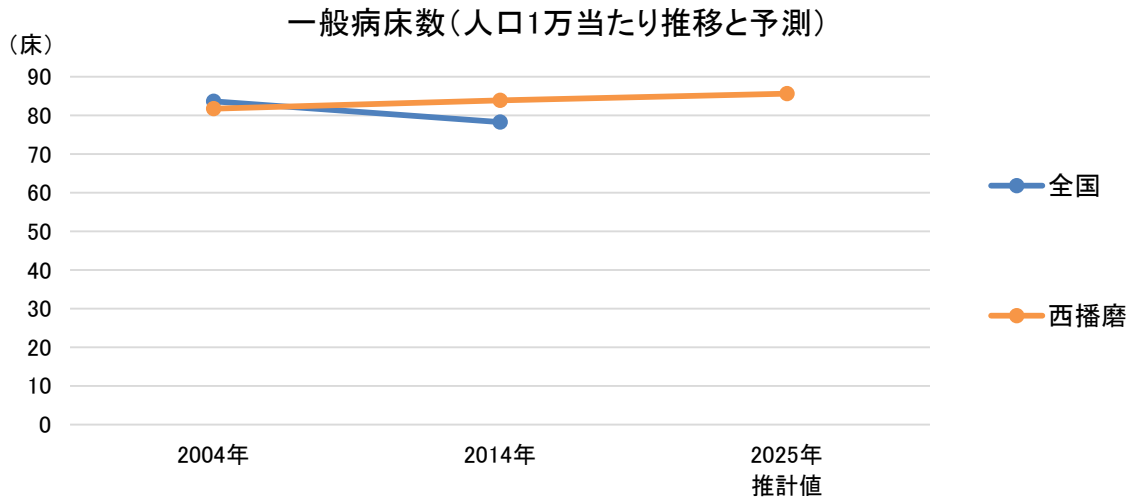
2004年の総病床数が3927床(人口1万人当たり140(全国平均142)偏差値50)であったが、2014年に3818床(人口1万人当たり147(全国平均132)偏差値53)と、109床の減少、率にして3%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が393人(人口10万人当たり140人(全国平均212人)偏差値41)であったが、2014年に412人(人口10万人当たり158人(全国平均245人)偏差値41)と、19人の増加、率にして5%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



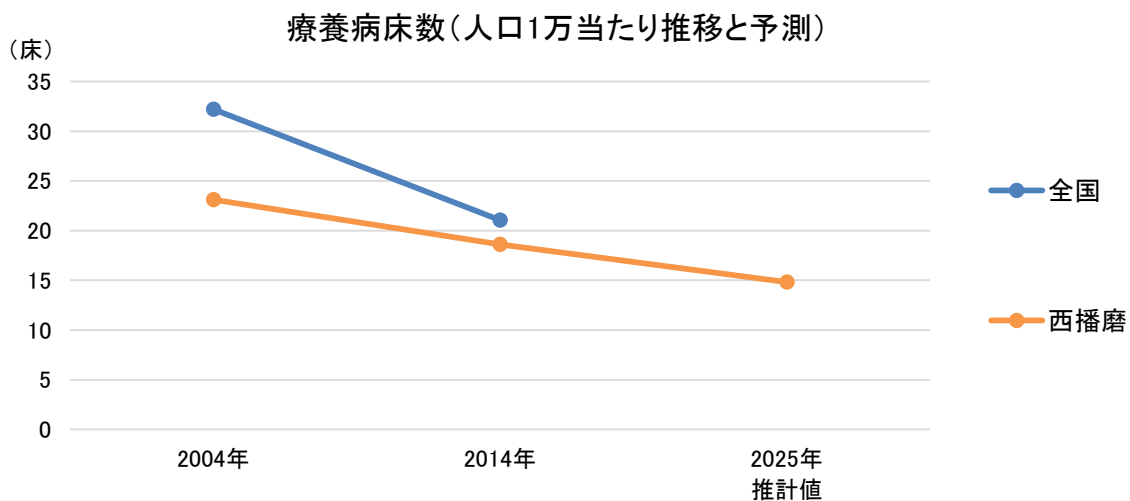
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2291床(人口1万人当たり82(全国平均84)偏差値49)であったが、2014年に2183床(人口1万人当たり84(全国平均78)偏差値52)と、108床の減少、率にして5%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2064床(2025年の推計人口1万人当たり86)になることが予想される。



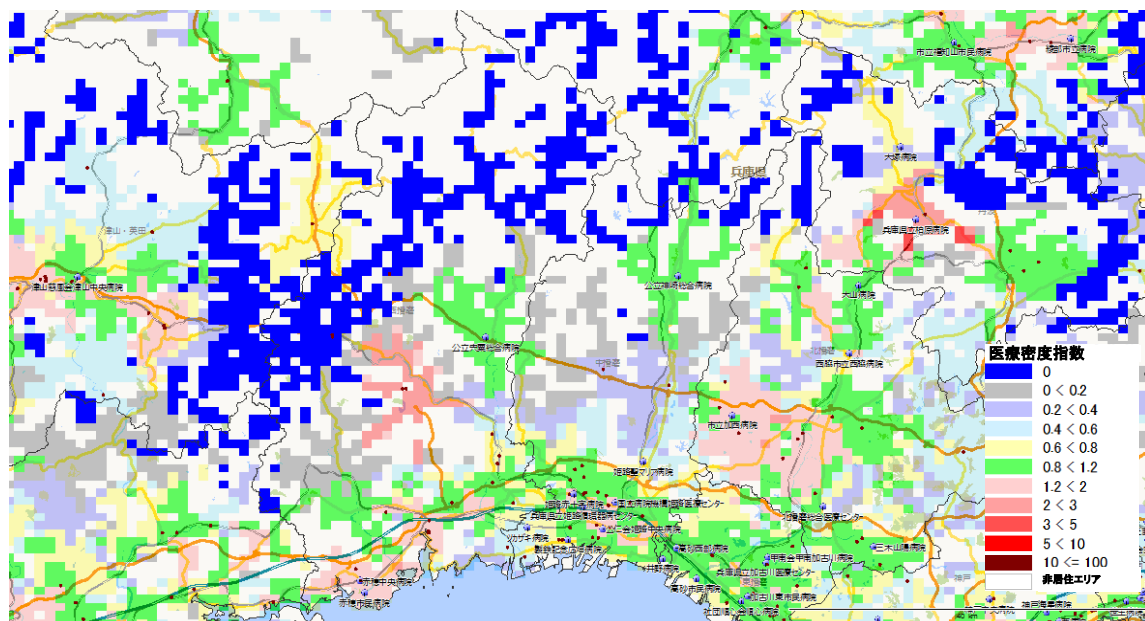
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が714床(75歳以上1000人当たり23(全国平均32)偏差値45)であったが、2014年に713床(75歳以上1000人当たり19(全国平均21)偏差値48)と、1床の減少、率にして1%未満の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には712床(2025年の推計75歳以上1000人当たり15)になることが予想される。



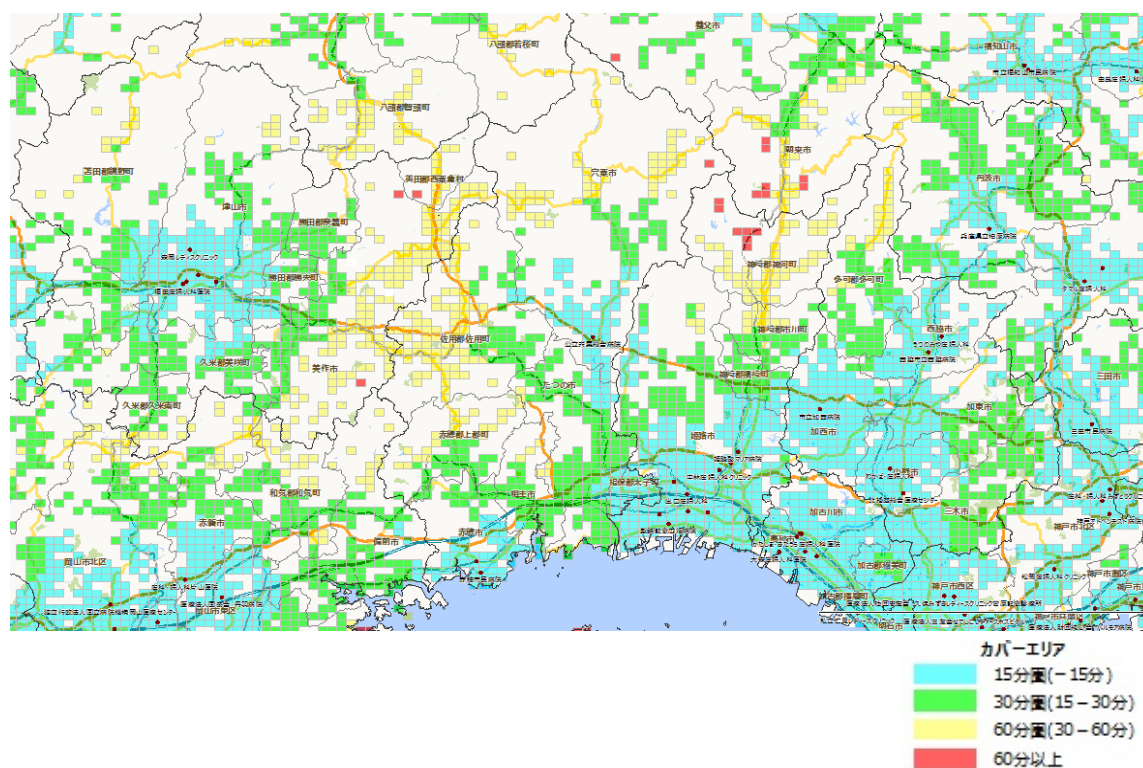
(西播磨医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表28-7-1 急性期医療密度指数マップ



図表28-7-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

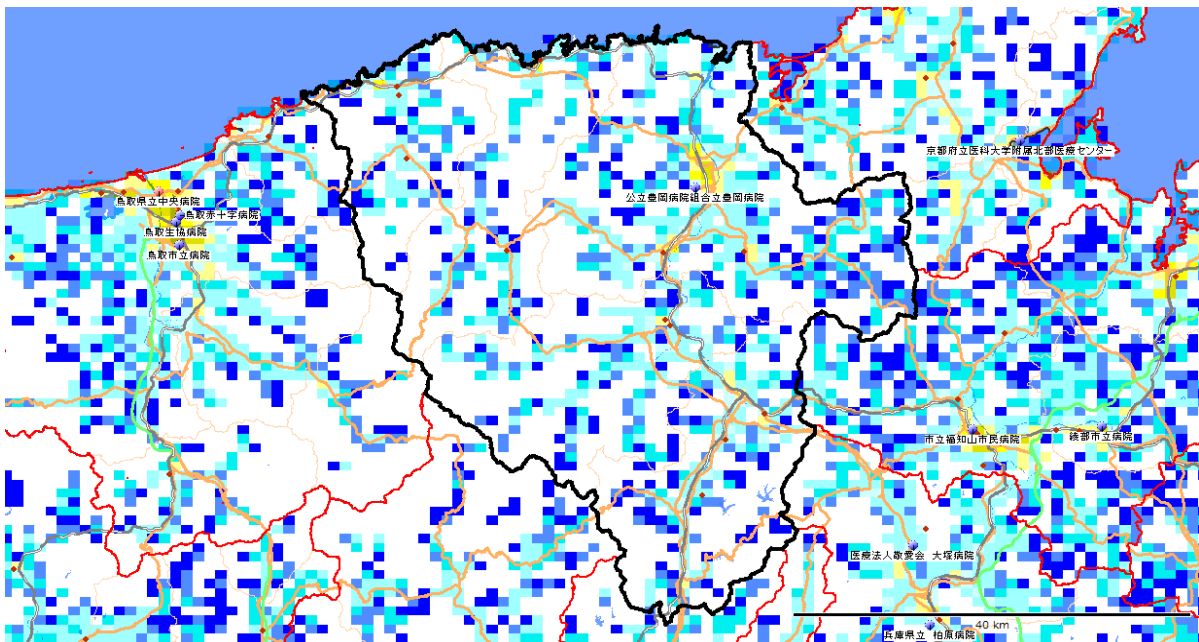
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



28-8. たじま 但馬医療圏

構成市区町村⁹ [豊岡市](#) [養父市](#) [朝来市](#) [香美町](#)
[新温泉町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



DPC病院



(但馬医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 但馬(豊岡市)は、総人口約170千人(2015年)、面積2133km²、人口密度は80人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 但馬の総人口は2025年に151千人へと減少し(2015年比-11%)、2040年に122千人へと減少する(2025年比-19%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の31千人が、2025年にかけて35千人へと増加し(2015年比+13%)、2040年には33千人へと減少する(2025年比-6%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 但馬の一人当たり医療費(国保)は359千円(偏差値53)、介護給付費は290千円(偏差値61)であり、医療費はやや高く、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 但馬の一人当たり急性期医療密度指数²は0.95、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.51で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が44(病院医師数43、診療所医師数46)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は51と全国平均レベルである。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は51で、一般病床数は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は43と少ない。但馬には、年間全身麻酔件数が1000例以上の豊岡病院(Ⅲ群・救命)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は43と療養病床数は少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値43と少なく、回復期病床数は偏差値44と少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は54で精神病床数はやや多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は52で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 但馬の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2883人(75歳以上1000人当たりの偏差値43)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が2207床(偏差値57)、高齢者住宅等が676床(偏差値37)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2656人(75歳以上1000人当たりの偏差値57)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設42、特別養護老人ホーム68、介護療養型医療施設41、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホーム52、グループホーム53、サ高住38である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値57と多く、在宅療養支援病院は偏差値43と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値54とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、238人(75歳以上1000人当たりの偏差値39)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-5%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(但馬医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

但馬医療圏の総人口は、2005年191211人が、2015年に170232人と11%減少し、2025年の人口が150718人と予測され、2005年→2025年の間に21%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に2%減少し、2015年から2025年にかけて3%程度の減少が予測される。

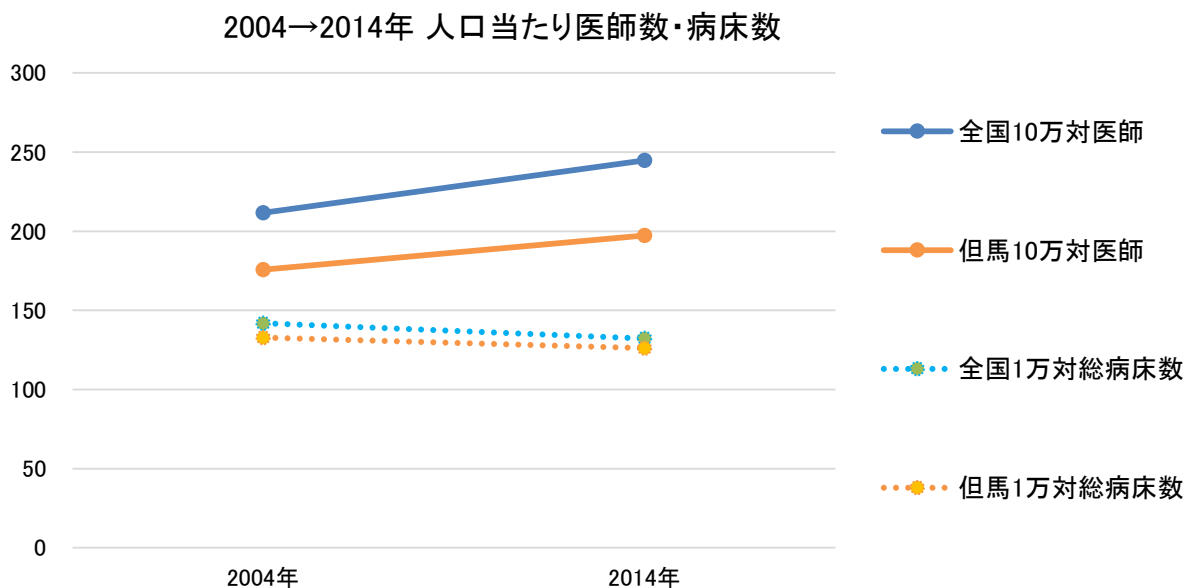
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が14(人口10万人当たり7.3病院(全国平均7.1)偏差値51)であったが、2014年に12(人口10万人当たり7病院(全国平均6.7)偏差値51)となり、10年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が133(人口10万人当たり70診療所(全国平均76)偏差値47)であったが、2014年に138(人口10万人当たり81診療所(全国平均79)偏差値51)と、5診療所が増加した。

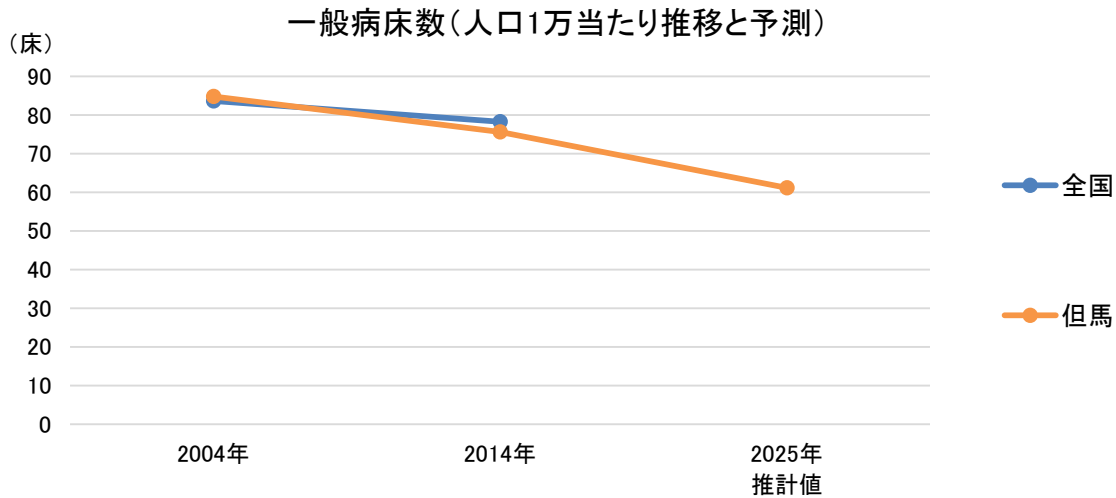
2004年の総病床数が2539床(人口1万人当たり133(全国平均142)偏差値48)であったが、2014年に2147床(人口1万人当たり126(全国平均132)偏差値49)と、392床の減少、率にして15%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が336人(人口10万人当たり176人(全国平均212人)偏差値46)であったが、2014年に336人(人口10万人当たり197人(全国平均245人)偏差値45)と、増減がなかった(全国平均15%の増加)。



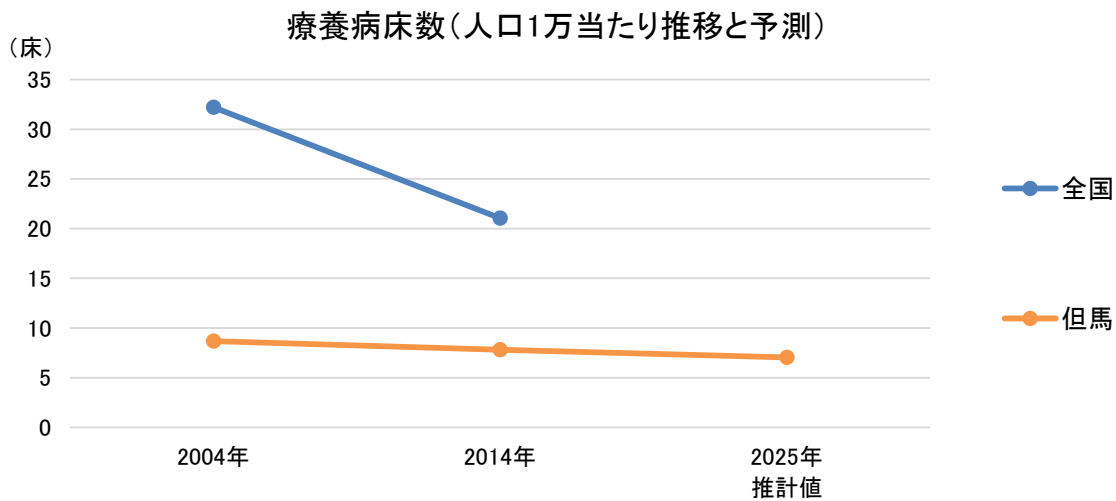
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1621床(人口1万人当たり85(全国平均84)偏差値50)であったが、2014年に1288床(人口1万人当たり76(全国平均78)偏差値49)と、333床の減少、率にして21%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には922床(2025年の推計人口1万人当たり61)になることが予想される。



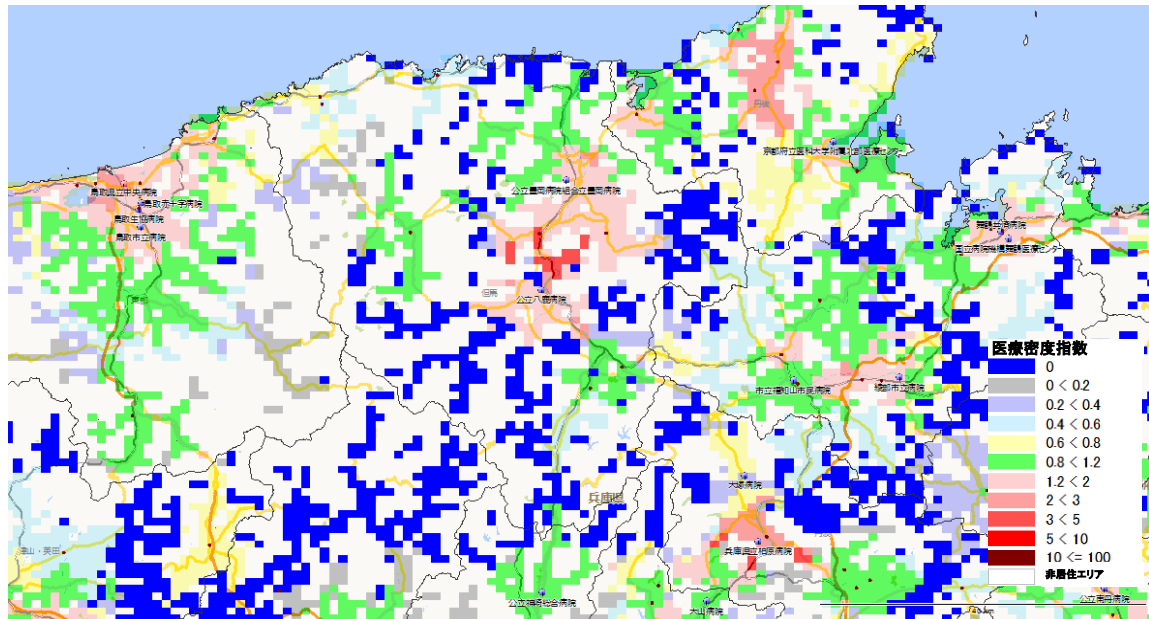
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が245床(75歳以上1000人当たり9(全国平均32)偏差値37)であったが、2014年に246床(75歳以上1000人当たり8(全国平均21)偏差値39)と、1床の増加、率にして1%未満の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には247床(2025年の推計75歳以上1000人当たり7)になることが予想される。



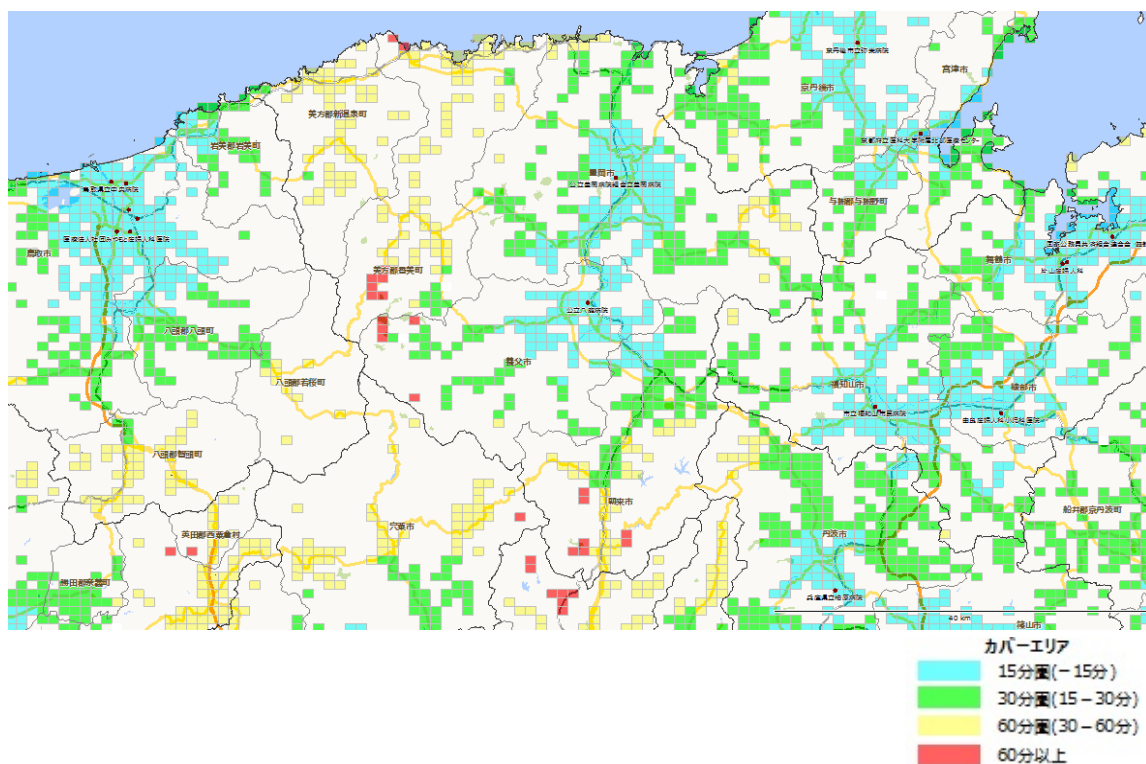
(但馬医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表28-8-1 急性期医療密度指数マップ



図表28-8-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

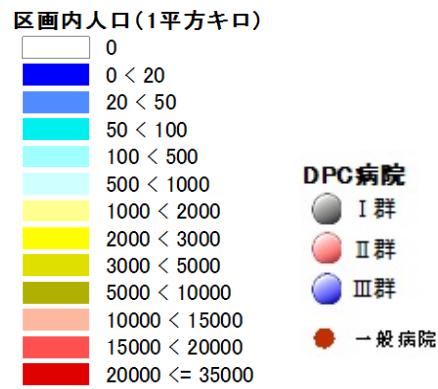
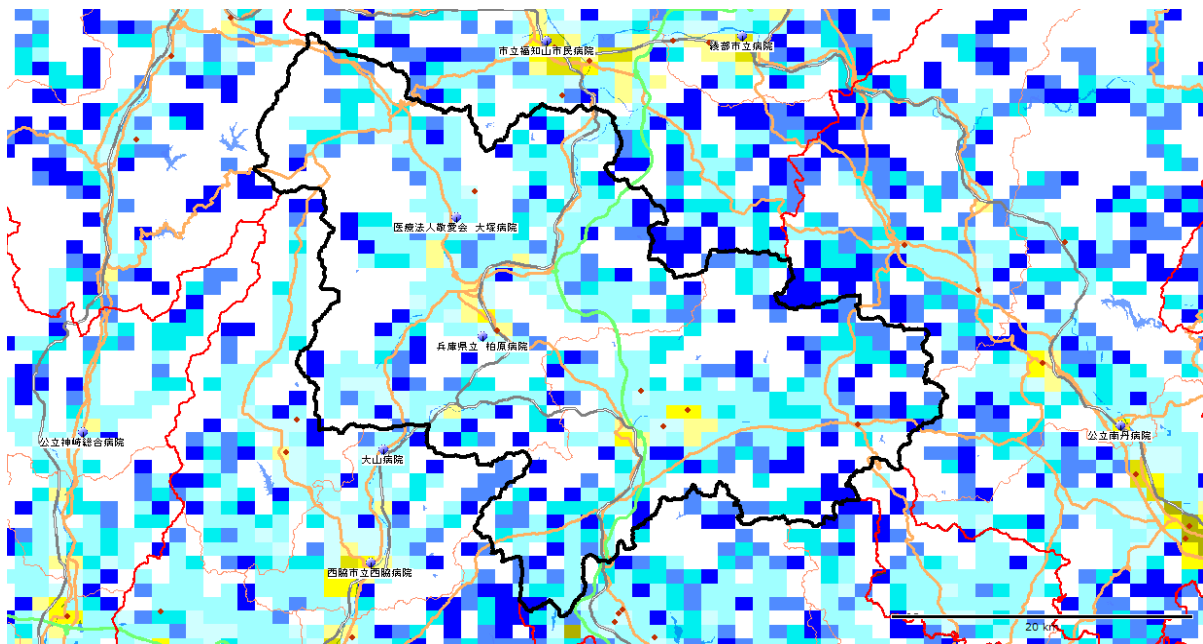
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



28-9. たんば 丹波医療圏

構成市区町村⁹ [篠山市](#) [丹波市](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



(丹波医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 丹波(篠山市)は、総人口約106千人(2015年)、面積871km²、人口密度は122人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 丹波の総人口は2025年に95千人へと減少し(2015年比-10%)、2040年に78千人へと減少する(2025年比-18%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の18千人が、2025年にかけて21千人へと増加し(2015年比+17%)、2040年には20千人へと減少する(2025年比-5%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 丹波の一人当たり医療費(国保)は382千円(偏差値59)、介護給付費は254千円(偏差値50)であり、医療費は高く、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 丹波の一人当たり急性期医療密度指数²は0.92、一人当たり慢性期医療密度指数²は2.61で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が42(病院医師数44、診療所医師数41)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は48と全国平均レベルである。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は50で、一般病床数は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は40と少ない。丹波には、年間全身麻酔件数が500例以上の兵庫県立柏原病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は60と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値45とやや少なく、回復期病床数は0である。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は49で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は50で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 丹波の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1257人(75歳以上1000人当たりの偏差値29)と全国平均レベルを大きく下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1017床(偏差値45)、高齢者住宅等が240床(偏差値32)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回り、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1253人(75歳以上1000人当たりの偏差値43)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設46、特別養護老人ホーム47、介護療養型医療施設47、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム43、サ高住37である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値45とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値55とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値42と少ない。介護職員(在宅)の合計は、124人(75歳以上1000人当たりの偏差値37)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-44%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(丹波医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

丹波医療圏の総人口は、2005年116055人が、2015年に106150人と9%減少し、2025年の人口が94572人と予測され、2005年→2025年の間に19%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に1%増加し、2015年から2025年にかけて3%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

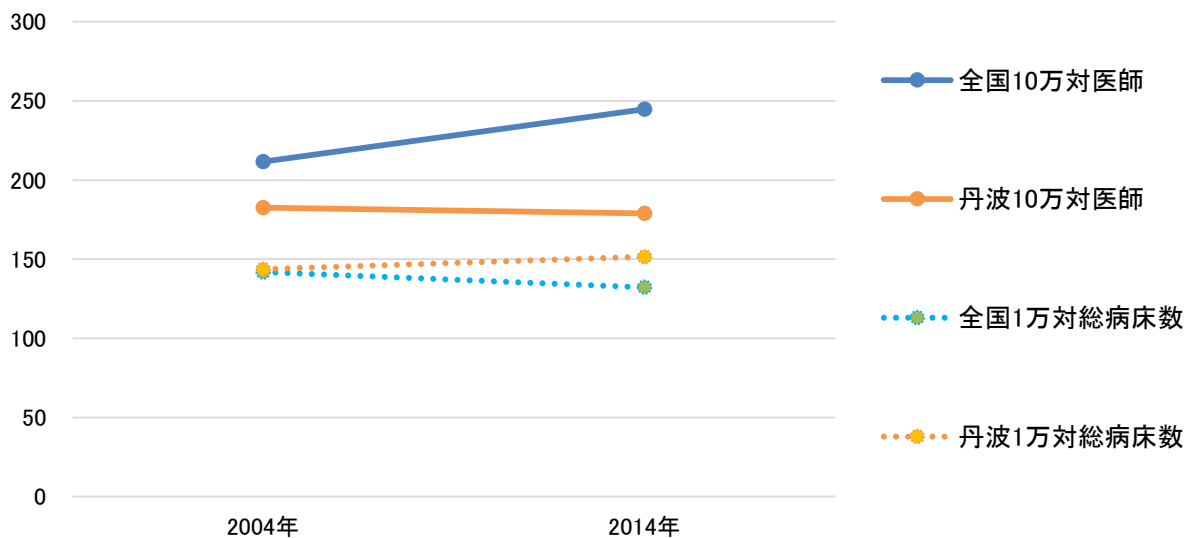
2004年の病院数が7(人口10万人当たり6病院(全国平均7.1)偏差値47)であったが、2014年に8(人口10万人当たり7.5病院(全国平均6.7)偏差値52)となり、10年間で1病院が増加した。

2004年の診療所数が85(人口10万人当たり73診療所(全国平均76)偏差値49)であったが、2014年に84(人口10万人当たり79診療所(全国平均79)偏差値50)と、1診療所が減少した。

2004年の総病床数が1667床(人口1万人当たり144(全国平均142)偏差値50)であったが、2014年に1608床(人口1万人当たり151(全国平均132)偏差値53)と、59床の減少、率にして4%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

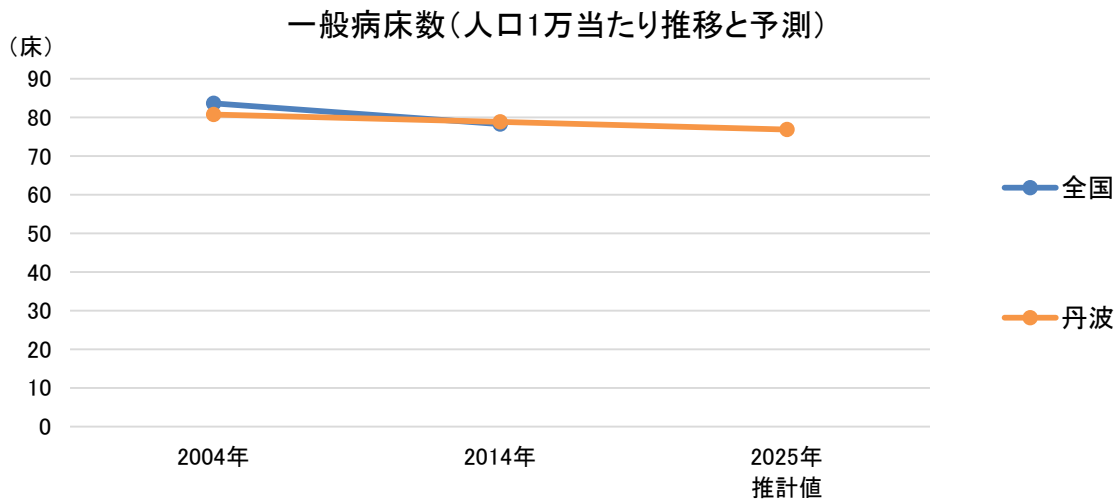
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が212人(人口10万人当たり183人(全国平均212人)偏差値47)であったが、2014年に190人(人口10万人当たり179人(全国平均245人)偏差値43)と、22人の減少、率にして10%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



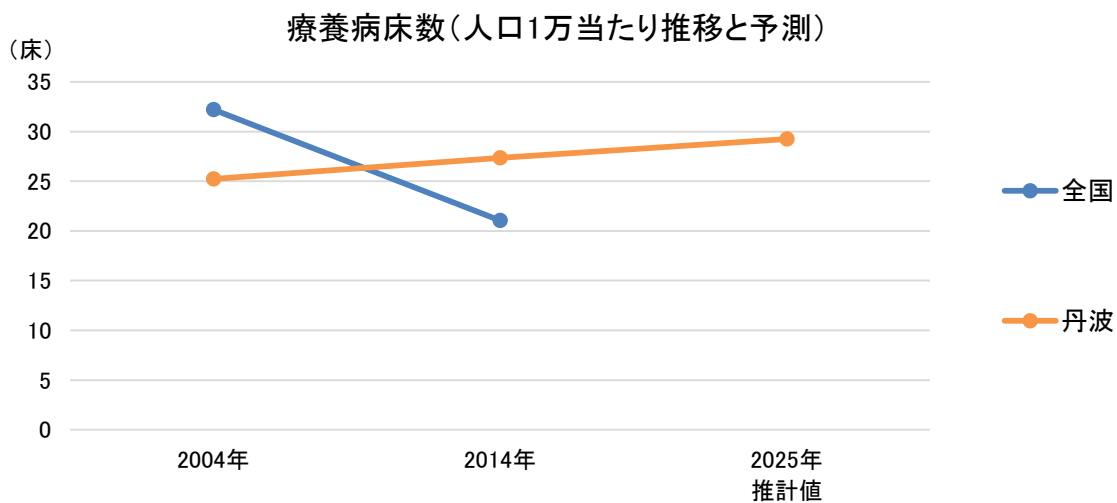
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が937床(人口1万人当たり81(全国平均84)偏差値49)であったが、2014年に837床(人口1万人当たり79(全国平均78)偏差値50)と、100床の減少、率にして11%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には727床(2025年の推計人口1万人当たり77)になることが予想される。



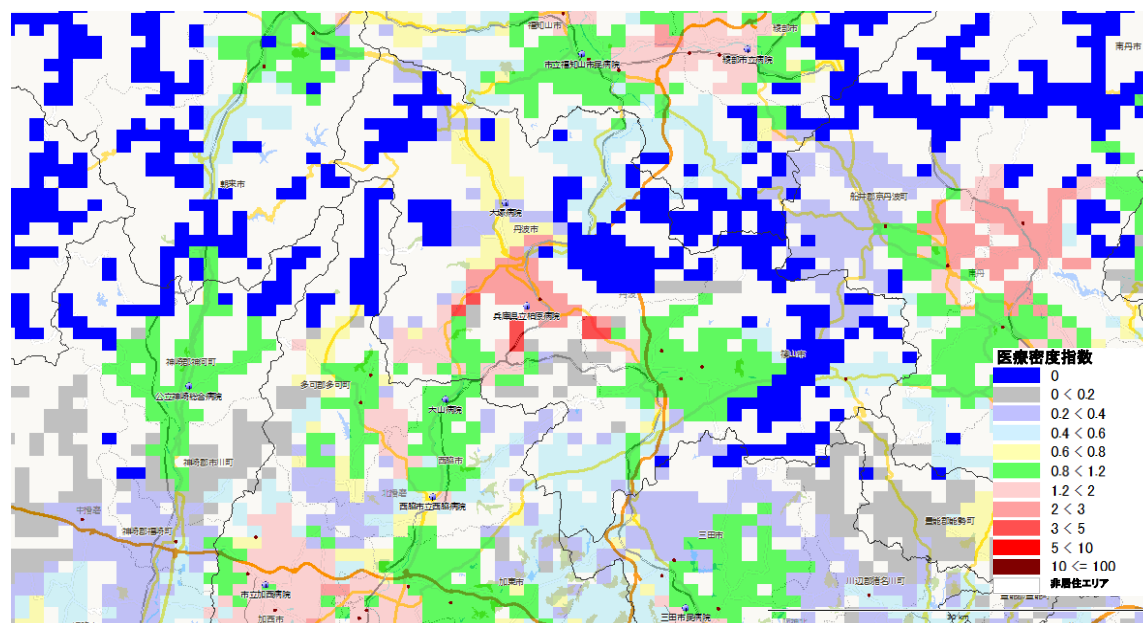
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が410床(75歳以上1000人当たり25(全国平均32)偏差値46)であったが、2014年に501床(75歳以上1000人当たり27(全国平均21)偏差値55)と、91床の増加、率にして22%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には601床(2025年の推計75歳以上1000人当たり29)になることが予想される。



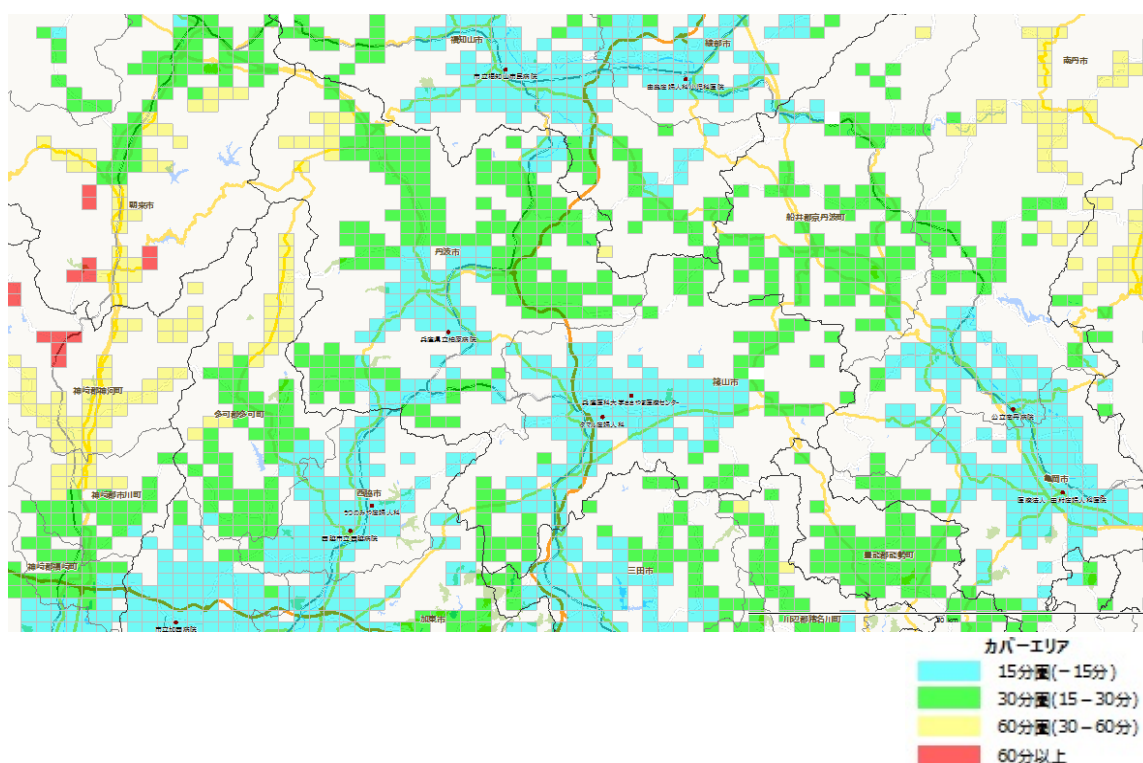
(丹波医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表28-9-1 急性期医療密度指数マップ



図表28-9-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

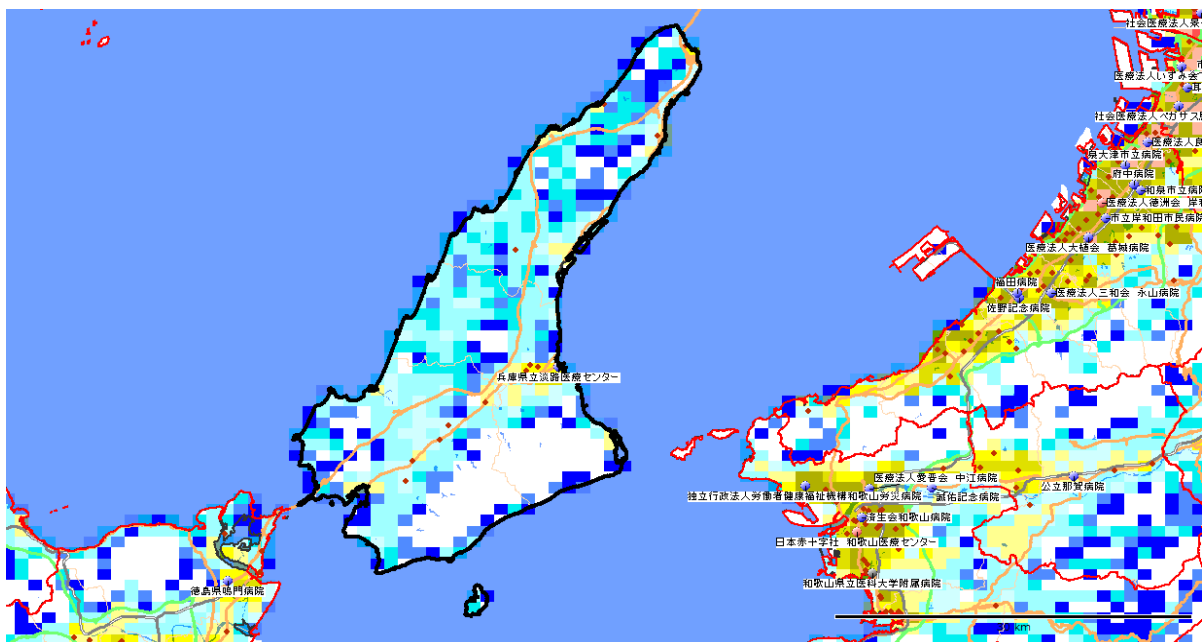
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



28-10. あわじ 淡路医療圏

構成市区町村⁹ [洲本市](#) [南あわじ市](#) [淡路市](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(淡路医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 淡路(洲本市)は、総人口約135千人(2015年)、面積596km²、人口密度は227人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 淡路の総人口は2025年に119千人へと減少し(2015年比-12%)、2040年に94千人へと減少する(2025年比-21%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の25千人が、2025年にかけて28千人へと増加し(2015年比+12%)、2040年には26千人へと減少する(2025年比-7%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 淡路の一人当たり医療費(国保)は362千円(偏差値54)、介護給付費は262千円(偏差値53)であり、医療費、介護給付費ともにやや高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 淡路の一人当たり急性期医療密度指数²は0.74、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.02で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が49(病院医師数47、診療所医師数53)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は55とやや多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は44で、一般病床数は少ない。全身麻酔数の偏差値は45とやや少ない。淡路には、年間全身麻酔件数が1000例以上の兵庫県立淡路医療センター(Ⅱ群・救命)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は70と療養病床数は非常に多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値63と多く、回復期病床数は偏差値60と多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は50で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は64で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 淡路の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2356人(75歳以上1000人当たりの偏差値45)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1748床(偏差値58)、高齢者住宅等が608床(偏差値39)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2131人(75歳以上1000人当たりの偏差値59)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設50、特別養護老人ホーム59、介護療養型医療施設51、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホーム78、グループホーム46、サ高住40である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値60と多く、在宅療養支援病院は偏差値51と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値54とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、306人(75歳以上1000人当たりの偏差値47)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-6%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(淡路医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

淡路医療圏の総人口は、2005年151391人が、2015年に135147人と11%減少し、2025年の人口が118732人と予測され、2005年→2025年の間に22%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年にほぼ増減なし、2015年から2025年にかけて3%程度の減少が予測される。

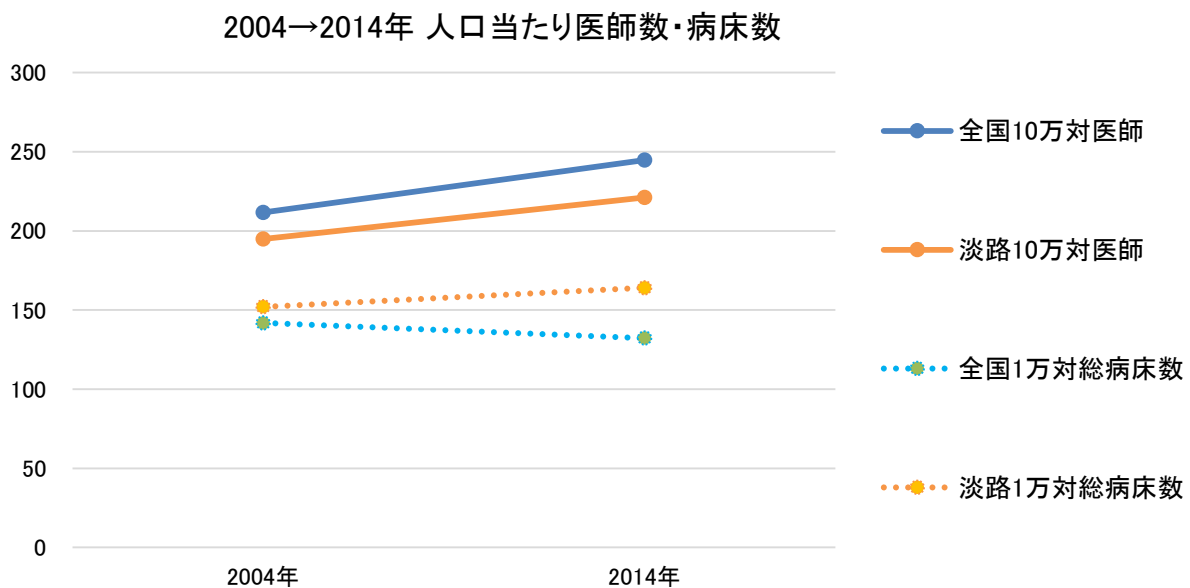
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が12(人口10万人当たり7.9病院(全国平均7.1)偏差値52)であったが、2014年に12(人口10万人当たり8.9病院(全国平均6.7)偏差値55)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が142(人口10万人当たり94診療所(全国平均76)偏差値59)であったが、2014年に140(人口10万人当たり104診療所(全国平均79)偏差値63)と、2診療所が減少した。

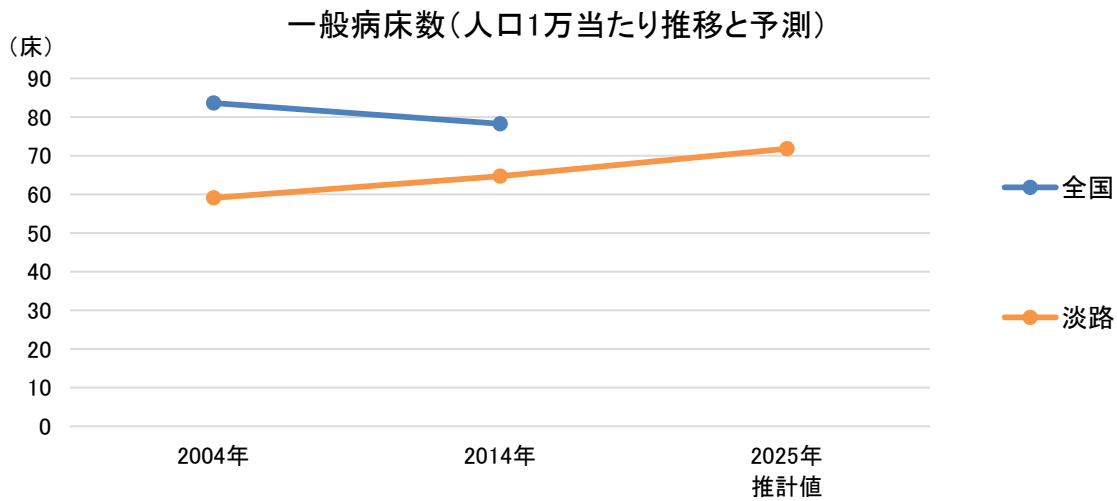
2004年の総病床数が2302床(人口1万人当たり152(全国平均142)偏差値52)であったが、2014年に2217床(人口1万人当たり164(全国平均132)偏差値56)と、85床の減少、率にして4%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が295人(人口10万人当たり195人(全国平均212人)偏差値48)であったが、2014年に299人(人口10万人当たり221人(全国平均245人)偏差値47)と、4人の増加、率にして1%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



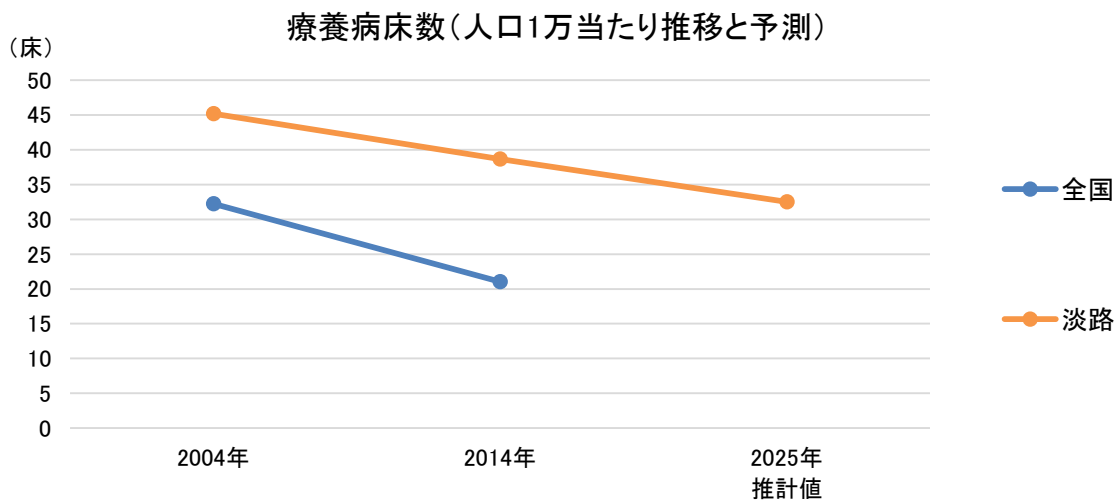
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が895床(人口1万人当たり59(全国平均84)偏差値41)であったが、2014年に875床(人口1万人当たり65(全国平均78)偏差値45)と、20床の減少、率にして2%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には853床(2025年の推計人口1万人当たり72)になることが予想される。



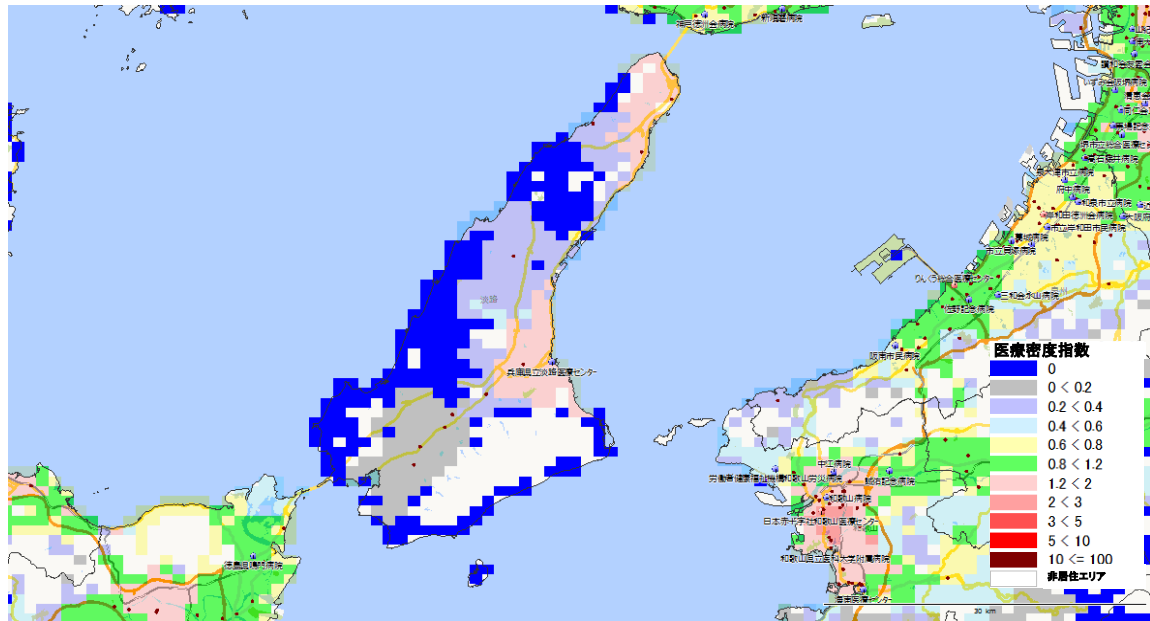
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が984床(75歳以上1000人当たり45(全国平均32)偏差値57)であったが、2014年に953床(75歳以上1000人当たり39(全国平均21)偏差値65)と、31床の減少、率にして3%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には919床(2025年の推計75歳以上1000人当たり33)になることが予想される。



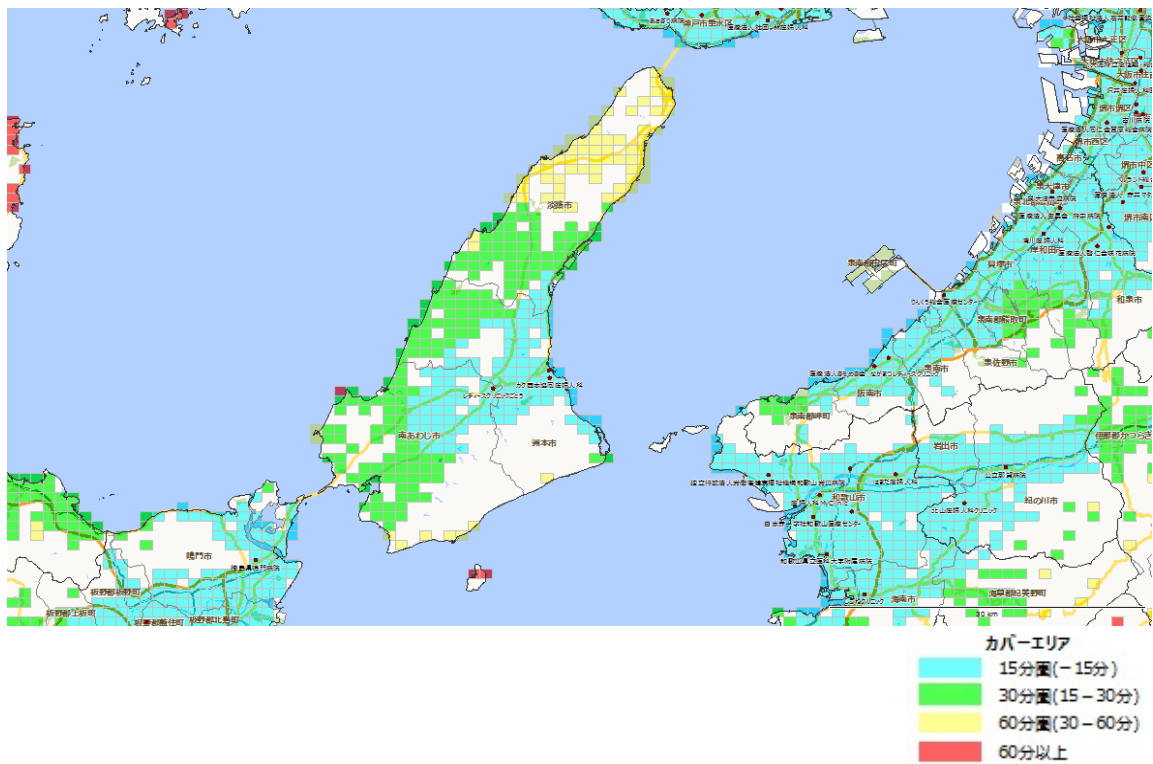
(淡路医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表28-10-1 急性期医療密度指数マップ



図表28-10-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



注

¹1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

²その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。

³【医療の現状】で使用した総医師数は、病院医師数(平成27年病院報告(厚生労働省 平成27年10月))と診療所医師数(平成26年医療施設調査(厚生労働省 平成26年10月))の合計。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】で使用した2014年の総医師数は、平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査(厚生労働省 平成26年12月)に基づく病院医師数と診療所医師数の合計。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

⁵急性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

⁶日医総研WP no.375「地域の医療提供体制の現状 -都道府県別・二次医療圏別データ集(2016年度版)を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

⁷医療費は市町村国民健康保険のみ。複数の二次医療圏をもつ横浜市および川崎市は同じデータを記載している。

「入院」は、入院診療及び食事療養・生活療養の計である。

「入院外+調剤」は、入院外診療及び調剤の支給の計である。

複数医療圏にまたがる広域連合の介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。

⁸医療需要は(0~64歳人口) + (65~74歳人口) × 3.1 + (75歳以上人口) × 5.0で算出。

⁹日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。